

特記仕様書

工事名称	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（2期工事）（建築主体工事）
工事場所	三原市円一町二丁目
工事内容	三原リージョンプラザにおける長寿命化改修工事を行う。 [工事概要] ●建築一式工事 ○スポーツ部門改修 ○文化部門改修 ○屋外便所改修
準 則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。
別途発注工事	・三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（2期工事）（電気設備工事） ・三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（2期工事）（空調換気設備工事） ・三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（2期工事）（給排水衛生設備工事）
支払条件等	前払金及び中間前金払・部分払等の支払について、令和7年度は契約金額の10分の4以内の額とする。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 別途発注工事の設計図書について、取り合いなどの整合を確認すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて受注金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和9年1月28日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和9年1月15日。）
留意事項	・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。

- ・図面に明示されていない事項であっても、工地上必要とされる事は工事範囲とする。
- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工期とする。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・当該施設の営業及び運営等への支障を最小限にするため、工事工程及び作業手順等は最大限の配慮をすること。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて施設使用者の通行制限を行うこととする。工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
- ・現場事務所には、HDMI規格により出力できるモニター（50インチ以上）を設置すること。
- ・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続10台以上）が可能な環境とすること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・振動測定については、振動規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実にすること。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。

- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者に報告すること。
- ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
- ・工事車両は、場内を5k m/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・コンクリートの調合は、標準仕様書に基づき構造体強度補正を見込む。（原則、外構工事を含む。無筋コンクリートは除く。）
- ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿潤養生を適切に行うこと。
- ・地盤改良工事や杭工事で、セメント系の材料を使用する場合は六価クロム溶出試験を行い、溶出量が土壌環境基準を満足するものを選定すること。六価クロム溶出試験費を見込む。材料は粉体の発塵抑制の配慮と六価クロムの溶出低減がなされたものを見込む。
- ・木工事で使用する木材の産出地は、原則、広島県産材（可能な範囲で三原市産材）とすること。
- ・工事完了後に、木工事で使用する木材の産出地について、数量を整理して提出すること。
- ・家具については転倒防止対策のため、床及び壁へ固定すること。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日から10年間責任を負うこと。このことについて、保証書を作成して提出すること。（改修工事については、本工事の範囲）
- ・機械的固定方法を行う施工箇所については、事前に引き抜き試験にて引き抜き強度を測定し、耐風圧性能の検証を行うこと。
- ・鍵のプランについては、協議の上で同一キーとする箇所を確認すること。
- ・シリンダーキーについては、既存のグランドマスターキー及びマスターキーに取り込むこと。
- ・既存壁紙(クロス)撤去については、既存壁紙(クロス)の裏紙が残らないように処理し、完全に撤去すること。
- ・改修した防火設備の作動状況の確認及び連動する煙感知器等の作動状況の確認については、資格者（建築基準法第12条4項）による総合試験とすること。

- ・外壁劣化状況の調査費用は本工事で見込んでいる。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。
- ・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・既存照明機器（安定器等）又はシーリング材等のPCB含有調査を見込んでいる。
- ・PCB含有シーリング材の撤去については、「PCB含有ポリサルファイド系シーリング材撤去工事標準施工要領書」に沿って撤去すること。
- ・家電リサイクル法又はフロン排出抑制法に関する機器等の処分については、当該法律に基づき適正に行うこと。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・昇降機その他の建築設備について、計画通知等の申請手続き等を行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途発注工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・品質について、社内検査員(当該工事に従事していない者)を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等の記録に残すこと。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R(2部)にて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（2期工事） （建築主体工事）

番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
A-00	表紙、図面リスト	A-16	R階平面図	A-32	3階天井図		
A-01	建築改修工事特記仕様書 - 1	A-17	立面図 - 1	A-33	建具表		
A-02	建築改修工事特記仕様書 - 2	A-18	立面図 - 2	A-34	部分詳細図 - 1		
A-03	建築改修工事特記仕様書 - 3	A-19	立面図 - 3	A-35	部分詳細図 - 2		
A-04	建築改修工事特記仕様書 - 4	A-20	矩計図 - 1 (既存参考矩計図)	A-36	部分詳細図 - 3		
A-05	建築改修工事特記仕様書 - 5	A-21	矩計図 - 2 (既存参考矩計図)	A-37	部分詳細図 - 4		
A-06	建築改修工事特記仕様書 - 6	A-22	矩計図 - 3 (既存参考矩計図)	A-38	部分詳細図 - 5		
A-07	建築改修工事特記仕様書 - 7	A-23	1階便所（プール廻り）詳細図・展開図	A-39	部分詳細図 - 6		
A-08	工事区分表	A-24	1階便所廻り詳細図	A-40	部分詳細図 - 7		
A-09	附近見取図、配置図、仮設計画図	A-25	1階便所廻り展開図	A-41	部分詳細図 - 8		
A-10	【スポーツ部門】仕上表 - 1	A-26	2階便所廻り詳細図	A-42	部分詳細図 - 9		
A-11	【スポーツ部門】仕上表 - 2	A-27	3階便所廻り詳細図	A-43	部分詳細図 - 10		
A-12	地下1階平面図	A-28	屋外便所廻り詳細図	A-44	EV改修詳細図1		
A-13	1階平面図	A-29	地階1階天井図	A-45	EV改修詳細図2		
A-14	2階平面図	A-30	1階天井図	A-46	EV改修詳細図3		
A-15	3階平面図	A-31	2階天井図	A-47	概略工事工程表		

工事対象外

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 'Waterproofing' (防水), 'Flooring' (床), 'Interior Finishing' (内装), and 'Exterior Finishing' (外装). Each item includes a table for 'Specifications' (仕様) and 'Construction Methods' (工法).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 'Waterproofing' (防水), 'Flooring' (床), 'Interior Finishing' (内装), and 'Exterior Finishing' (外装). Each item includes a table for 'Specifications' (仕様) and 'Construction Methods' (工法).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 'Waterproofing' (防水), 'Flooring' (床), 'Interior Finishing' (内装), and 'Exterior Finishing' (外装). Each item includes a table for 'Specifications' (仕様) and 'Construction Methods' (工法).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 'Waterproofing' (防水), 'Flooring' (床), 'Interior Finishing' (内装), and 'Exterior Finishing' (外装). Each item includes a table for 'Specifications' (仕様) and 'Construction Methods' (工法).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 'Waterproofing' (防水), 'Flooring' (床), 'Interior Finishing' (内装), and 'Exterior Finishing' (外装). Each item includes a table for 'Specifications' (仕様) and 'Construction Methods' (工法).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 'Waterproofing' (防水), 'Flooring' (床), 'Interior Finishing' (内装), and 'Exterior Finishing' (外装). Each item includes a table for 'Specifications' (仕様) and 'Construction Methods' (工法).

Table with 10 columns: Item No., Item Name, Description, and various technical specifications. The table is organized into sections for different building components like exterior walls, windows, doors, and floors. Each section contains detailed material and performance requirements.

Table with 3 columns: ① 仕様材料表 (Material Specifications), ② 仕様材料表 (Material Specifications), ③ 仕様材料表 (Material Specifications). It lists various materials like concrete, steel, and insulation with their respective specifications and test methods.

Table with 3 columns: ④ 仕様材料表 (Material Specifications), ⑤ 仕様材料表 (Material Specifications), ⑥ 仕様材料表 (Material Specifications). It details construction methods for concrete, steel, and other materials, including reinforcement and curing procedures.

Table with 3 columns: ⑦ 仕様材料表 (Material Specifications), ⑧ 仕様材料表 (Material Specifications), ⑨ 仕様材料表 (Material Specifications). It covers fireproofing, waterproofing, and other specialized construction techniques and materials.

Table with 3 columns: ⑩ 仕様材料表 (Material Specifications), ⑪ 仕様材料表 (Material Specifications), ⑫ 仕様材料表 (Material Specifications). It lists various types of glass and window treatments, including their properties and installation methods.

Table with 3 columns: ⑬ 仕様材料表 (Material Specifications), ⑭ 仕様材料表 (Material Specifications), ⑮ 仕様材料表 (Material Specifications). It details the specifications for doors, windows, and other architectural elements, including their dimensions and performance requirements.

Main specification table with columns for material type (e.g., concrete, steel), dimensions, and performance requirements. Includes sections for 9 鋼床板 (Steel Decking), 10 天井 (Ceiling), 11 天井見切り等 (Ceiling Cutouts), 12 構造用部材 (Structural Members), 13 鋼筋 (Reinforcement), 14 塗装 (Coatings), and 15 鋼筋の継手及び定着 (Reinforcement Joints and Fixation).

名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				B-2 打放し面Uカットシール材充填工法				B-3 打放し面Uカットシール材充填工法				B-4 モルタル面樹脂注入工法				B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法							
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]				A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]				B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm				B-2 打放し面Uカットシール材充填工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm以上				B-3 打放し面Uカットシール材充填工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm				B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm				B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm			
改修前	改修後																												
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (+全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※見上げ面については、③を省略する。 参考数量:				①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (+全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※見上げ面については、③を省略する。 参考数量:				①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () ()内は半端ひび割れ数量を示す				①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 670m				①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充填後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-1工法を行う場合は、②、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量:				①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () ()内は半端ひび割れ数量を示す				①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:			

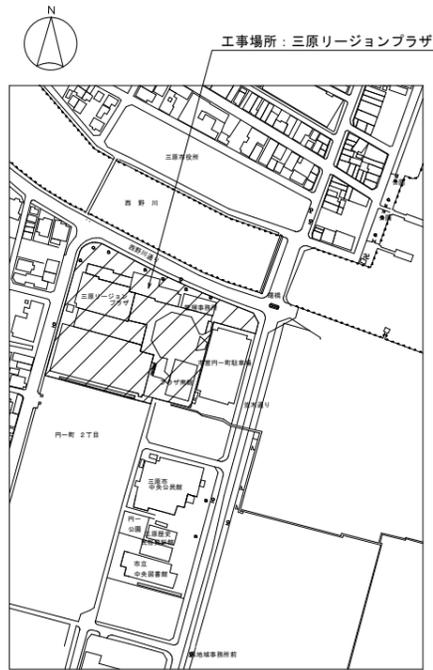
名称		B ひび割れ部処理				C 錆鉄筋部処理				D 浮き部処理											
記号・仕様		B-6 モルタル面Uカットシール材充填工法 ひび割れ幅 1. 0mm以上				B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充填工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm				C-1 打放し面錆鉄筋部処理				C-2 モルタル面錆鉄筋部処理				D-1 モルタル面はつり			
改修前	改修後																				
工程		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量: 1,120m				①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充填後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量:				①錆鉄筋周囲のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:				①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。 参考数量:				①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:			

名称		D 浮き部処理				D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]				D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]			
改修前	改修後												
工程		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑤、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: 230m ² ②指定部分: ③幅幅部:				①一般部分標準グリッド (250×250) ③幅幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ●アンカーピン固定部				①ピン固定部穿孔 ②孔内エアークリーニング ③パテ状エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] ⑥注入部穿孔 ⑦孔内エアークリーニング ⑧パテ状エポキシ樹脂注入 ⑨穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] ⑩高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑪セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③幅幅部:			

名称		D 浮き部処理			
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]			
改修前	改修後				
工程		①ピン固定部穿孔 ②孔内エアークリーニング ③パテ状エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] ⑥注入部穿孔 ⑦孔内エアークリーニング ⑧パテ状エポキシ樹脂注入 ⑨穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] ⑩高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑪セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③幅幅部:			

名称		D 浮き部処理				
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.12]		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ		
改修前	改修後					
工程		①穿孔 一般部 9ヶ所 ⑤穿孔処理 [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③縦幅部:	①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③縦幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ※注入口付アンカーピン固定部	①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 ⑨穿孔処理 [※'77-セリトH35] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔処理 [※'77-セリトH35] 一般部 9ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	※セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③縦幅部:	
名称		E 欠損部処理		F 外壁複合改修工法		
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4.2.8]		E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.2.3]		
改修前	改修後					
工程		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔処理 [化粧キャップもしくは同色樹脂パテ] 参考数量:	①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③欠損はつり部埋戻し [※'77-セリトH35]・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量:	①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※'77-セリトH35]・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量:	①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④欠損はつり部埋戻し [※'77-セリトH35]・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量:	外壁複合改修工法 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2) ※寸法は80程度とする

工事区分	工事内容	建築	電気	衛生	空調	別途工事	備考	工事区分	工事内容	建築	電気	衛生	空調	別途工事	備考	
1. スリブ、仮柱、補強	(1) 基礎梁、梁、壁、床等の配管用貫通スリブ			○				10. 衛生器具、流し台、調理台、実験台	(1) 洗面器、手洗器用鏡、棚、洗面化粧台			○				
	(2) 同上貫通部分の鉄筋補強								(2) 鏡(姿見用等で単独で使用するもの)			○				
	(3) 盤及びボックス類の仮柱(和風大便器)								(3) 大小便器			○				
	(4) 同上開口部分の鉄筋補強								(4) 湯沸器-給湯器							
	(5) 天井埋込照明器具取付用切込及び補強	○							(5) 同上換気扇連動スイッチ							
	(6) 吹出口、吹込口等取付用切込及び補強	○							(6) 便所内手摺	○						
	(7) (1)・(3)の取付部補修								(7) 既製品流し台、ステン製流し台(ニキッチ)							
	(8) (5)・(6)の出し	○							(8) 同上排水トラップ							
2. ビット、シャフト、OA床	(1) OA床								(9) 調理台・実験台・作業台							
	(2) PS・DS								(10) 同上給水栓、コンセント							
	(3) 便所等の配管ビット								(11) 同上ガスック							
	(4) 床、壁、天井、シャフト、ビットの点検扉	○							(12) 同上排水トラップ							
3. 給水、電気、電話、ガスの引込、下水本管接続	(1) 給水引込工事								(13) 人研流し							
	(2) 電話引込負担金(工事用は除く)								(14) 同上排水トラップ							
	(3) 電気引込工事及び負担金								(15) 洗濯機パン(排水トラップ、周囲コキング、止め金具共)							
4. 槽類	(1) 受水槽(ファンハウス共)								(16) 手洗い流し排水金物							
	(2) 高架水槽								(17) 足洗い場排水蓋							
	(3) 消火水槽(消火用充水槽)								(18) 流し台、コンロの取り外し復旧							
	(4) 中継ポンプ槽															
	(5) 合併処理し尿浄化槽工事及び浄化槽機械室															
	(6) 給食場用シタンク															
	(7) 同上架台															
	(8) 各槽用フェンス工事															
	(9) (2)の電極棒取付用開口															
	(10) 既設浄化槽撤去															
5. コンクリート基礎(マルチ仕上げ共)	(1) コージェネレーション発電機	○														
	(2) 高架水槽															
	(3) 揚水ポンプ															
	(4) 消火ポンプ室															
	(5) 給食場用パイプ															
	(6) プールろ過機															
	(7) キュビクル(フェンス工事共)															
	(8) テレビアンテナ															
	(9) プールの水銀灯及びマイクジャック盤															
	(10) 機器類のアンカー打込み															
	(11) 空調器室外機基礎															
	(12) 空調器室外機フェンス基礎及びフェンス工事															
6. 電極棒、電磁弁、凍結防止ヒーター	(1) 受水槽、高架水槽(電極棒)															
	(2) 凍結防止ヒーター															
	(3) 水槽用各種警報															
	(4) 水槽用電磁弁電源、操作配線															
7. ガラリ	(1) 外壁ガラリ															
	(2) 換気扇用ベントキャップ															
	(3) ドア取付又はこれに準ずるもの															
8. 消火栓ボックス、自動火災報知設備	(1) 消火栓ボックス															
	(2) 表示灯、火災発信機、ベル															
	(3) ボンブ起動操作押ボタン(火報用)															
	(4) 防火戸、防煙シャッター						○(既存不適格の是正工事)									
	(5) 同上用感知器及び配管配線工事						○(既存不適格の是正工事)									
9. 排水設備	(1) 屋内屋外雨水排水工事(ルーフレイン、堅樋共)															
	(2) 屋内屋外排水設備工事(雑排水、汚水)															
	(3) プラスチックトラップ															
	(4) マット排水及び排水金物															
	(5) 足洗い場散水パイプ															
	(6) 手洗い、足洗い場泥溜まり柵															



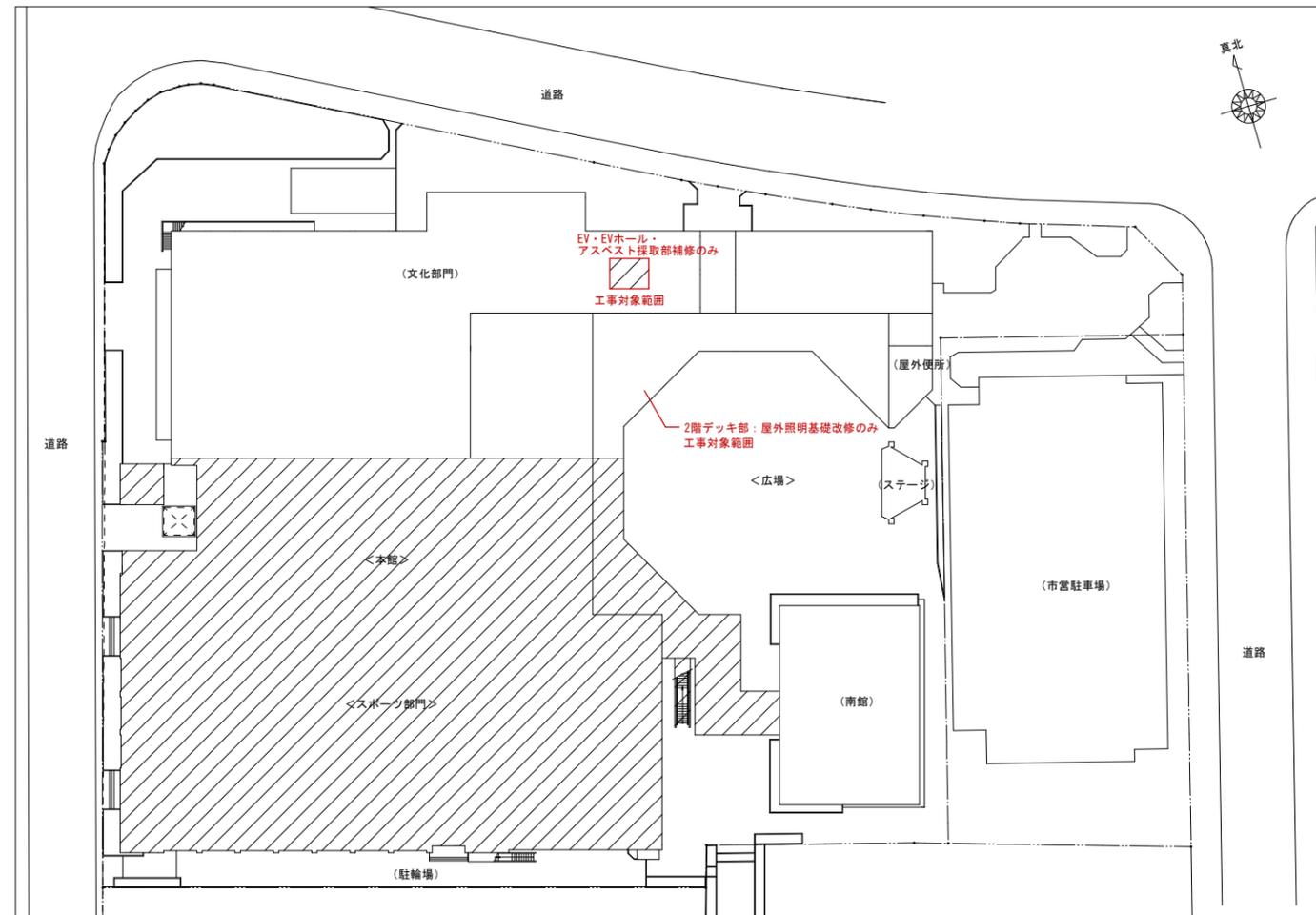
附近見取図

工 事 概 要	
工事名称	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（2期工事）（建築主体工事）
工事場所	（地名地番）三原市円一町二丁目1834-47（住居表示）三原市円一町二丁目1-1
規模構造	地下1階地上3階 RC・SRC造、一部鉄骨造
建物用途	文化・体育館複合施設
用途地域	商業地域
防火指定	指定なし
建ぺい率	90%
容積率	400%
敷地面積	13,048.50㎡
建築面積	8,562.17㎡
延床面積	13,132.88㎡

- <スポーツ部門>
 - ・外壁劣化部改修（タイル面、コンクリート打放し+吹付面）
 - ・外装改修（トップライト改修、外壁廻りの床・壁・屋根EXP・J撤去、新設、種撤去、新設）
 - ・屋上防水改修（屋根⑥、屋根⑩、屋根⑪、屋根⑫、屋根⑬、外灯廻り部分改修）
 - ・建具改修（1階採暖室：アルミ製建具、各階便所：トイレブース）
 - ・内装改修（各階便所改修部分、設備改修に伴う天井改修）
 - ・内装部分改修（アスベスト含有が疑わしい建材のサンプリング調査場所の仕上げ補修）
- <文化部門>
 - ・外装改修（トップライト改修）
 - ・内装改修（EV改修、EVホール改修、トップライト改修に伴う天井改修）
 - ・内装部分改修（アスベスト含有が疑わしい建材のサンプリング調査場所の仕上げ補修）
- <屋外便所>
 - ・内装改修（屋外便所改修部分）
- <南館>
 - ・内装部分改修（アスベスト含有が疑わしい建材のサンプリング調査場所の仕上げ補修）

工事対象外

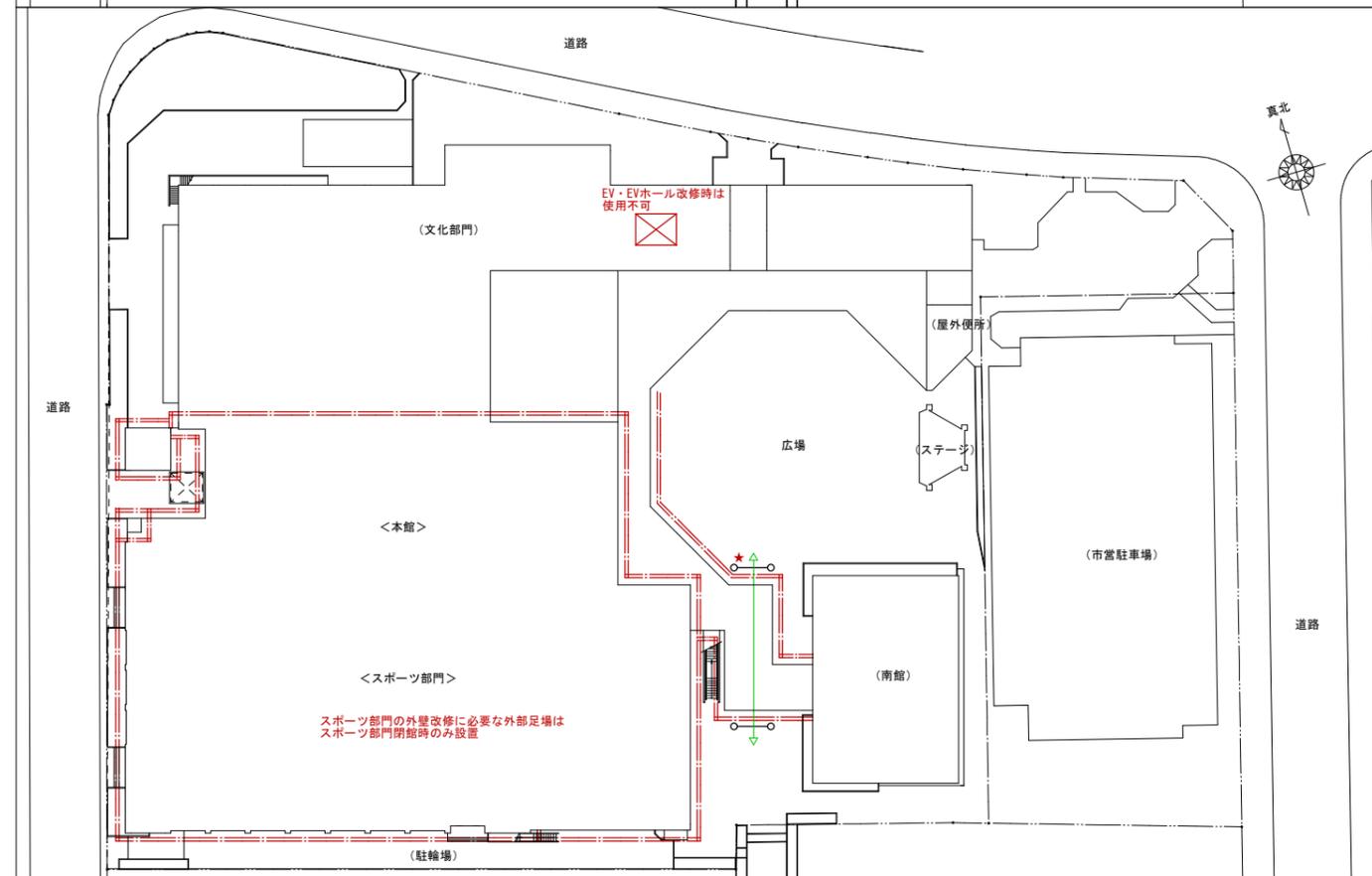
工事対象外



凡 例

— 工事対象範囲を示す。

配置図 1/500



凡 例

— 外部足場（W900）設置位置を示す。（第三者進入防止のため、再下段にガードフェンスを施す）（必要に応じて朝顔を施す）（最高高さ22m未満）

○— 梁枠位置を示す。（落下防止措置として梁枠下をベニア養生する）

★— 交通誘導員位置を示す。

— 歩行者動線を示す。

仮設計画図 1/500

設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

意匠設計者
1級建築士 登録 第305905号 高橋 真仁

設計年月日
2025. 3.

工事名
三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（2期工事）（建築主体工事）

図面名
附近見取図、配置図、仮設計画図

図面No.
A-09

縮尺
1/500

改修概要						
1) 外部改修	a、既存外壁タイル面はひび割れ部、欠損及び浮きの劣化部改修後、水洗い清掃	2) 内部改修	a、1階便所：便器・手洗い器取り換え（設備工事）に伴う、床・壁の仕上げ一部撤去、新設	3) 仕上凡例	EP	合成樹脂エポキシペイント塗り
	b、既存外部見上げ打放し面はひび割れ、欠損及び錆鉄筋の劣化部改修後、水洗い清掃又は外装薄塗材E吹付		b、2,3階便所：便器・手洗い器取り換え（設備工事）に伴う、床・壁の仕上げ一部撤去、新設		EP-G	つや有合成樹脂エポキシペイント塗り
	c、既存屋根①、③、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩ 既存露出アスファルト防水をM4 X工法にて、高強度ウレタン塗膜防水に改修		c、屋外便所：便器・手洗い器取り換え（設備工事）に伴う、床・壁の仕上げ一部撤去、新設		SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
	d、既存屋根②、④、⑤ 既存露出アスファルト防水をM4 X工法にて、ウレタン塗膜防水に改修 一部、既存塩ビシート防水（機械固定工法）をS4 X工法にて、ウレタン塗膜防水に改修		d、多目的便所：便器・手洗い器取り換え（設備工事）に伴う、床の仕上げ撤去、新設		DP	耐候性塗料塗り（タリケン系）
	e、既存屋根⑩ 既存アスファルト防水保護コンクリートをPOX工法にて、高強度ウレタン塗膜防水に改修 一部、既存塩ビシート防水（機械固定工法）をS4 X工法にて、高強度ウレタン塗膜防水に改修		e、設備改修に伴う、天井仕上げの一部撤去、新設		VP	塩化ビニル樹脂珪藻土塗り
	f、既存屋根⑬、⑭：既存モルタル仕上げを高圧水洗浄・樹脂モルタル勾配補修の上、ウレタン塗膜防水に改修		f、トップライト改修に伴う、天井仕上げの一部撤去、新設		OSV	オキシソックス塗り
	g、既存屋根⑬：既存塩ビシート防水（機械固定工法）をS4 X工法にて、高強度ウレタン塗膜防水に改修		g、エレベータの撤去、新設			
	h、既存屋根⑮：既存鋼板屋根箱樋を高圧水洗浄の上、高強度ウレタン塗膜防水密着工法に改修		h、エレベータ前に遮煙性能防火設備+袖壁の新設			
	i、既存トップライト撤去、トップライト新設（排煙有の場合、オペレーター共撤去・新設）		i、既存プールサイド床、採暖室床ビニル床シート張り撤去、ノンスリップシート張り新設			
	j、3階矢道：既存床人工芝張りt=5撤去、置敷き人工芝張り（300 x 300 x 60H）新設		j、既存内壁廻りの壁アルミ製EXP.J撤去、アルミ製EXP.J W100用新設			
k、既存外壁廻りの床・壁・屋根のアルミ製EXP.J撤去、アルミ製EXP.J W100用新設						
l、既存フェンスH1500撤去、メッシュフェンスH1500新設						
m、既存外灯基礎上部撤去、無収縮モルタル補修の上、高強度ウレタン塗膜防水塗り（X-2）新設						
		3) その他	a、アスベスト含有が疑わしい建材のサンプリング調査場所の仕上げ補修			

構造概要					
地業	基礎	躯体	床版(屋根)	建具	留意事項
杭基礎（既製コンクリート杭）	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	改修前 外部廻り：アルミ製建具・鋼製建具	
				改修後 外部廻り：シーリング更新	

外部仕上表							
改修前	改修後	屋根	巾木・外壁	軒裏	ドレン・樋	屋外階段	備考
<p><既存屋根⑩>保護コンクリート部 平場 保護コンクリート直直し仕上 既存のまま</p> <p>立上り レガ積みの上、モルタル塗り 既存のまま</p> <p><既存屋根⑩>塩ビシート防水部 平場 塩ビシート防水 既存のまま</p> <p>立上り 塩ビシート防水(ケレン共) 撤去</p>	<p><既存屋根⑩>保護コンクリート部：POX工法 平場 高圧水洗浄+下地調整珪藻土樹脂モルタル塗布の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-1)新設</p> <p>立上り 高圧水洗浄+下地調整珪藻土樹脂モルタル塗布の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-2)新設</p> <p><既存屋根⑩>塩ビシート防水部：S4 X工法 平場 高圧水洗浄の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-1)新設</p> <p>立上り 既存防水層撤去、下地調整珪藻土樹脂モルタル塗布の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-2)新設、入隅補強金物共</p>	<p><既存屋根⑩⑪> 平場 アスファルト防水層D-2 [アスベスト含有] 既存のまま コンクリート直直し仕上</p> <p>立上り アスファルト防水層D-2 [アスベスト含有] 撤去</p> <p><既存屋根⑬> 平場 塩ビシート防水 既存のまま</p> <p>立上り 塩ビシート防水(ケレン共) 撤去</p>	<p><タイル面> 巾木 モルタル下地 せつ器質無ゆう外装二丁掛タイル張り 既存のまま</p> <p>外壁 モルタル下地 せつ器質無ゆう外装二丁掛タイル張り 既存のまま</p> <p><打放し面> 巾木 コンクリート打放し仕上(B種) 既存のまま</p> <p>外壁 コンクリート打放し仕上(B種) 外装薄塗材E 下地調整RA種</p>	<p>軒裏 コンクリート打放し仕上(B種) 外装薄塗材E 下地調整RA種</p>	<p>落口(屋上): 鋼鉄製R-フレン100φ ストレーナーのみ撤去 縦樋: VP管100φ撤去 掃み金物: ステンレス製 撤去 養生管: SGP100φ H=2,000 SOP 既存のまま</p>	<p>床: 床用磁器質タイル張り</p>	
<p><既存屋根⑩>保護コンクリート部：POX工法 平場 高圧水洗浄+下地調整珪藻土樹脂モルタル塗布の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-1)新設</p> <p>立上り 高圧水洗浄+下地調整珪藻土樹脂モルタル塗布の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-2)新設</p> <p><既存屋根⑩>塩ビシート防水部：S4 X工法 平場 高圧水洗浄の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-1)新設</p> <p>立上り 既存防水層撤去、下地調整珪藻土樹脂モルタル塗布の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-2)新設、入隅補強金物共</p>	<p><既存屋根⑩⑪>M4 X工法 平場 既存アスファルト防水層ふくれ部処理後、高圧水洗浄 アスファルト活性剤塗布の上、ウレタン塗膜防水(X-1)新設</p> <p>立上り 既存防水層撤去、下地調整珪藻土樹脂モルタル塗布の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-2)新設</p> <p><既存屋根⑬>S4 X工法 平場 高圧水洗浄の上、 ウレタン塗膜防水(X-1)新設</p> <p>立上り 既存防水層撤去、下地調整珪藻土樹脂モルタル塗布の上、 高強度ウレタン塗膜防水(X-2)新設、入隅補強金物共</p>	<p><タイル面> 巾木 劣化部改修後、水洗い清掃</p> <p>外壁 劣化部改修後、水洗い清掃</p> <p><打放し面> 巾木 劣化部改修後、水洗い清掃</p> <p>外壁 劣化部改修+水洗い清掃後、防水形複層塗材E吹付 新設</p>	<p>軒裏 劣化部改修+水洗い清掃後、外装薄塗材E吹付 新設</p>	<p>落口(屋上): 鋼鉄製R-フレン100φ(改修用) 新設 縦樋: VP管100φ(お-5) 新設 掃み金物: ステンレス製 新設 養生管: SGP100φ H=2,000 DP塗替</p>	<p>床: 水洗い清掃</p>	<p>高強度ウレタン塗膜防水：ZH X-1 工法同等</p>	

内部仕上表(1)														
階	室名(改修前)		床		床高 FL±	巾木	H	内装面		塗装	外装面		天井	備考
	改修前	改修後	床	床				RC部分	軽量鉄骨壁下地部分		塗装	天井高		
1階	エントランスホール	下地	モルタル	モルタル	±0	コンクリート打放しB種	100	コンクリート打放しB種	リブ付	-	コンクリート打放しB種	リブ付	軽量鉄骨天井下地 一部撤去	
		仕上	床用磁器質150角タイル張り	床用磁器質150角タイル張り	±0	(既存のまま)	複層塗材E吹付	100	複層塗材E吹付	-	複層塗材E吹付	-	石こうボード張りt=9.5(捨張り)の上、 ロックウール化粧吸音板t=9(アスベスト含有)一部撤去	7.500
	通路(A)	下地	モルタル	モルタル	±0	コンクリート打放しB種	100	コンクリート打放しB種	リブ付	-	(既存のまま)	-	軽量鉄骨天井下地 一部新設	
		仕上	長尺塩ビシート張りt=2.5 [アスベスト含有]	長尺塩ビシート張りt=2.5 [アスベスト含有]	+300	(既存のまま)	複層塗材E吹付	100	複層塗材E吹付	-	(既存のまま)	-	石こうボード張りt=9.5(捨張り)の上、 ロックウール化粧吸音板t=9(アスベスト含有)一部撤去	3.000 2.500

※ 特記事項

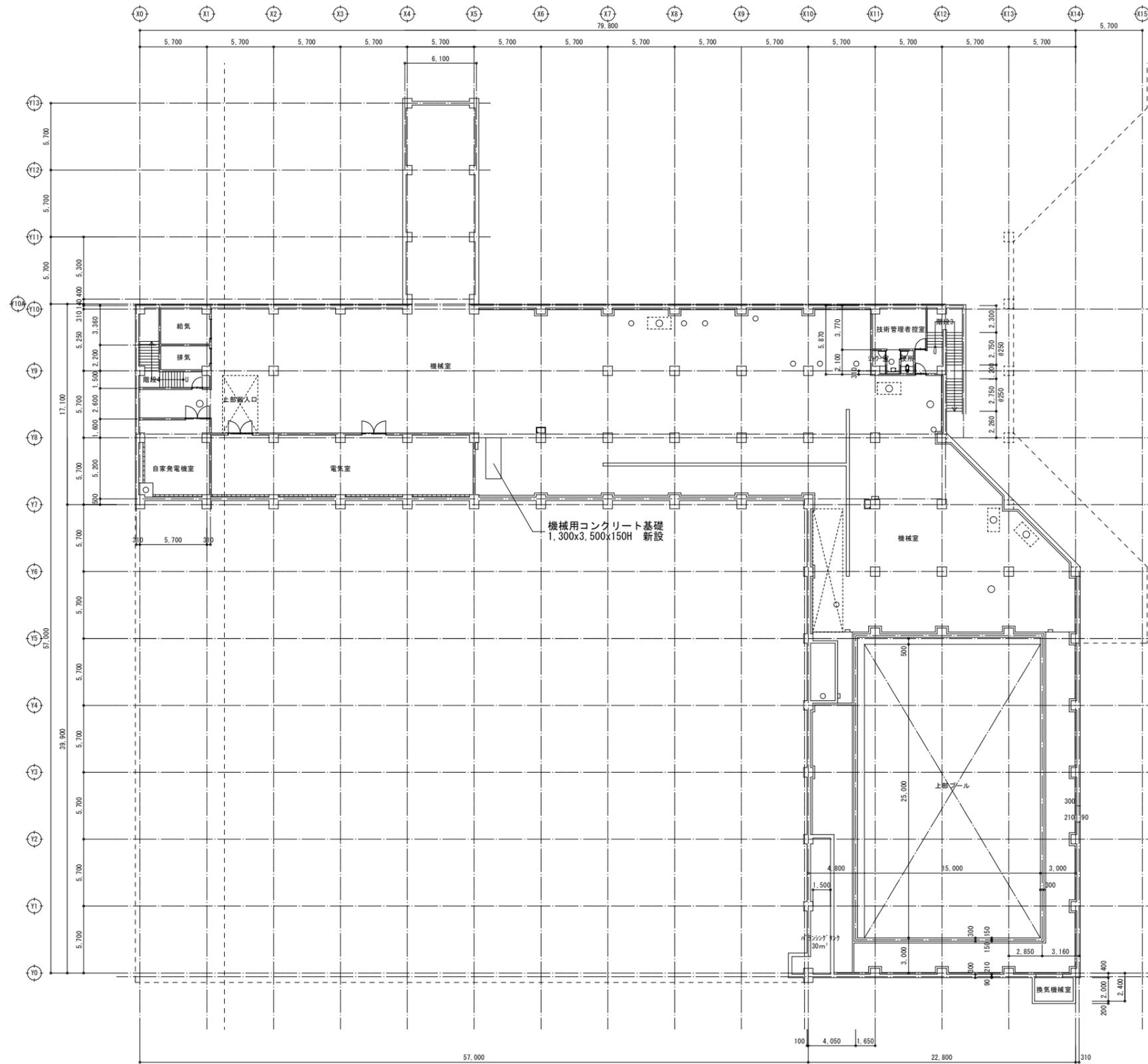
- ・使用材料は、全て無石棉とする。
- ・内部材(下地・仕上・接着剤・塗料等)は、全てF☆☆☆☆とする。
- ・特記なき限り、壁・天井の仕上げは準不燃以上とする。
- ・長尺塩ビシートは滑接継目とする。
- ・天井廻り縁は特記なき限り、塩ビ製品とする。
- ・内部材(下地・仕上・接着剤・塗料等)は、全てF☆☆☆☆とする。
- ・はアスベスト含有建材レベル1、レベル2を示す。
- ・はアスベスト含有建材レベル3を示す。
- ・はアスベスト含有建材レベル3相当(塗料)を示す。
- ・現場には、騒音計・振動計・デジタリ粉塵計を設置し常時監視し、作業を行うこと。

設計年	2025. 3.	工事名	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(2期工事)(建築主体工事)	A1版 100%	図面No.	A-010
図面名	【スポーツ部門】仕上表-1	1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	1級建築士 登録 第305905号 高塚 真仁	A3版 50%	縮尺	-

内部仕上表(2)																
階	室名(改修前)		床	床高 FL±	巾木	H	内 壁 面		塗装	外 壁 面		塗装	天井高	VOC 測定 箇所数	備 考	
	改修後	改修後					RC部分	軽量鉄骨壁下地部分		RC部分	軽量鉄骨壁下地部分					
1	事務室 指導員室	下地	モルタル													
		仕上	ビニル床タイル張り t=2.0		±0	ビニル巾木	100	モルタル金コテ仕上		モルタル金コテ仕上		EP	2.500			
	事務室 指導員室	下地	(既存のまま)													
		仕上	(既存のまま)		±0	(既存のまま)	100	(既存のまま)		(既存のまま)		(既存のまま)	2.500			
	プール	下地	モルタル		+300											
		仕上	複層ビニル床シート張り t=3.0 ノンスリップタイプ [7.5ヘクト含有] 撤去					モルタル金コテ仕上		モルタル金コテ仕上		EP	5.500			
	プール	下地	(既存のまま)		+300											
		仕上	複層ビニル床シート張り t=3.0 ノンスリップタイプ 新設					(既存のまま)		(既存のまま)		(既存のまま)	5.500			
	男子 ロッカー室	下地	モルタル		+300											
		仕上	複層ビニル床シート張り t=3.0 ノンスリップタイプ [7.5ヘクト含有] 撤去					モルタル金コテ仕上		モルタル金コテ仕上		EP	2.300			
	男子 ロッカー室	下地	(既存のまま)		+300											
		仕上	複層ビニル床シート張り t=3.0 ノンスリップタイプ 新設					(既存のまま)		(既存のまま)		(既存のまま)	2.300			
	女子 ロッカー室	下地	モルタル		+300											
		仕上	複層ビニル床シート張り t=3.0 ノンスリップタイプ [7.5ヘクト含有] 撤去					モルタル金コテ仕上		モルタル金コテ仕上		EP	2.300			
	女子 ロッカー室	下地	(既存のまま)		+300											
		仕上	複層ビニル床シート張り t=3.0 ノンスリップタイプ 新設					(既存のまま)		(既存のまま)		(既存のまま)	2.300			
	採暖室	下地	モルタル		+300											
		仕上	複層ビニル床シート張り t=3.0 ノンスリップタイプ [7.5ヘクト含有]					モルタル金コテ仕上		モルタル金コテ仕上		EP	2.300			
	採暖室	下地	(既存のまま)		+300											
		仕上	(既存のまま)					(既存のまま)		(既存のまま)		(既存のまま)	2.300			
	控室	下地	モルタル		+300	ビニル巾木	100									
		仕上	ビニル床タイル張り t=2.0					コンクリート打放しB種		コンクリート打放しB種		EP	2.500			
	控室	下地	(既存のまま)		+300	(既存のまま)	100									
		仕上	(既存のまま)					(既存のまま)		(既存のまま)		(既存のまま)	2.500			
男子便所 女子便所	下地	モルタル		+300			モルタル									
	仕上	ビニル床シート張り t=2.5 [7.5ヘクト含有] 撤去					陶器質100角タイル張り 一部撤去					2.500				
男子便所 女子便所	下地	(既存のまま)		+300			(既存のまま)									
	仕上	ビニル床シート張り t=2.5 新設					陶器質100角タイル張り 一部新設					2.500				
便所 (X0-X1間、 Y7-Y8間)	下地	モルタル		+300			モルタル									
	仕上	ビニル床シート張り t=2.5 [7.5ヘクト含有]					陶器質100角タイル張り					2.500				
便所 (X0-X1間、 Y7-Y8間)	下地	(既存のまま)		+300			(既存のまま)									
	仕上	(既存のまま)					(既存のまま)					2.500				
男子便所 女子便所 (プール廻り)	下地	モルタル		+300			モルタル									
	仕上	エポキシ樹脂塗床 撤去					陶器質100角タイル張り				EP	2.300				
男子便所 女子便所 (プール廻り)	下地	(既存のまま)		+300			(既存のまま)									
	仕上	エポキシ樹脂塗床 新設					(既存のまま)				EP	2.300				
HWC	下地	モルタル		+300	ラバータイル t=6.0	300	モルタル									
	仕上	ビニル床シート張り t=2.5 [7.5ヘクト含有] 撤去					陶器質100角タイル張り					2.500				
HWC	下地	(既存のまま)		+300	(既存のまま)	300	(既存のまま)									
	仕上	ビニル床シート張り t=2.5 新設					(既存のまま)					2.500				
2	ホール	下地	モルタル				コンクリート打放しB種 複層塗材E吹付		コンクリート打放しB種 複層塗材E吹付							
		仕上	長尺塩ビシート張り t=2.5 [7.5ヘクト含有]		±0		複層塗材E吹付		複層塗材E吹付			2.500				
	ホール	下地	(既存のまま)		±0	(既存のまま)	100	(既存のまま)		(既存のまま)			2.500			
		仕上	(既存のまま)					(既存のまま)		(既存のまま)			2.500			
	観覧席	下地	モルタル		±0			コンクリート打放しB種 EP		コンクリート打放しB種						
		仕上	エポキシ樹脂塗床			(既存のまま)	100	コンクリート打放しB種		コンクリート打放しB種		EP	2.500			
	観覧席	下地	(既存のまま)		±0	(既存のまま)	100									
		仕上	(既存のまま)					(既存のまま)		(既存のまま)		(既存のまま)	2.500			
	男子便所 女子便所	下地	モルタル		+300			モルタル								
		仕上	ビニル床シート張り t=2.5 [7.5ヘクト含有] 撤去					陶器質100角タイル張り 一部撤去					2.500			
	男子便所 女子便所	下地	(既存のまま)		+300			(既存のまま)								
		仕上	ビニル床シート張り t=2.5 新設					陶器質100角タイル張り 一部新設					2.500			
HWC	下地	モルタル		+300	ラバータイル t=6.0	300	モルタル									
	仕上	ビニル床シート張り t=2.5 [7.5ヘクト含有] 撤去					陶器質100角タイル張り					2.500				
HWC	下地	(既存のまま)		+300	(既存のまま)	300	(既存のまま)									
	仕上	ビニル床シート張り t=2.5 新設					(既存のまま)					2.500				
3	便所	下地	モルタル		+300		モルタル									
		仕上	ビニル床シート張り t=2.5 [7.5ヘクト含有] 一部撤去				陶器質100角タイル張り 一部撤去					2.300				
便所	下地	(既存のまま)		+300			(既存のまま)									
	仕上	ビニル床シート張り t=2.5 一部新設					陶器質100角タイル張り 一部新設					2.300				

※ 特記事項

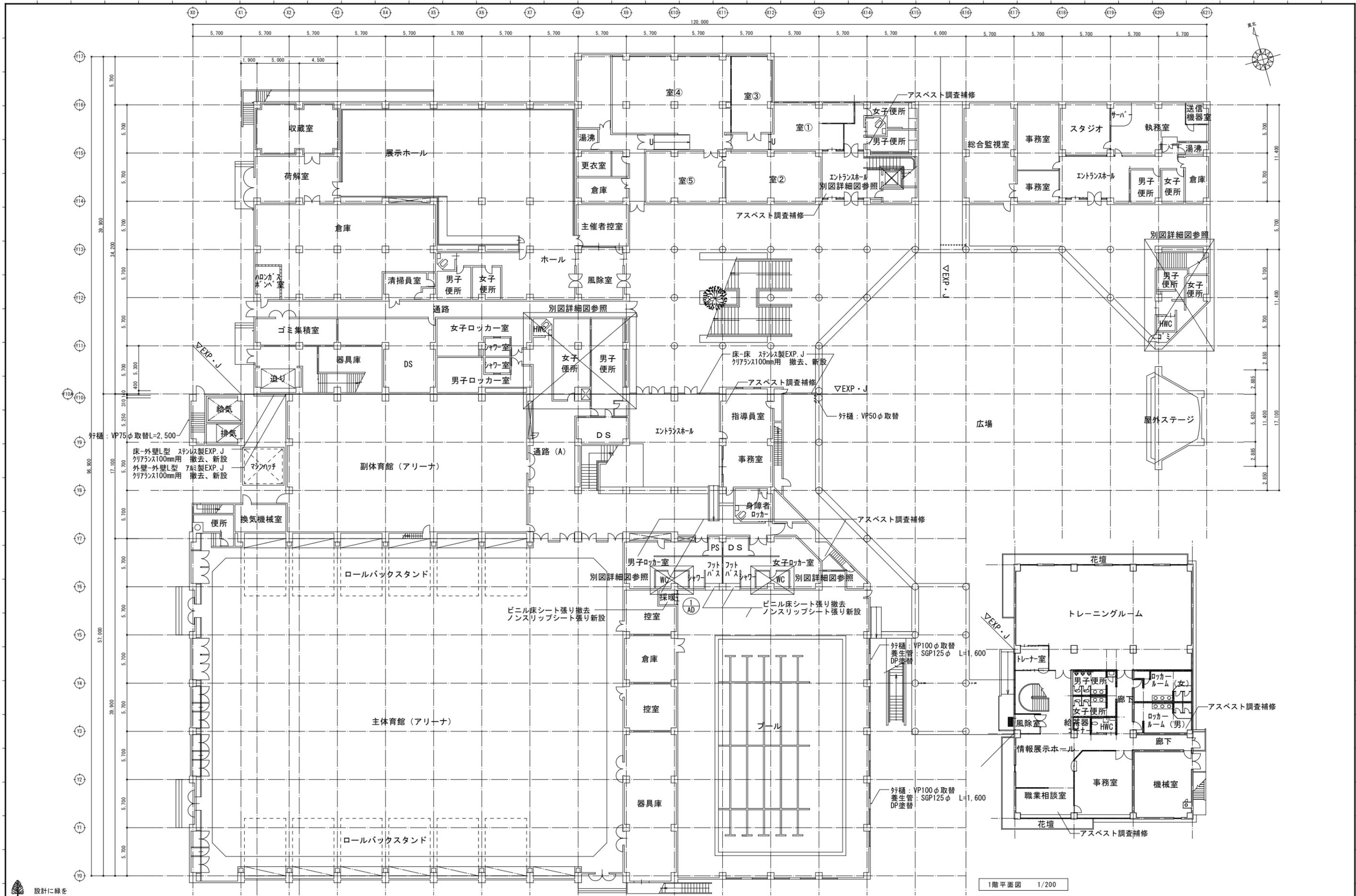
- ・使用材料は、全て難燃とする。
- ・内部材(下地・仕上・接着剤・塗装等)は、全てF☆☆☆☆とする。
- ・内部材(下地・仕上・接着剤・塗装等)は、全てF☆☆☆☆とする。
- ・特記なき限り、壁・天井の仕上げは準不燃以上とする。
- ・長尺塩ビシートは滑り止めとする。
- ・天井廻り縁は特記なき限り、塩ビ製とする。
- ・内部材(下地・仕上・接着剤・塗装等)は、全てF☆☆☆☆とする。
- ・ はアスベスト含有建材レベル1、レベル2を示す。
- ・ はアスベスト含有建材レベル3を示す。
- ・ はアスベスト含有建材レベル3相当(塗材)を示す。
- ・現場には、騒音計・振動計・デジタル粉塵計を設置し常時監視し、作業を行うこと。



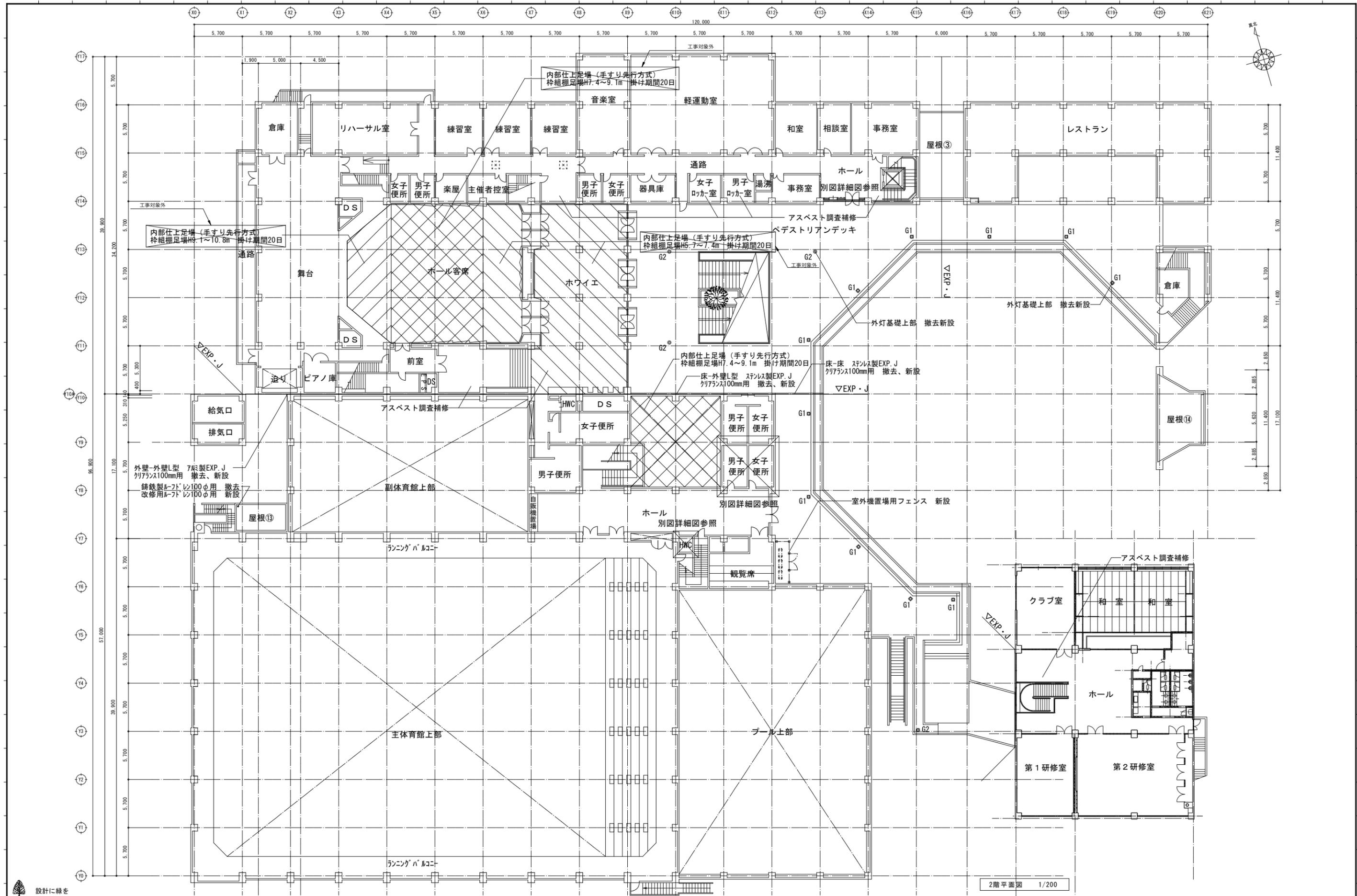
地下1階平面図 1/200

設計に緑を

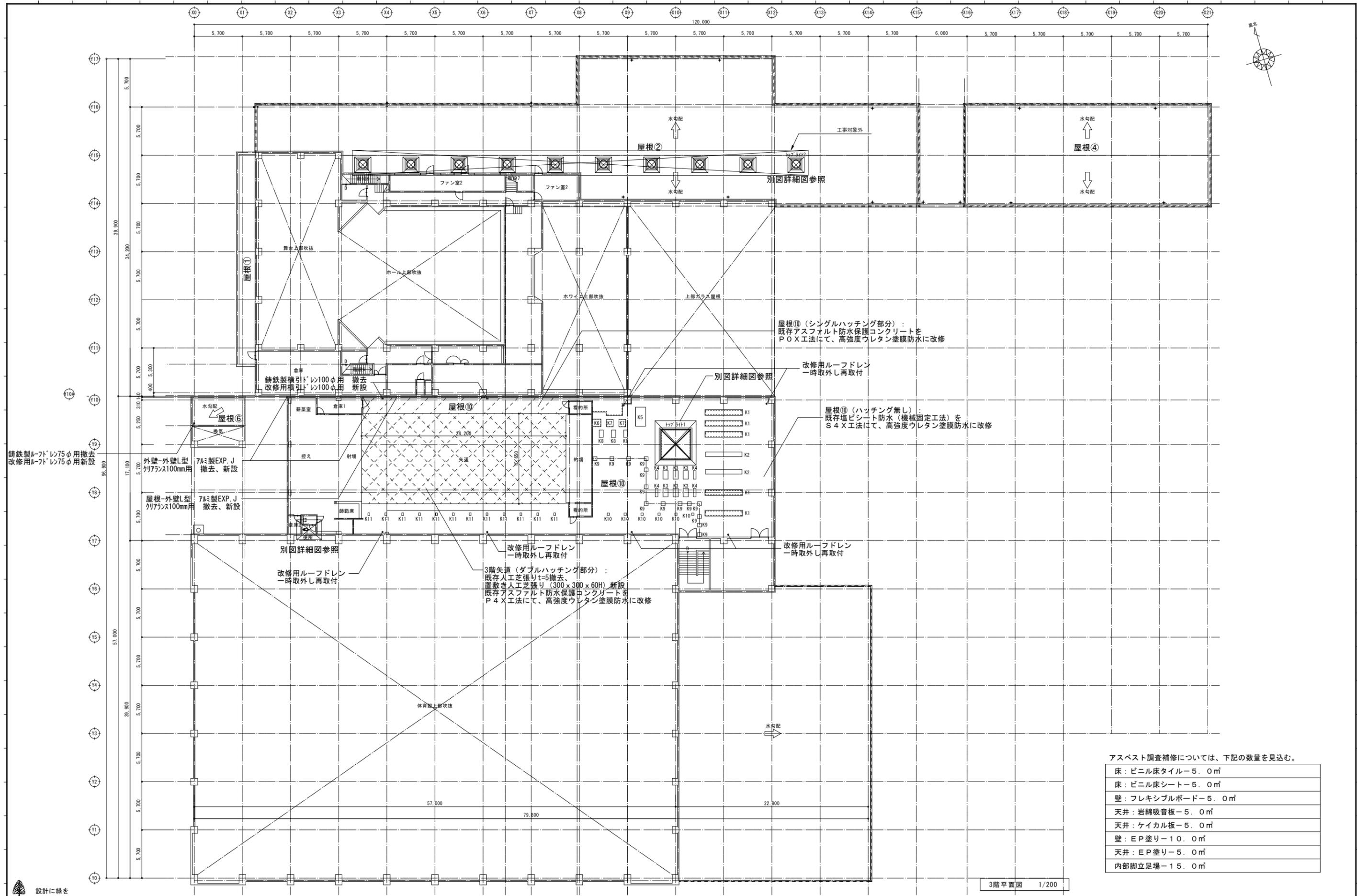
記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	意匠設計者 1級建築士 登録 第305905号 高埜 真仁	設計年月日	工事名	A1版 100%	図面No.
				2025. 3.	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(2期工事)(建築主体工事)	A3版 50%	
				図面名	縮尺		
				地下1階平面図	1/200		



1階平面図 1/200



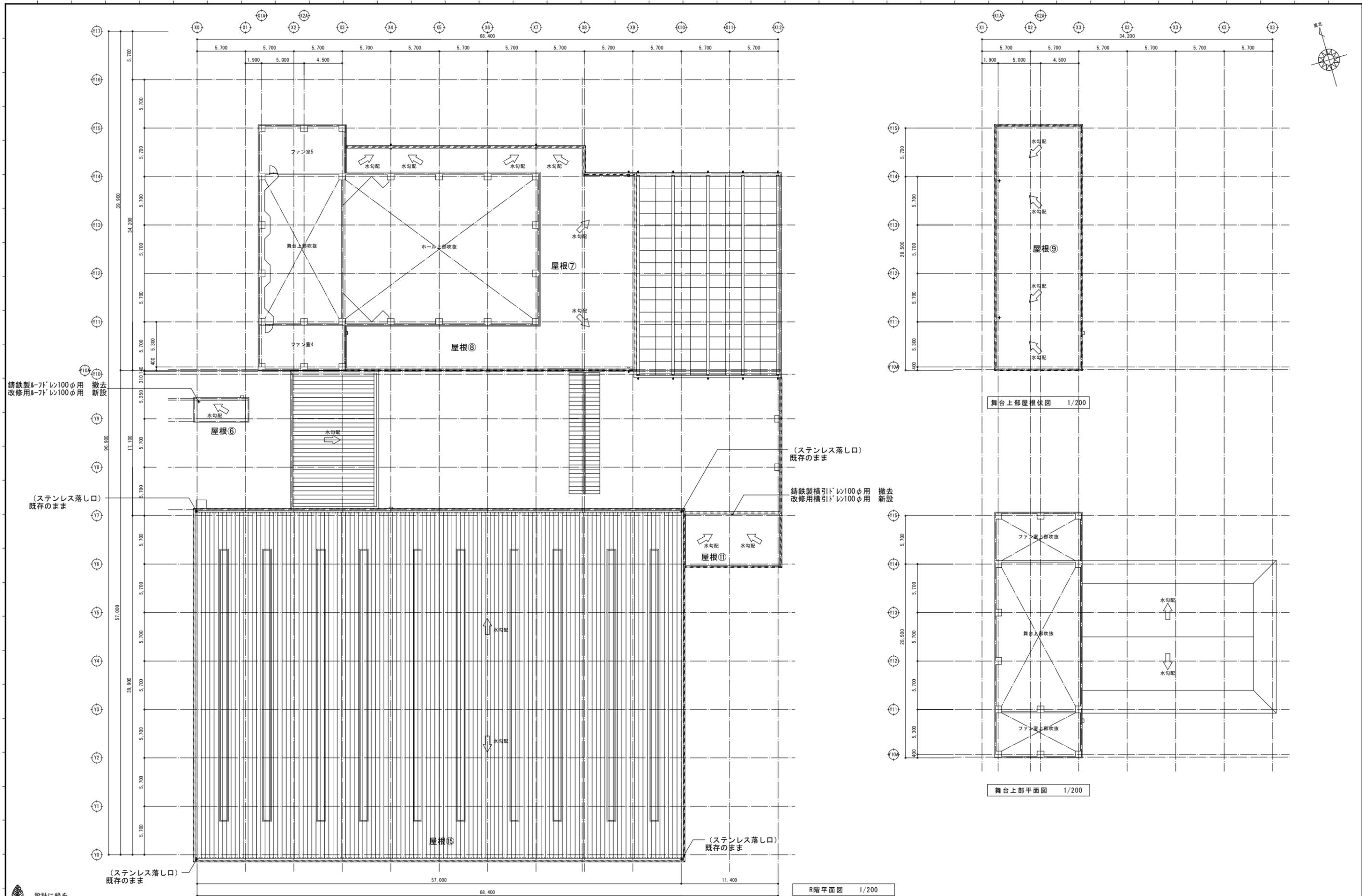
2階平面図 1/200

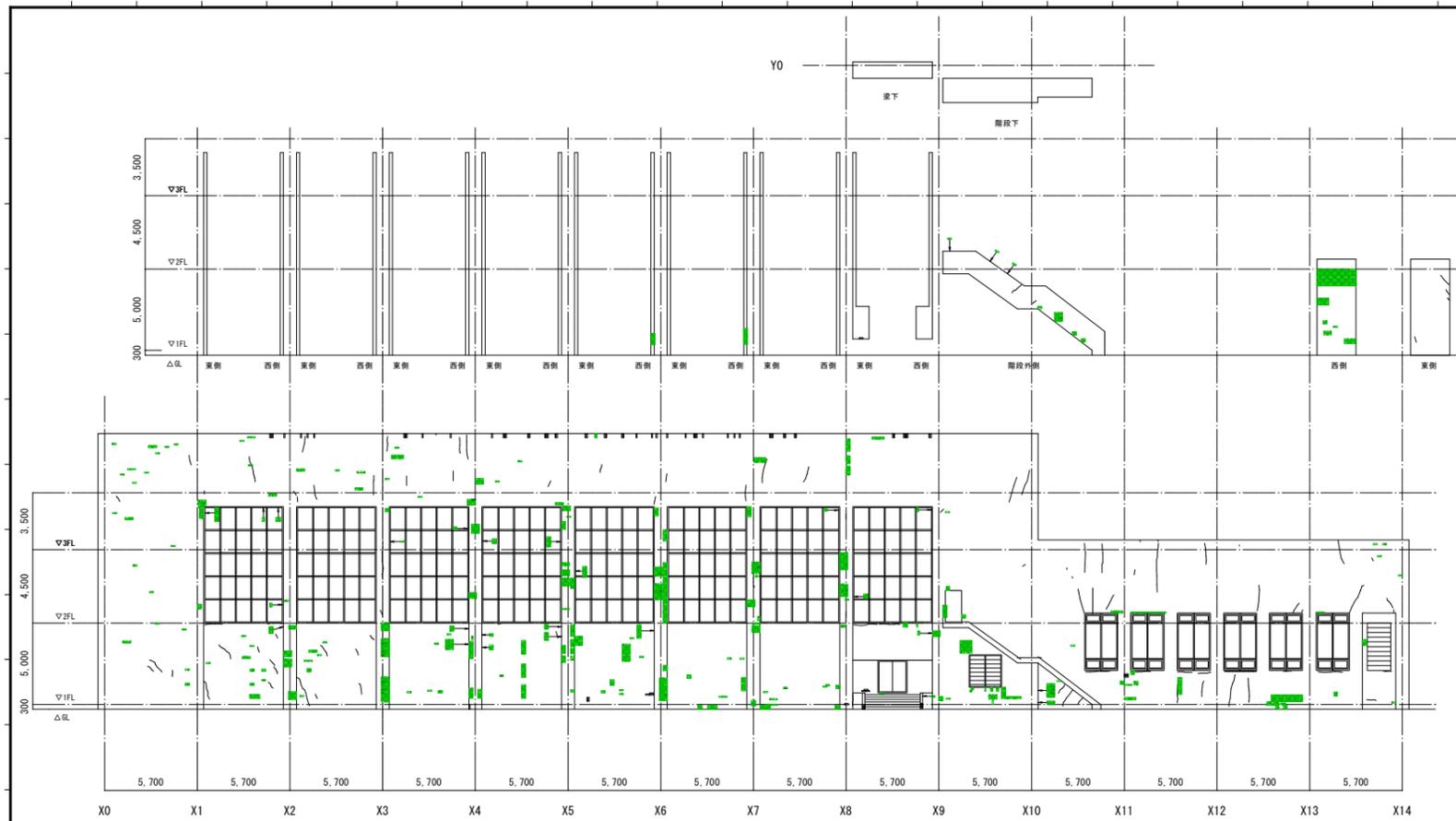


アスベスト調査補修については、下記の数量を見込む。

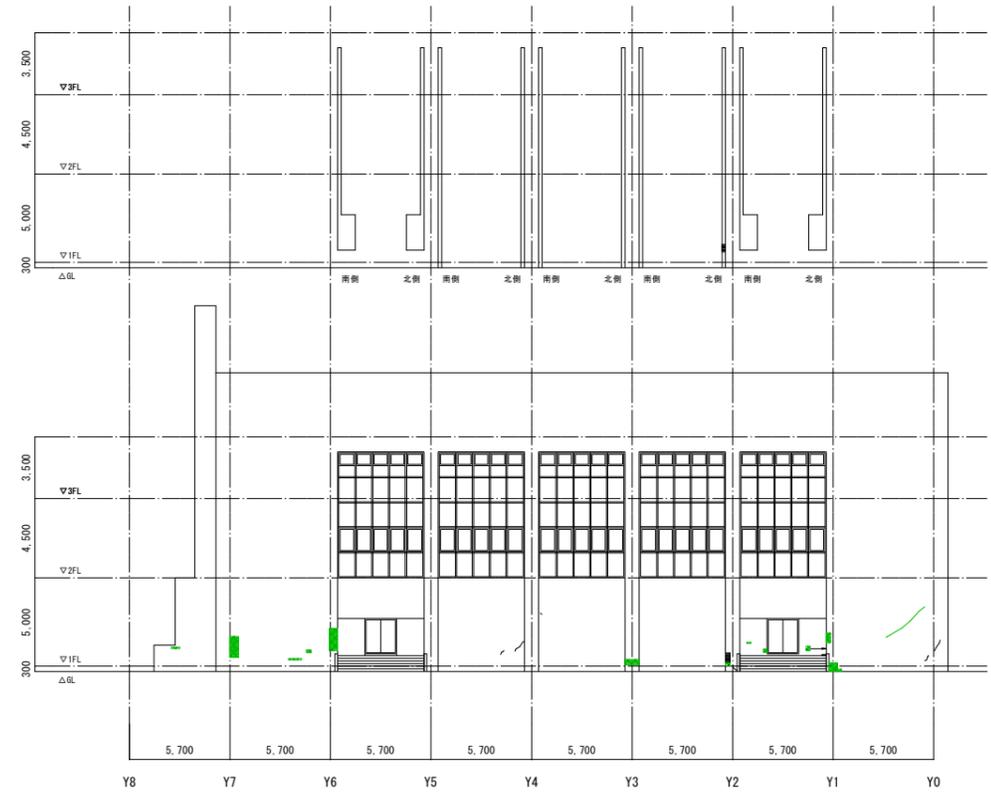
床：ビニル床タイル	5.0㎡
床：ビニル床シート	5.0㎡
壁：フレキシブルボード	5.0㎡
天井：岩綿吸音板	5.0㎡
天井：ケイカル板	5.0㎡
壁：EP塗リ	10.0㎡
天井：EP塗リ	5.0㎡
内部脚立足場	15.0㎡

3階平面図 1/200

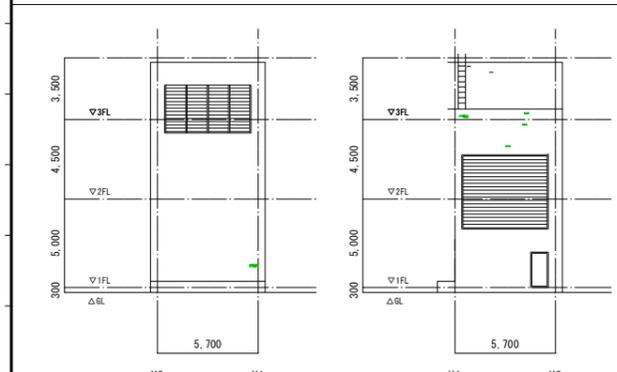




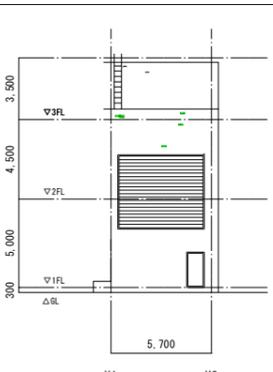
(A) Y0・X0-X14通り南立面図



(A) X0・Y0-Y8通り西立面図



(A) Y9・X0-X1通り南立面図



(B) Y10・X0-X1通り北立面図

凡例

鉄筋露出に由来しないと思われるもの

- タイル面 ひび割れ
- タイル面 浮き
- 打放し面 ひび割れ

鉄筋露出に由来すると思われるもの

- タイル面 ひび割れ
- タイル面 浮き
- 打放し面 鉄筋の発露
- 打放し面 浮き

○ : 記録写真貼

○ : 早急に対策が必要な箇所

2F→3F部	2F→2F部	2F→1F部	2F→1F部	2F→1F部
A面	B面	C面	D面	F面
0.47㎡	0.40㎡	0.40㎡	1.40㎡	
0.07㎡	0.10㎡	0.03㎡		
			0.03㎡	0.05㎡

凡例

鉄筋露出に由来しないと思われるもの

- タイル面 ひび割れ
- タイル面 浮き
- 打放し面 ひび割れ

鉄筋露出に由来すると思われるもの

- タイル面 ひび割れ
- タイル面 浮き
- 打放し面 鉄筋の発露
- 打放し面 浮き

○ : 記録写真貼

○ : 早急に対策が必要な箇所

2F→2F部
A面
81.18㎡
25.84㎡
1.26㎡



(B) Y8・X0-X2通り北立面図

凡例

鉄筋露出に由来しないと思われるもの

- タイル面 ひび割れ
- タイル面 浮き
- 打放し面 ひび割れ

鉄筋露出に由来すると思われるもの

- タイル面 ひび割れ
- タイル面 浮き
- 打放し面 鉄筋の発露
- 打放し面 浮き

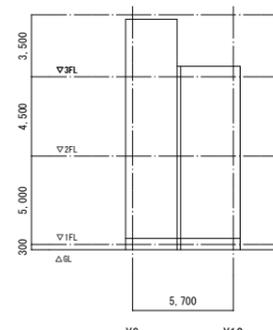
○ : 記録写真貼

○ : 早急に対策が必要な箇所

2F→2F部	2F→2F部
A面	B面
5.71㎡	0.90㎡
0.28㎡	0.19㎡
0.25㎡	



(C) X0・Y9-Y10通り西立面図

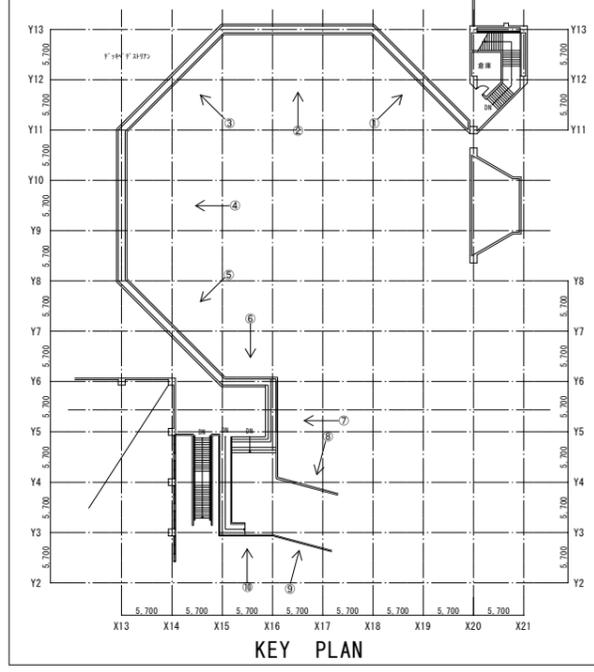
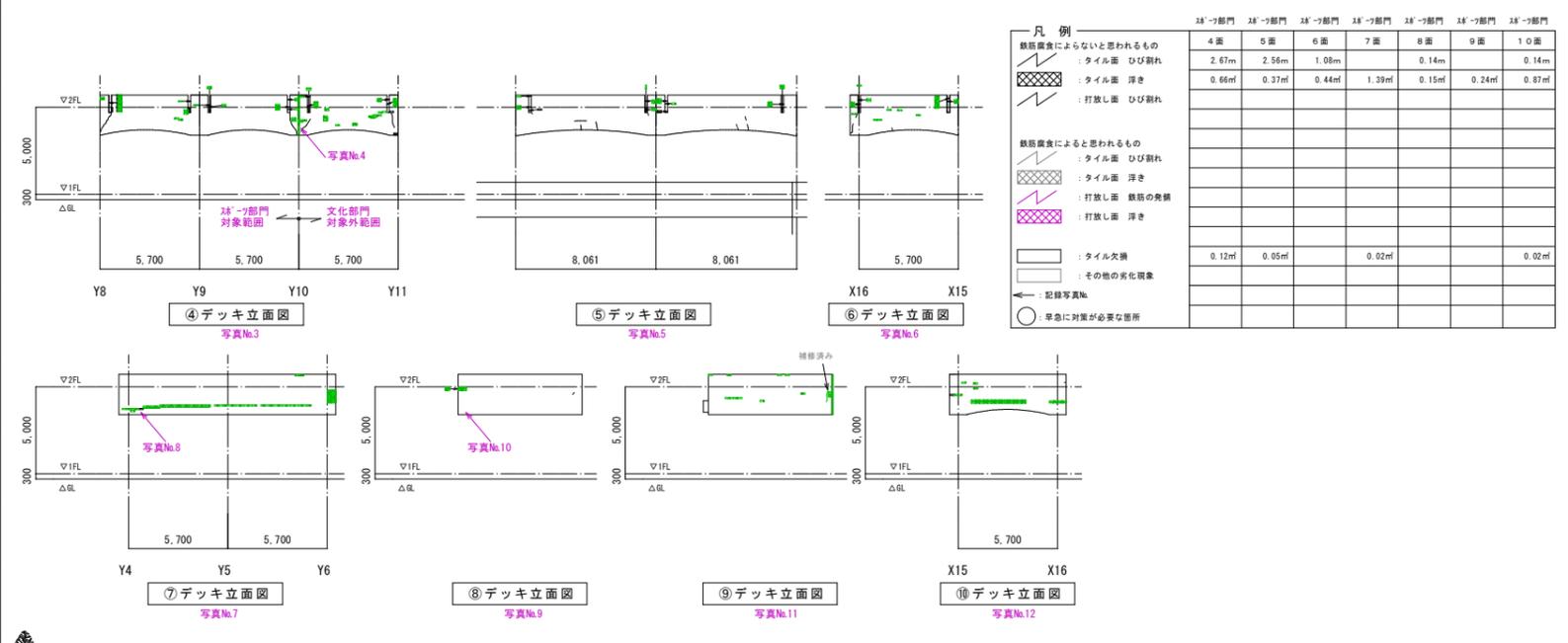
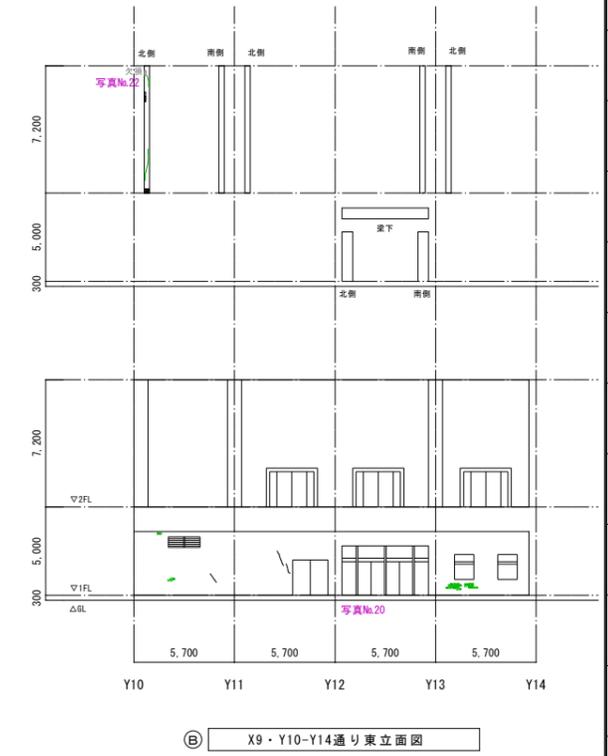
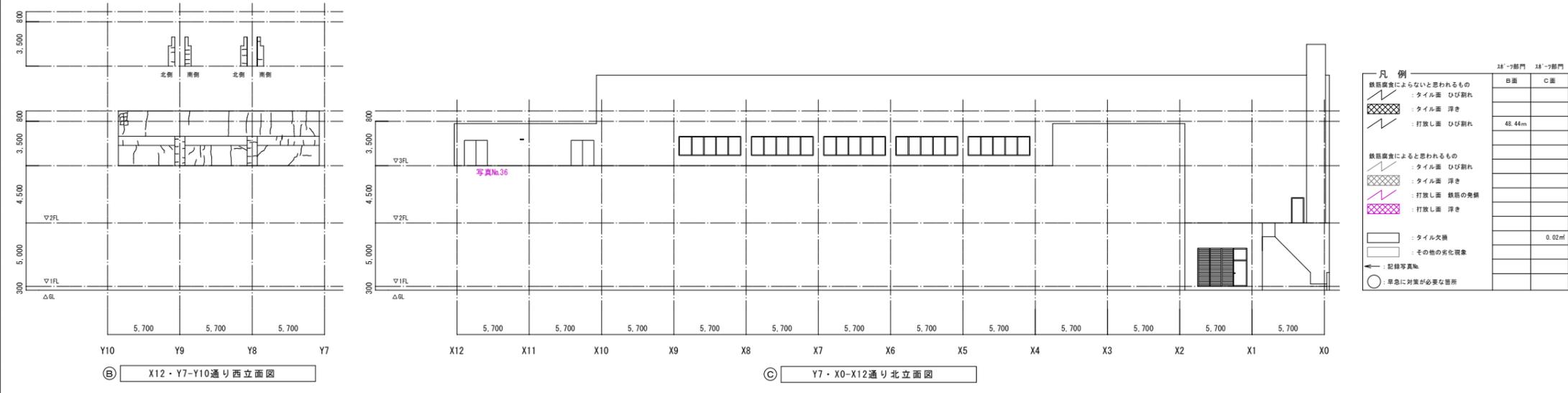
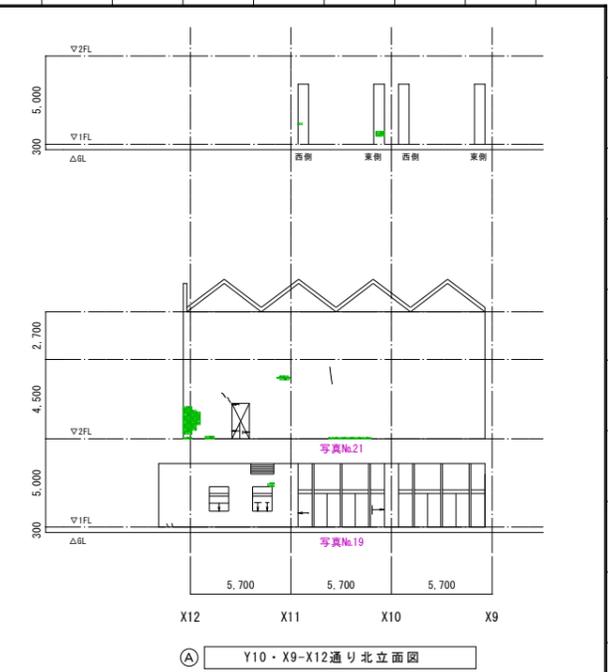
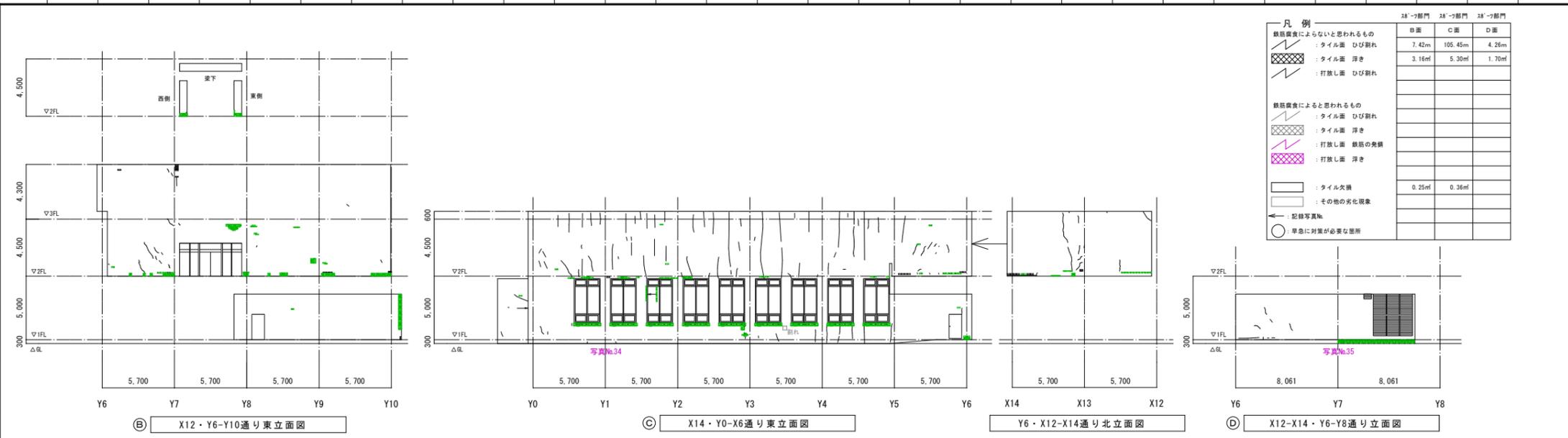


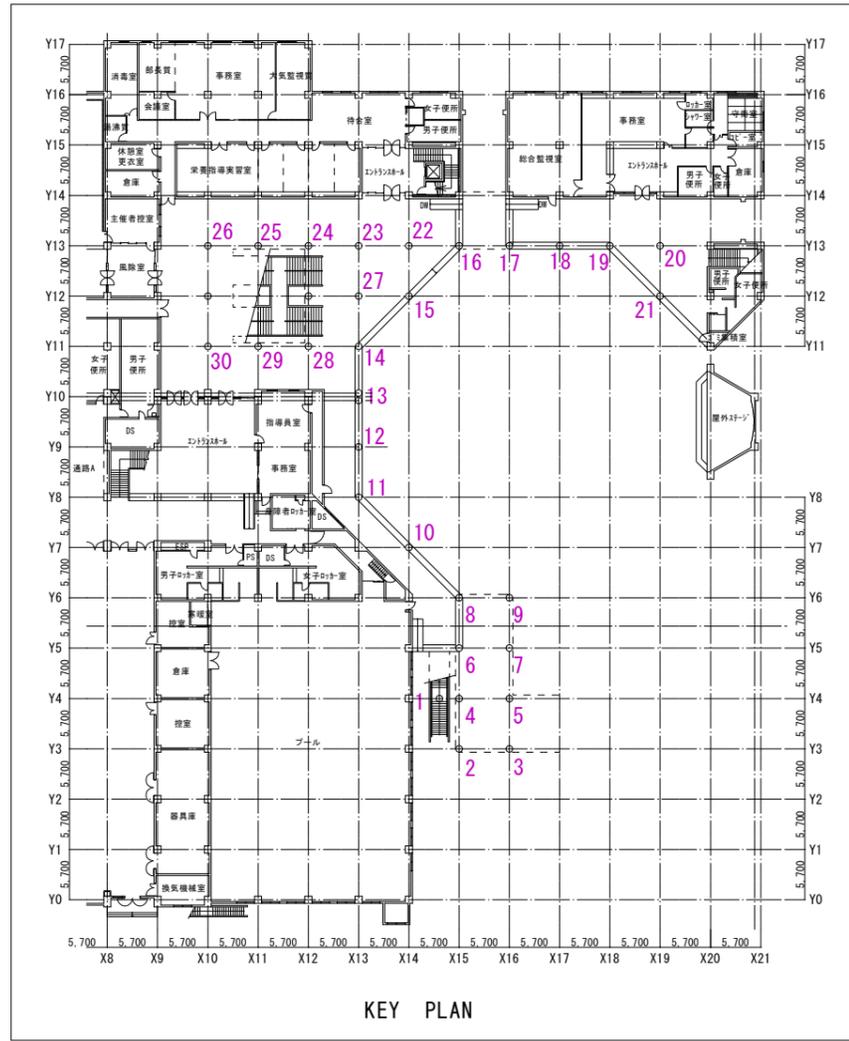
(D) X1・Y9-Y10通り東立面図



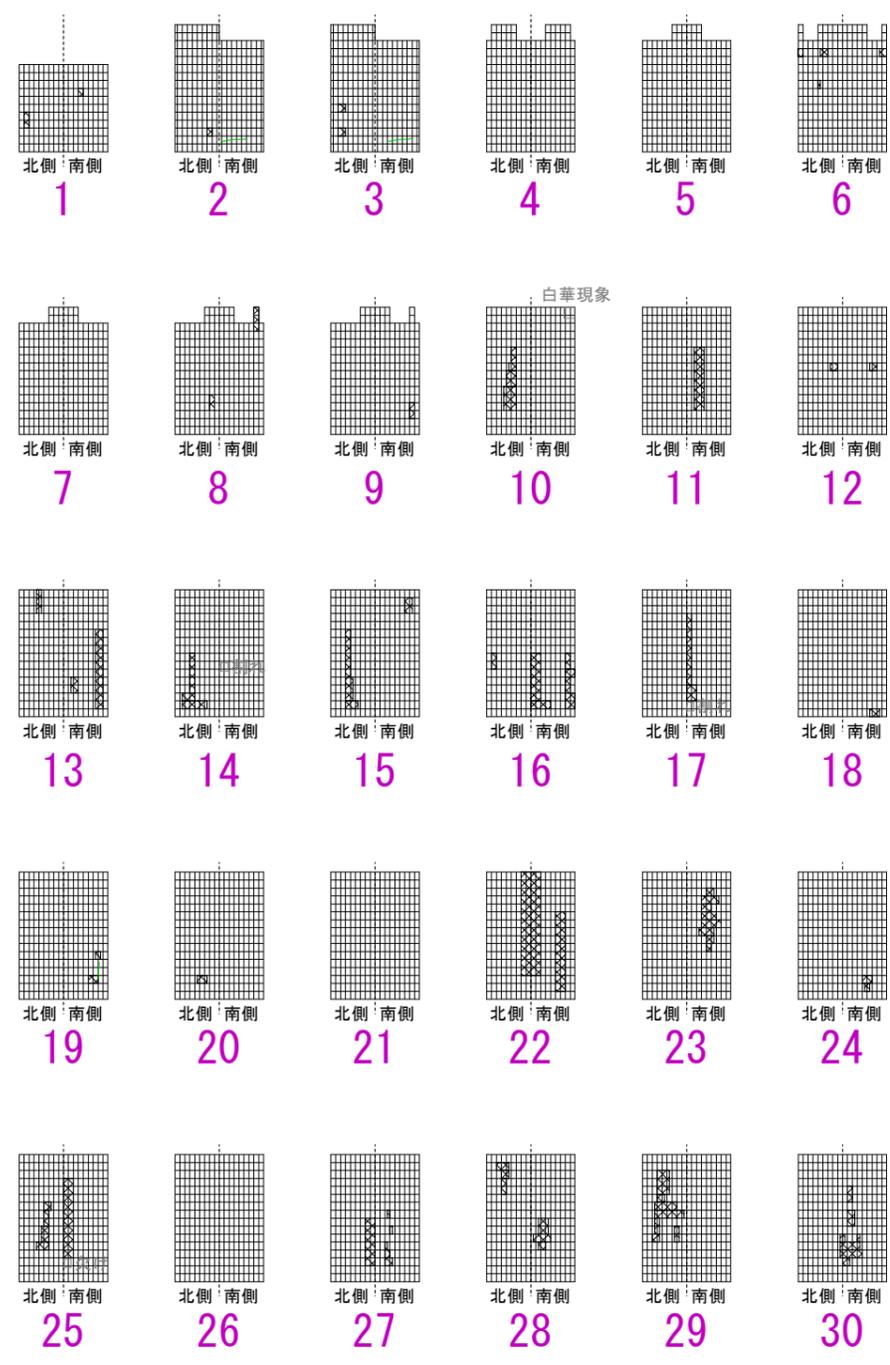
(E) X2・Y7-Y10通り西立面図

※特記なき限り外壁面は、せつ器質二丁掛タイル張りとする。
外壁タイルは全面打診調査を行い、劣化部補修後、水洗い清掃とする。

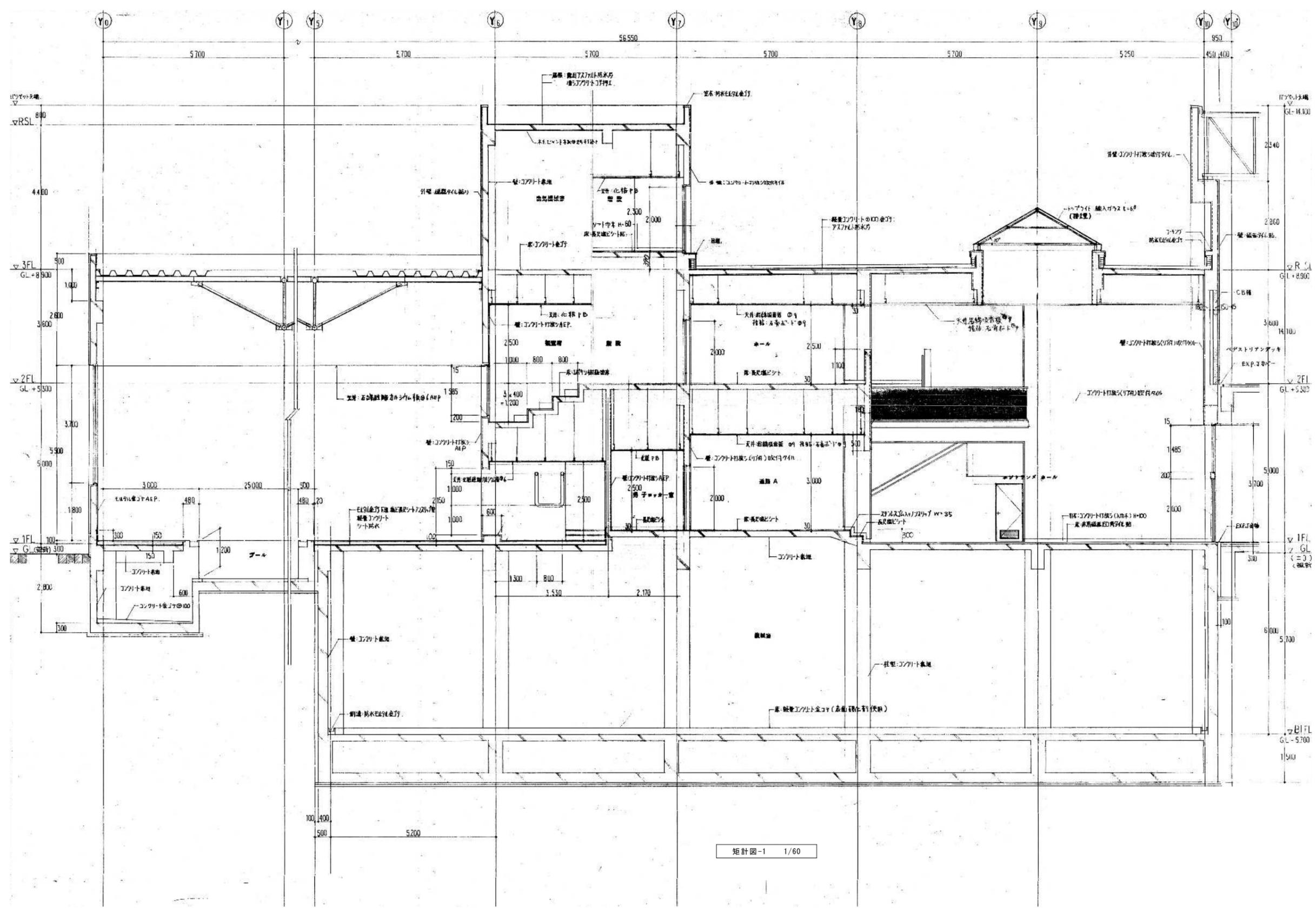




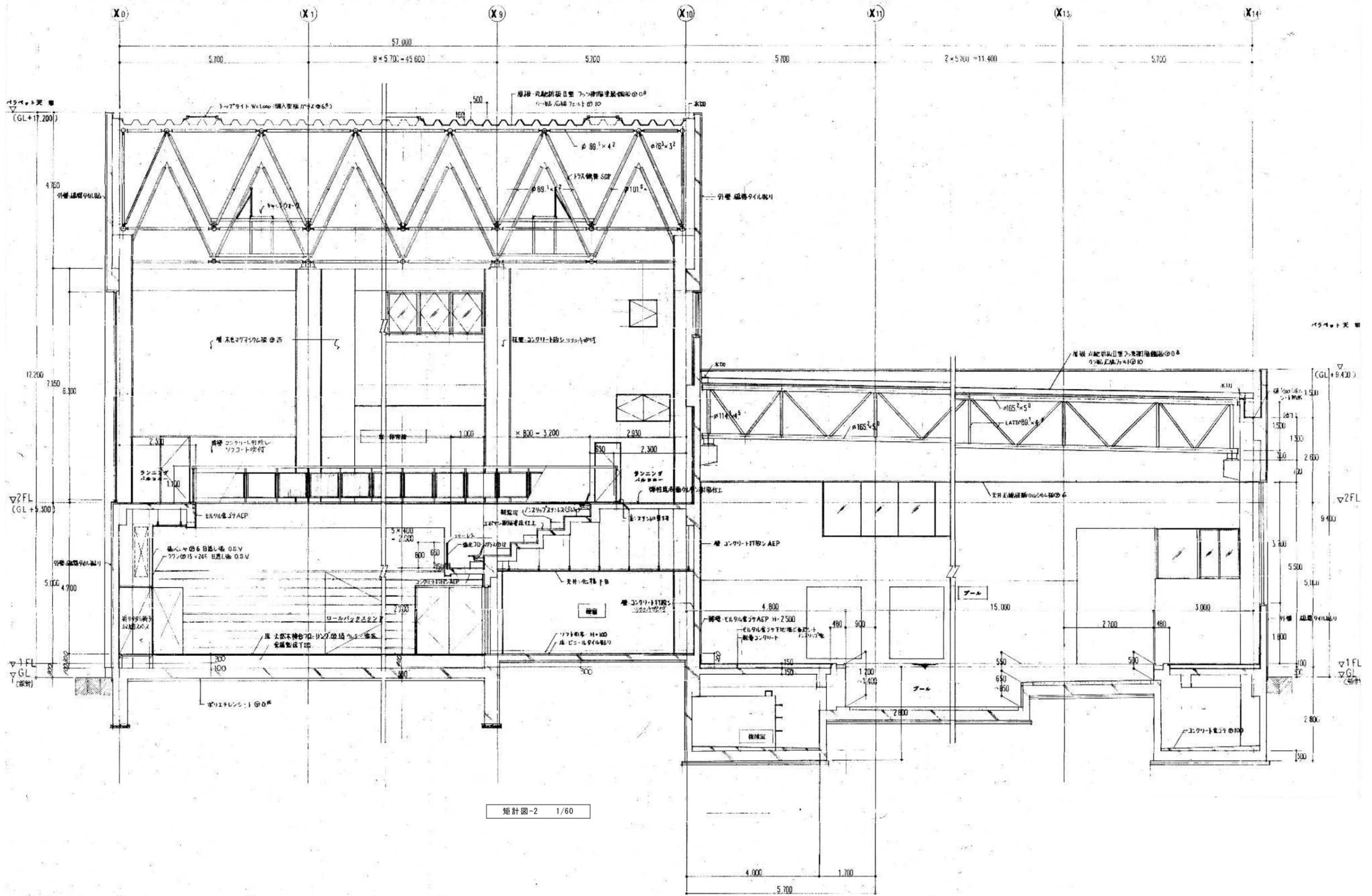
KEY PLAN



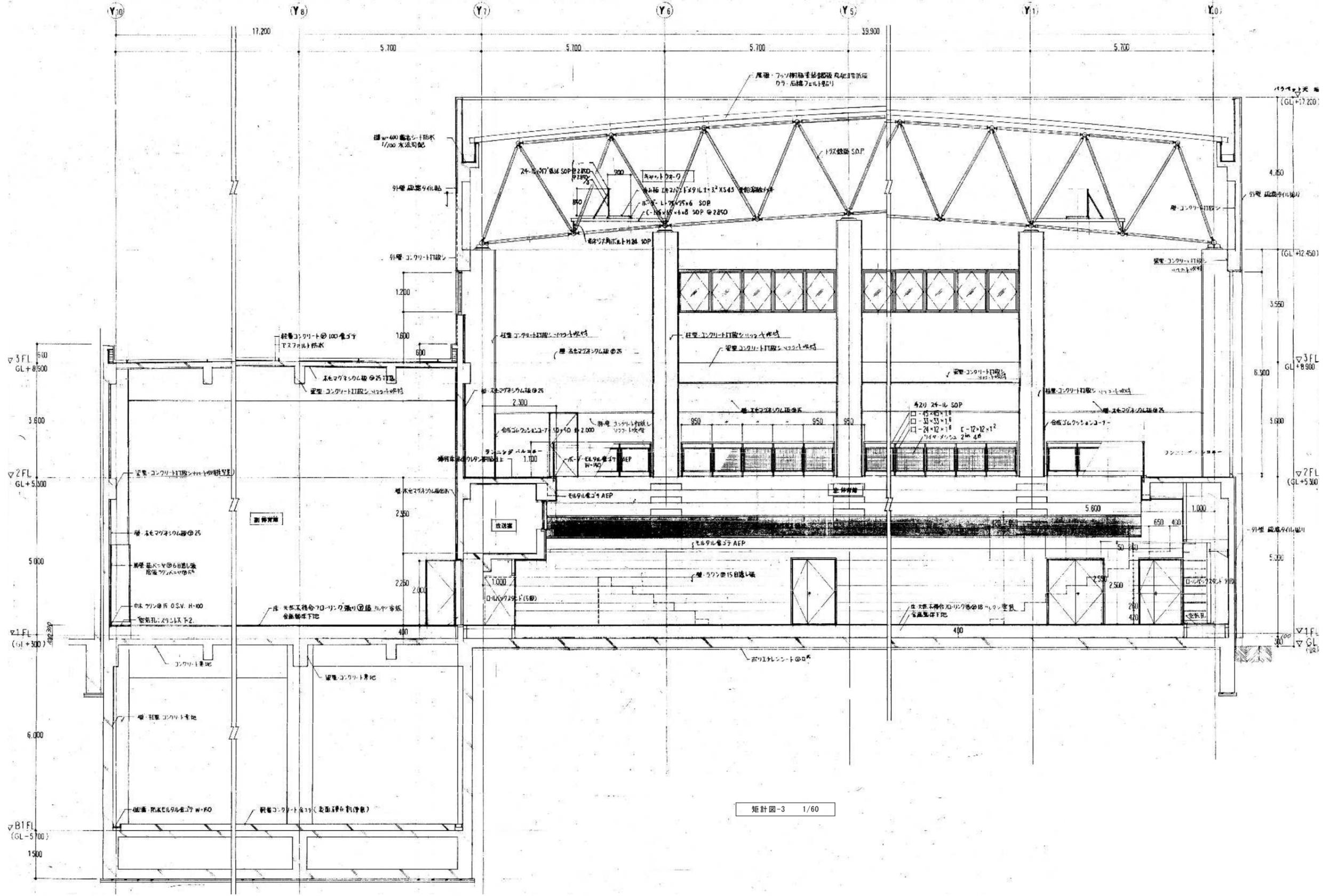
凡例	文化部門			
	X8~X15	X16~X21	X16~X21	X16~X21
鉄筋露出によると思われるもの				
：タイル面 ひび割れ	1.47㎡	0.48㎡		
：タイル面 浮き	2.31㎡	1.77㎡	0.63㎡	6.15㎡
：打放し面 ひび割れ				
鉄筋露出によると思われるもの				
：タイル面 ひび割れ				
：タイル面 浮き				
：打放し面 鉄筋の露出				
：打放し面 浮き				
：タイル欠損		0.04㎡	0.04㎡	0.04㎡
：その他の劣化現象	0.09㎡			
○ 記録写真				
○ 緊急に対処が必要な箇所				



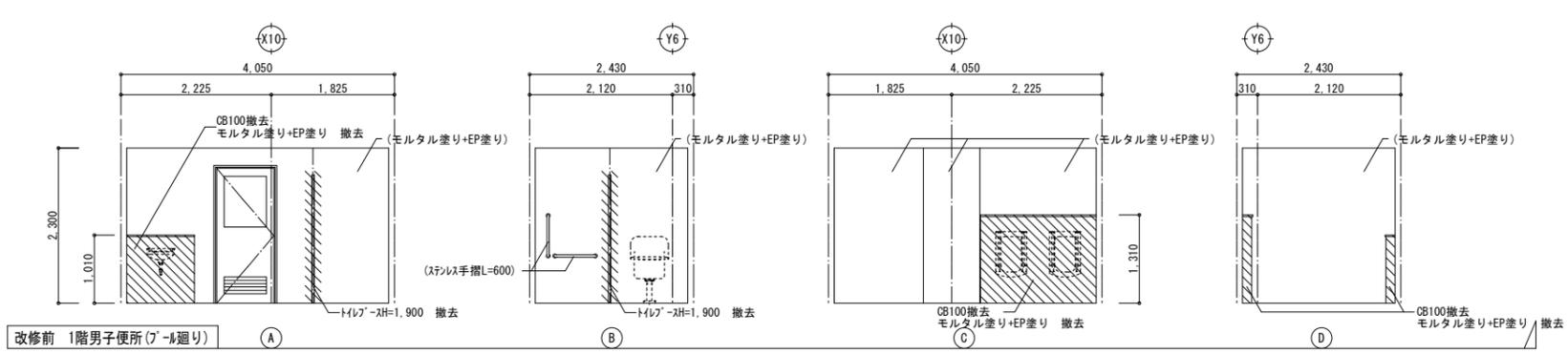
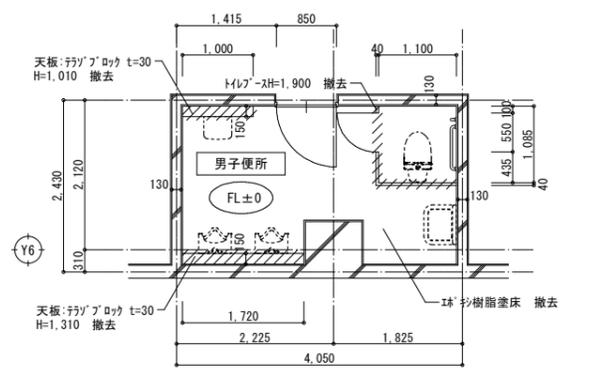
矩計図-1 1/60



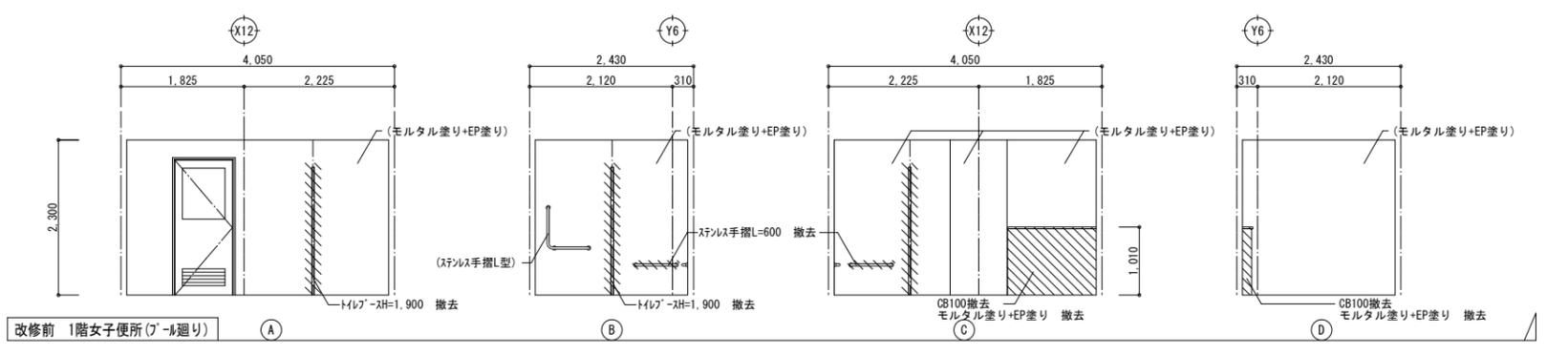
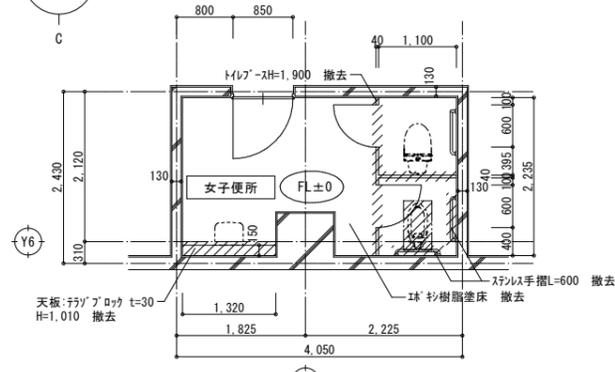
矩計図-2 1/60



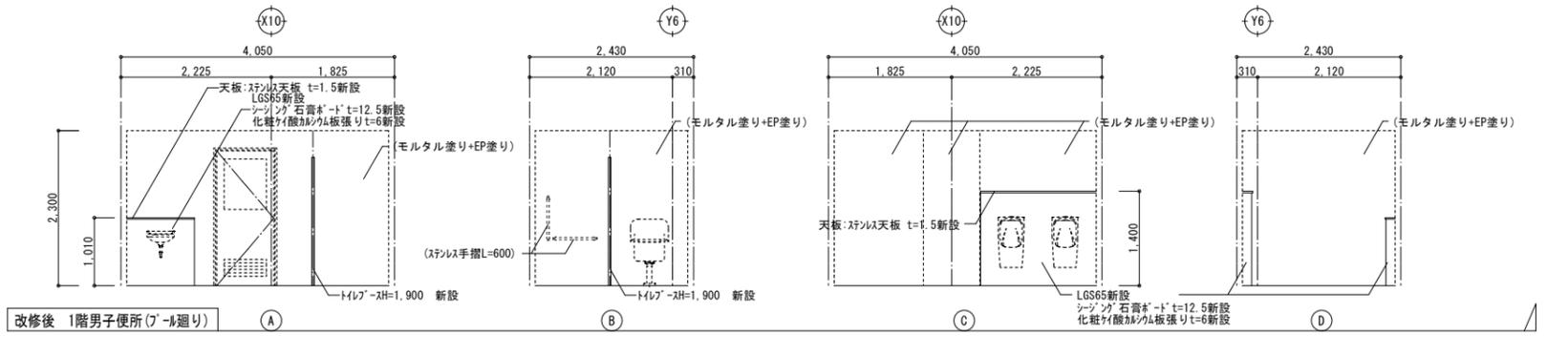
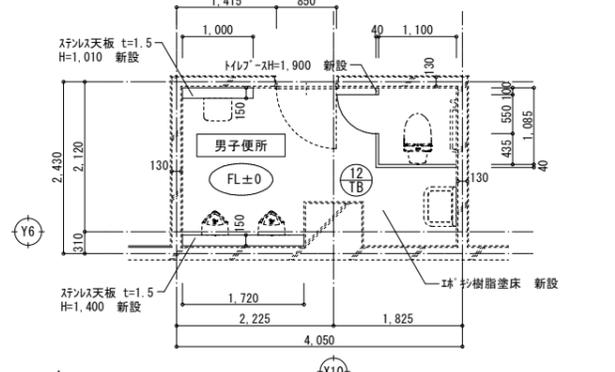
矩計図-3 1/60



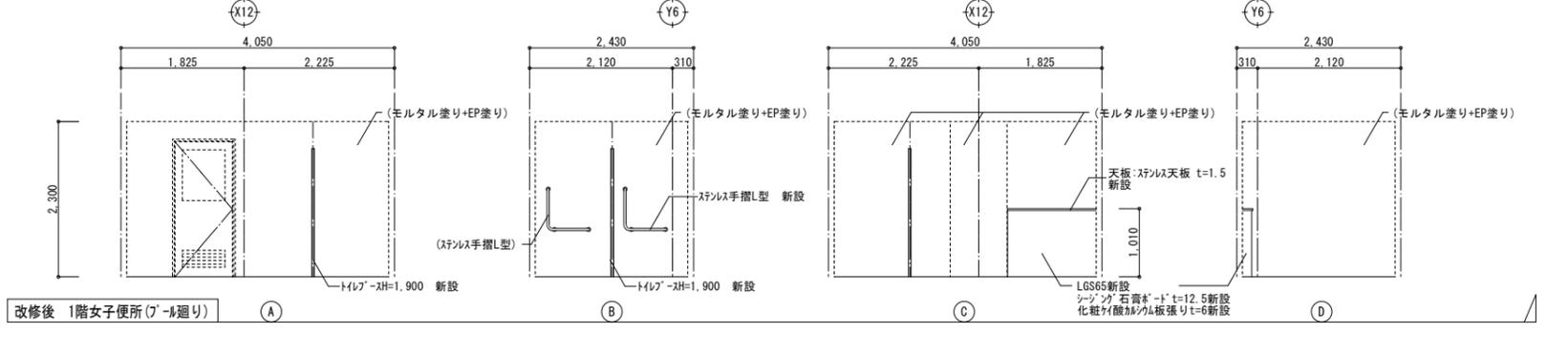
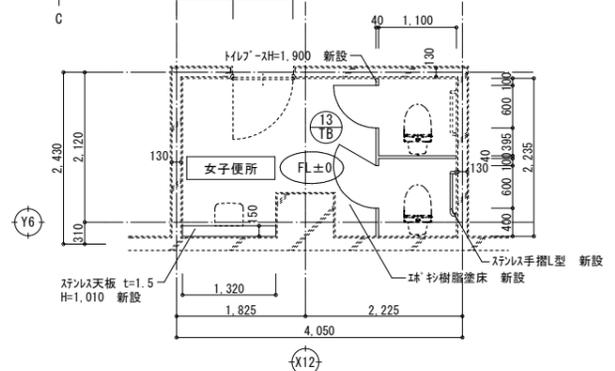
スポーツ部門
改修前 1階 男子便所(ﾌﾞｰﾙ廻り) 平面詳細図 1/50



スポーツ部門
改修前 1階 女子便所(ﾌﾞｰﾙ廻り) 平面詳細図 1/50



スポーツ部門
改修後 1階 男子便所(ﾌﾞｰﾙ廻り) 平面詳細図 1/50



スポーツ部門
改修後 1階 女子便所(ﾌﾞｰﾙ廻り) 平面詳細図 1/50



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

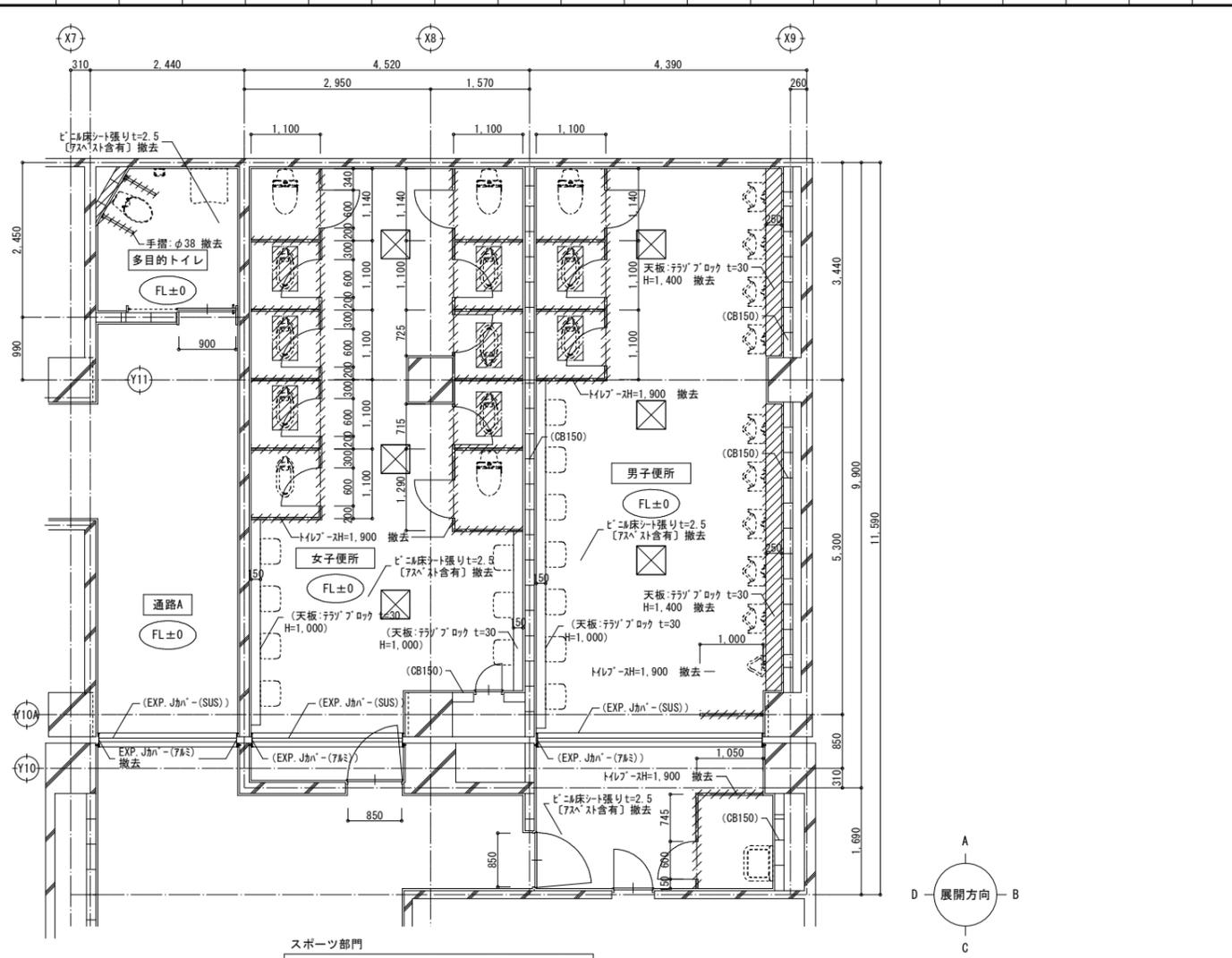
管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

意匠設計者
1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁

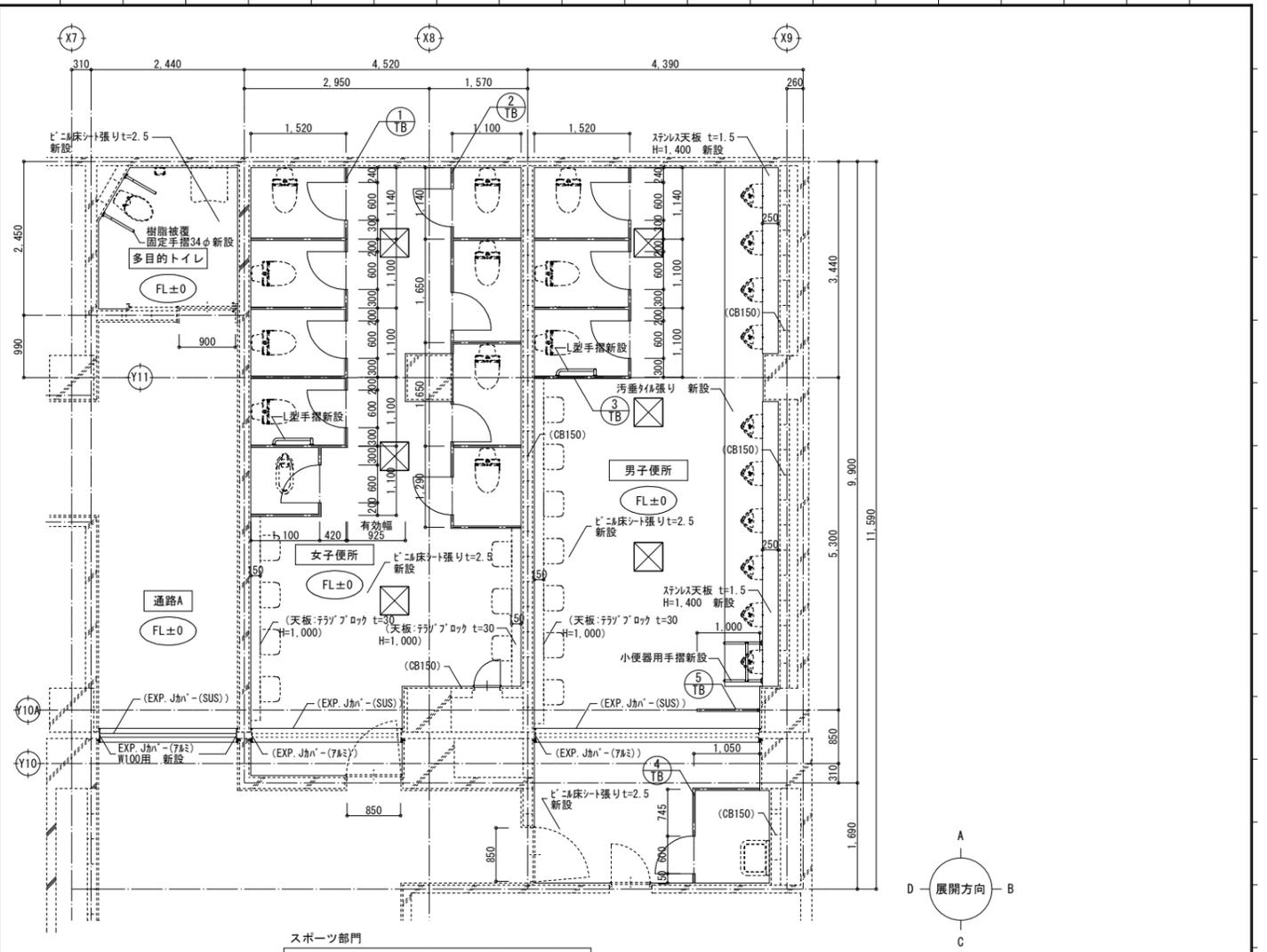
設計年月日
2025. 3.

工事名
三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(2期工事)(建築主体工事)
図面名
1階便所(ﾌﾞｰﾙ廻り)詳細図・展開図
縮尺
1/50

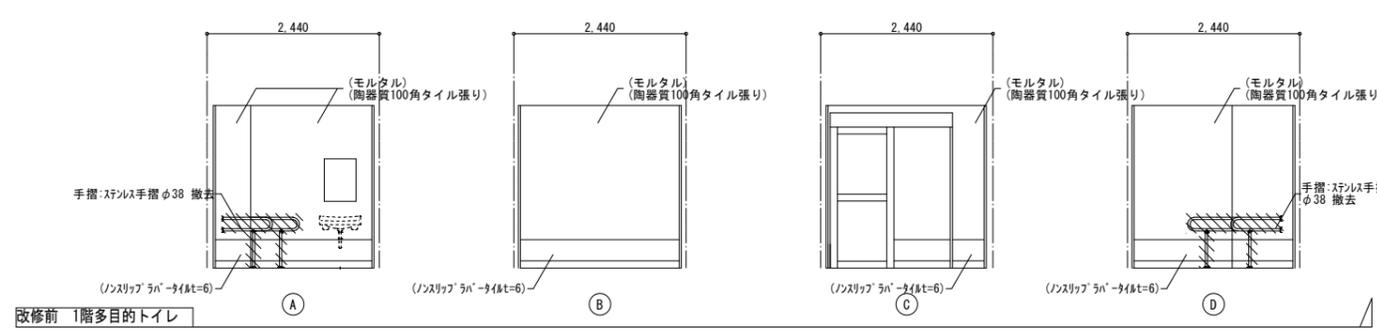
図面No.
A-023



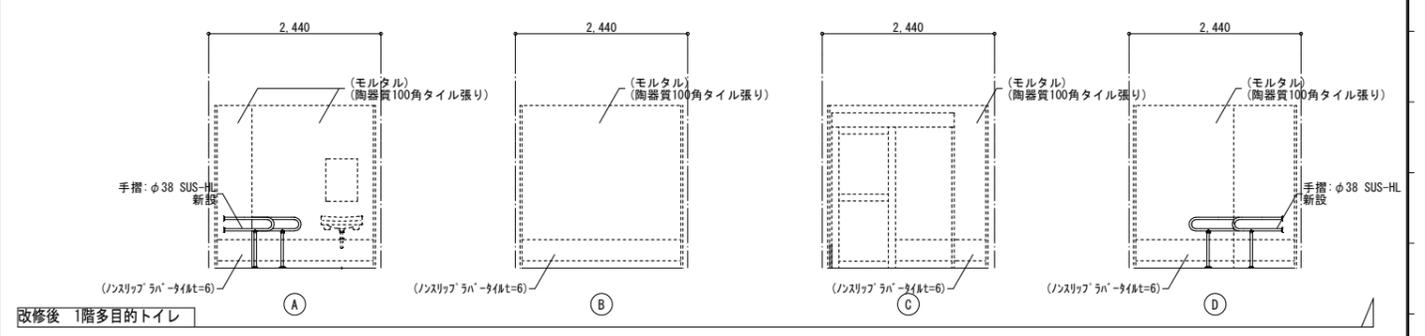
スポーツ部門
改修前 1階 男子・女子便所 平面詳細図 1/50



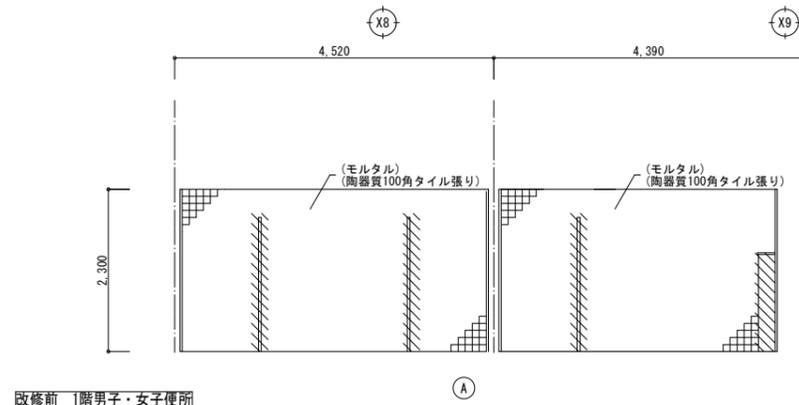
スポーツ部門
改修後 1階 男子・女子便所 平面詳細図 1/50



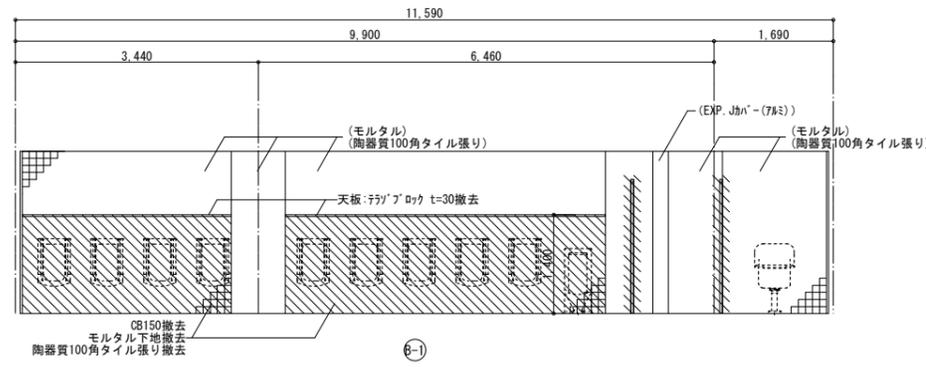
改修前 1階多目的トイレ



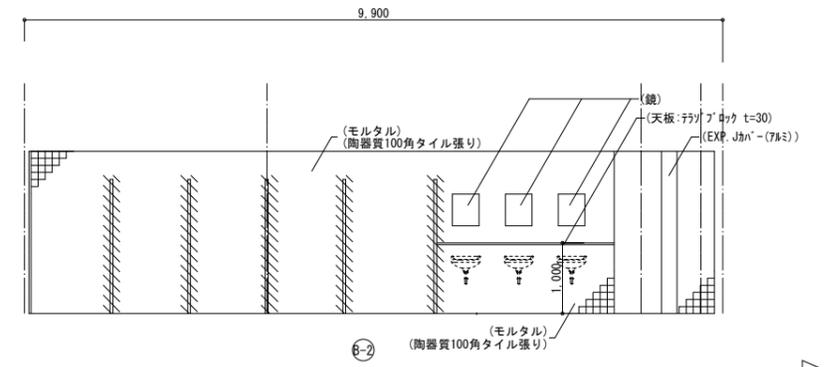
改修後 1階多目的トイレ



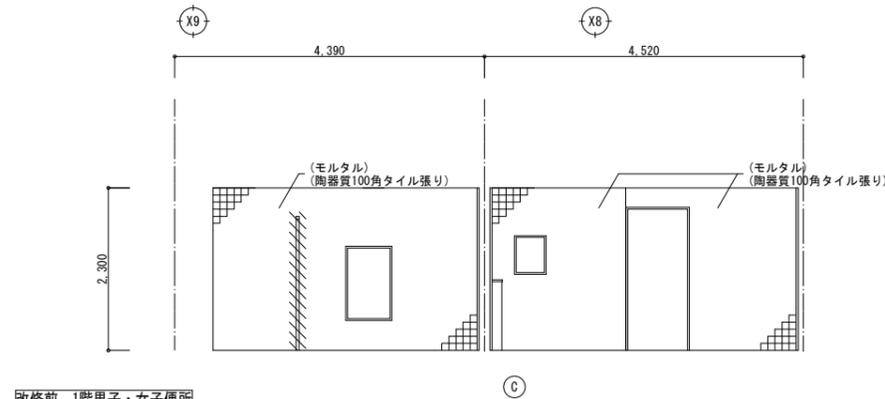
改修前 1階男子・女子便所



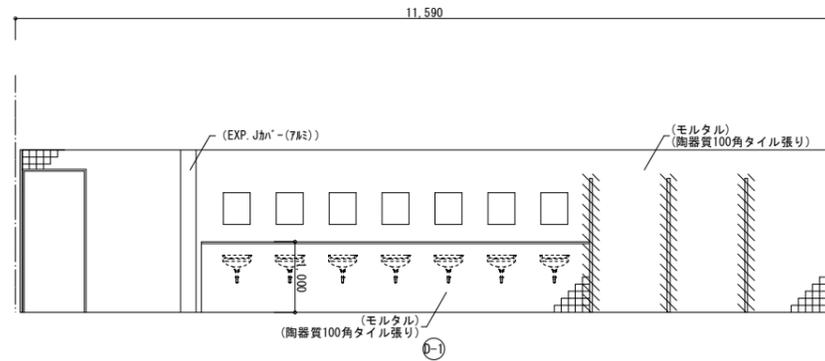
B-1



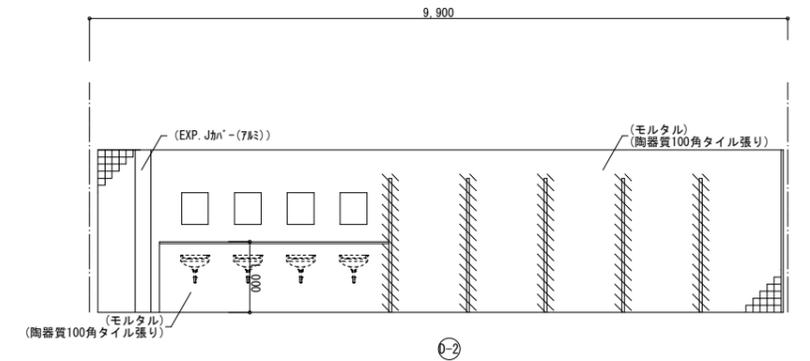
B-2



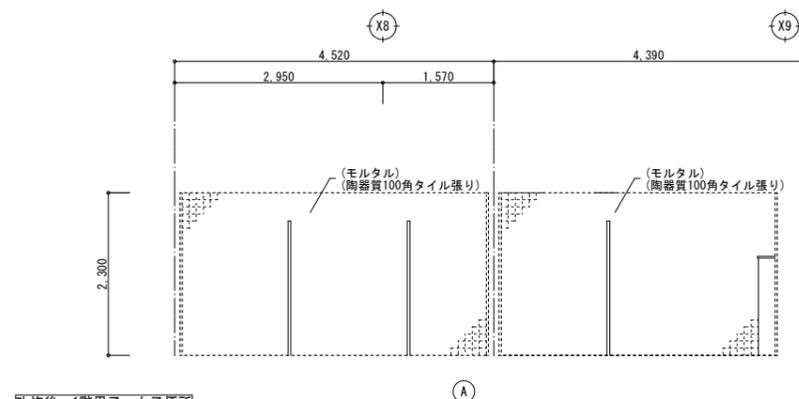
改修前 1階男子・女子便所



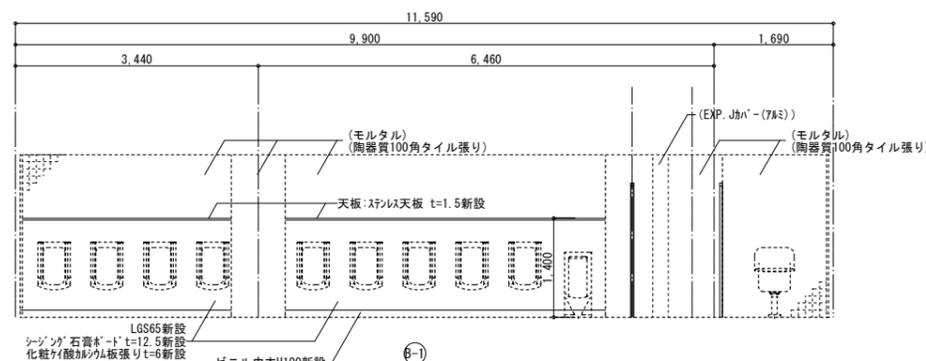
D-1



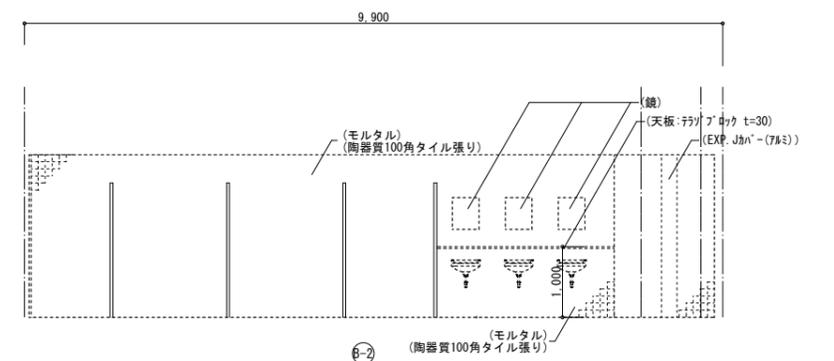
D-2



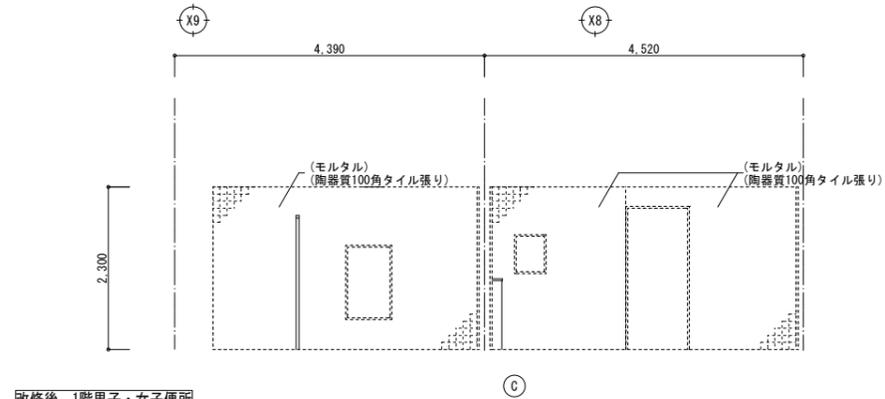
改修後 1階男子・女子便所



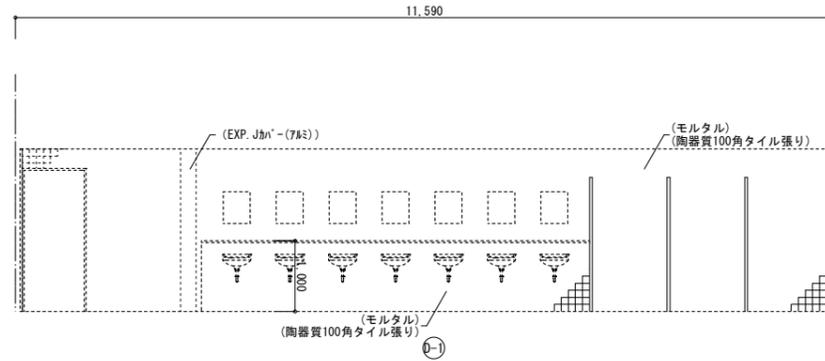
B-1



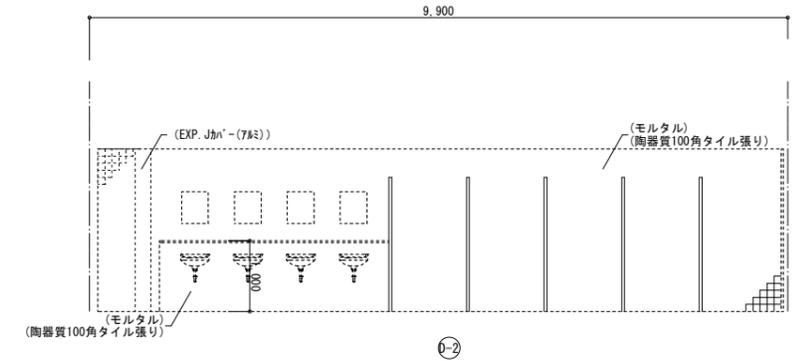
B-2



改修後 1階男子・女子便所



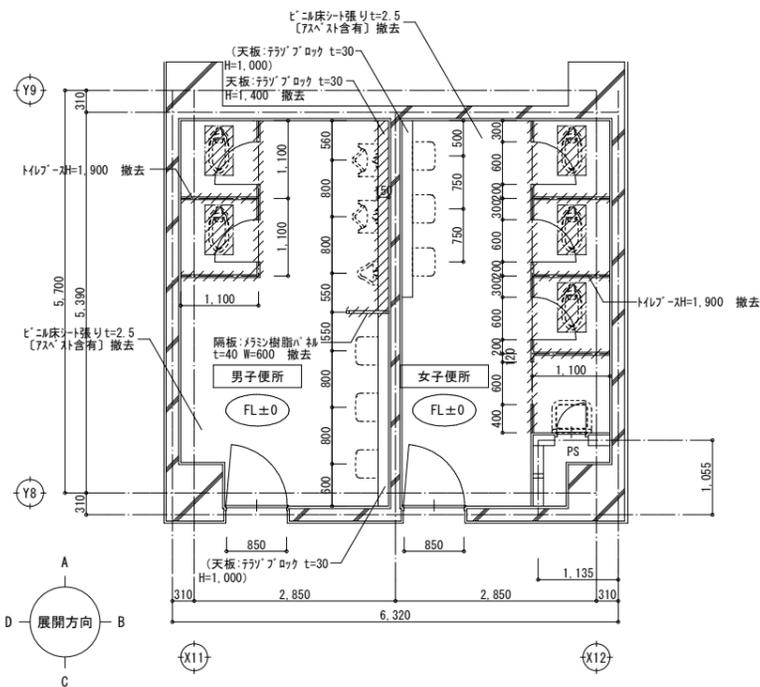
D-1



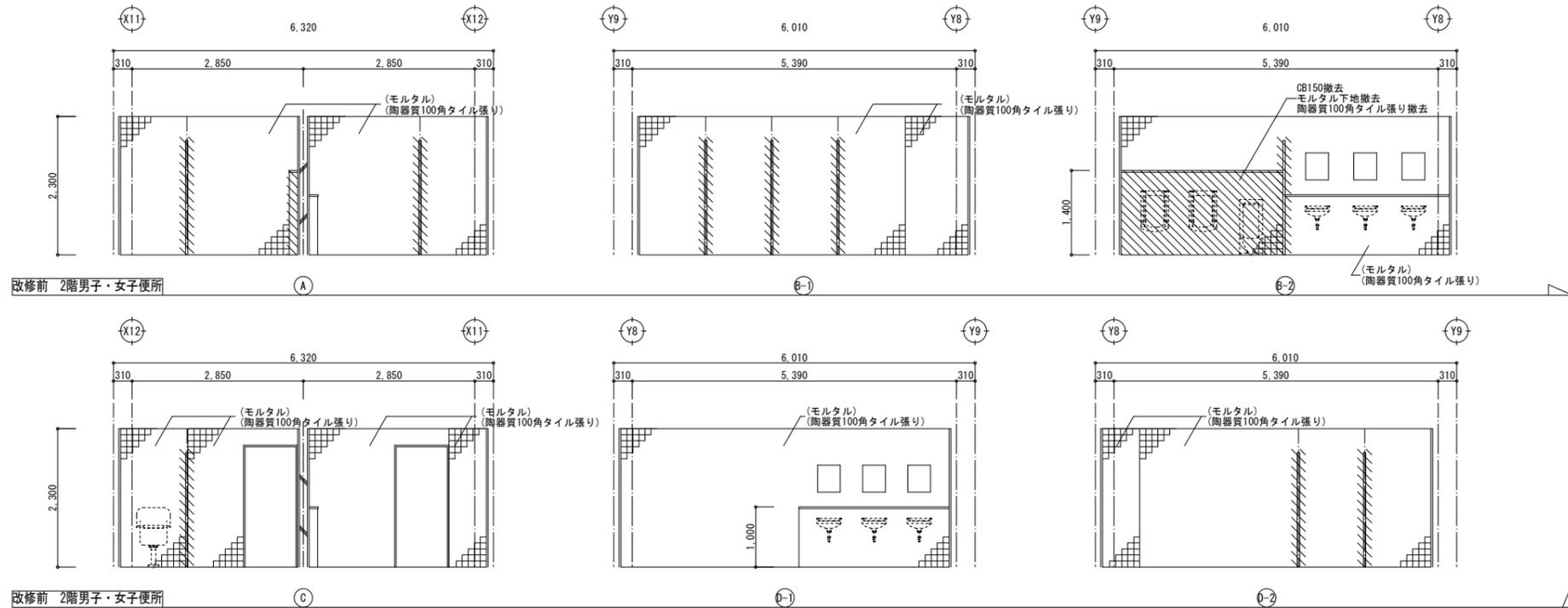
D-2

設計に緑を

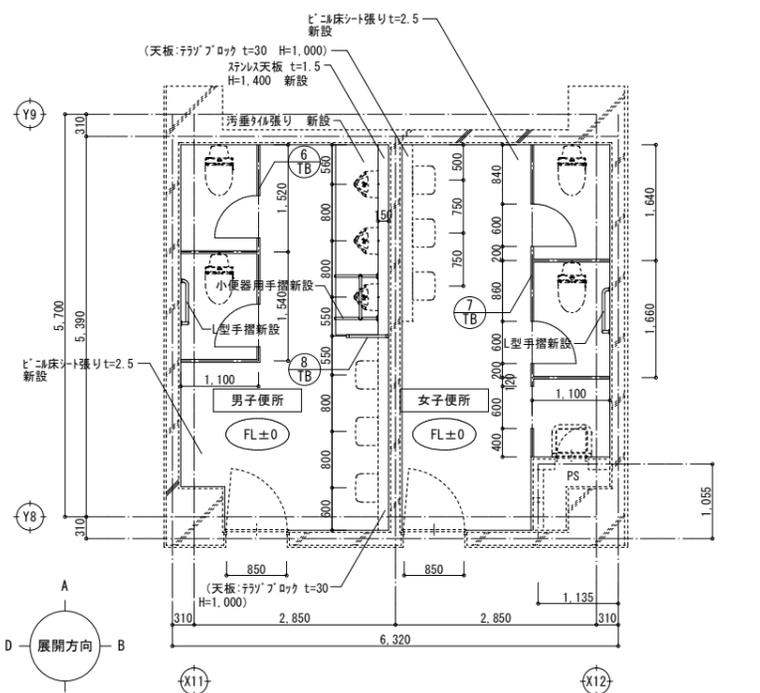
記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	意匠設計者 1級建築士 登録 第305905号 高塚 真仁	設計年月日 2025. 3.	工事名 三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(2期工事)(建築主体工事)	A1版 100% A3版 50%	図面No. A-025
				図面名 1階便所廻り展開図	縮尺 1/50		



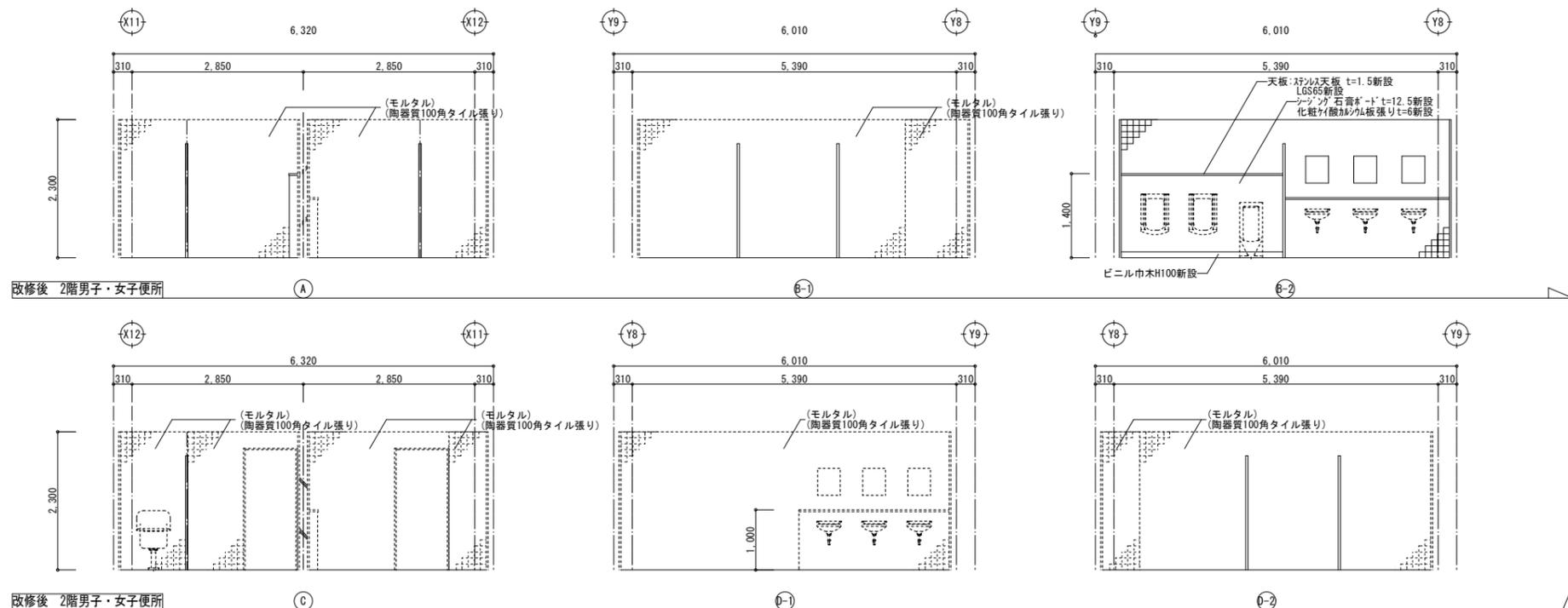
スポーツ部門
改修前 2階 男子・女子便所 平面詳細図 1/50



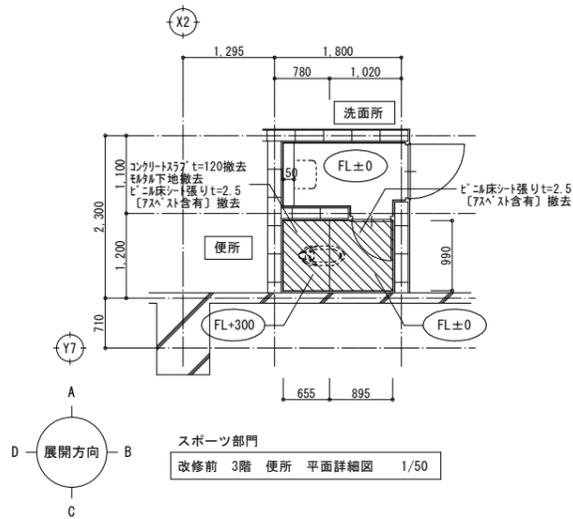
改修前 2階男子・女子便所



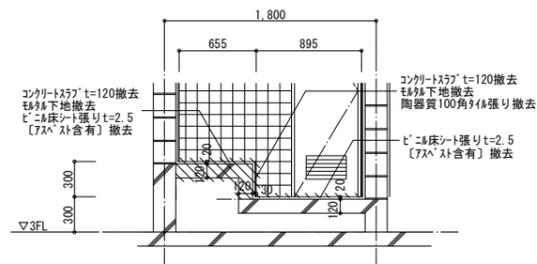
スポーツ部門
改修後 2階 男子・女子便所 平面詳細図 1/50



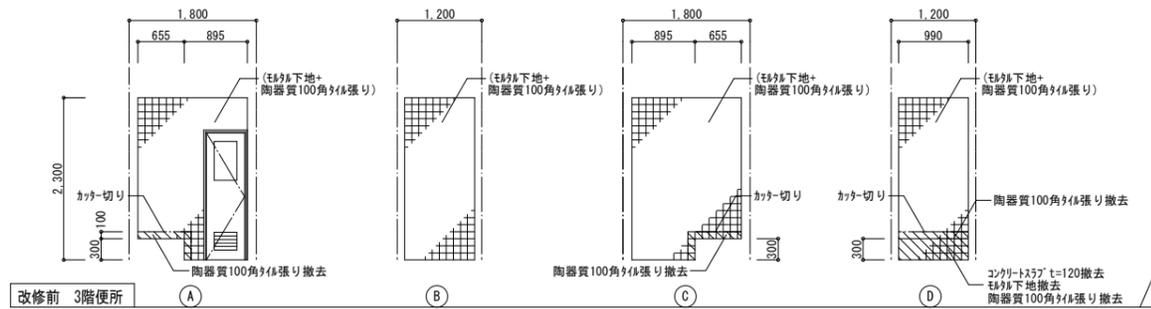
改修後 2階男子・女子便所



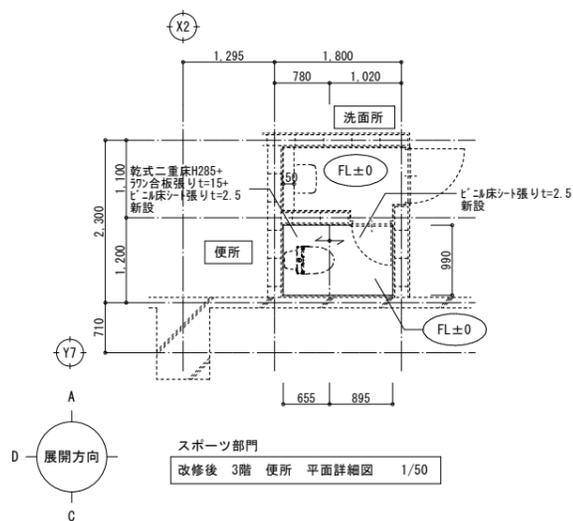
スポーツ部門
改修前 3階 便所 平面詳細図 1/50



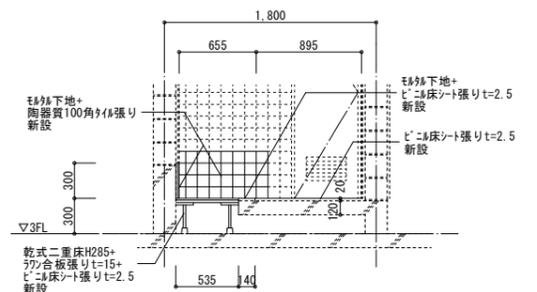
スポーツ部門
改修前 3階 便所 断面詳細図 1/30



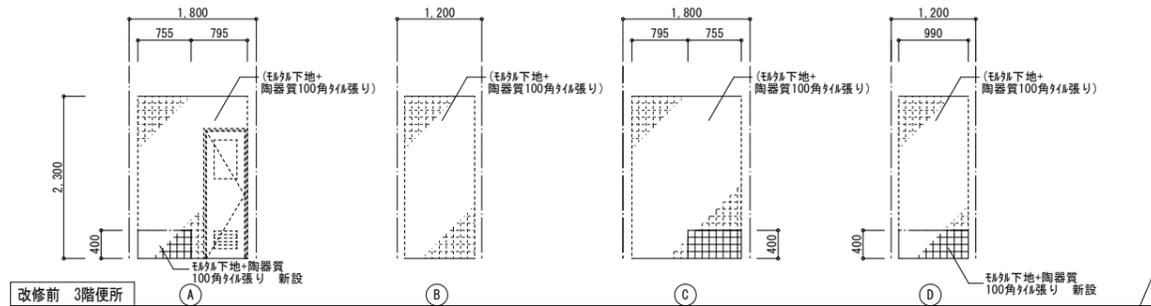
改修前 3階便所 (A) (B) (C) (D)



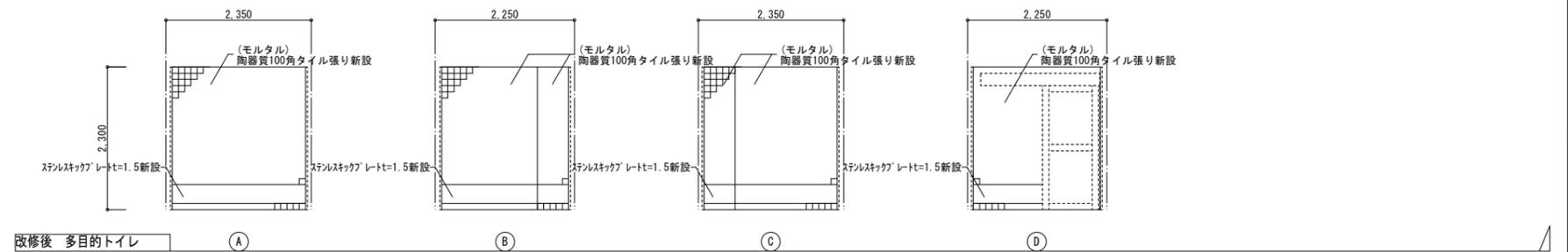
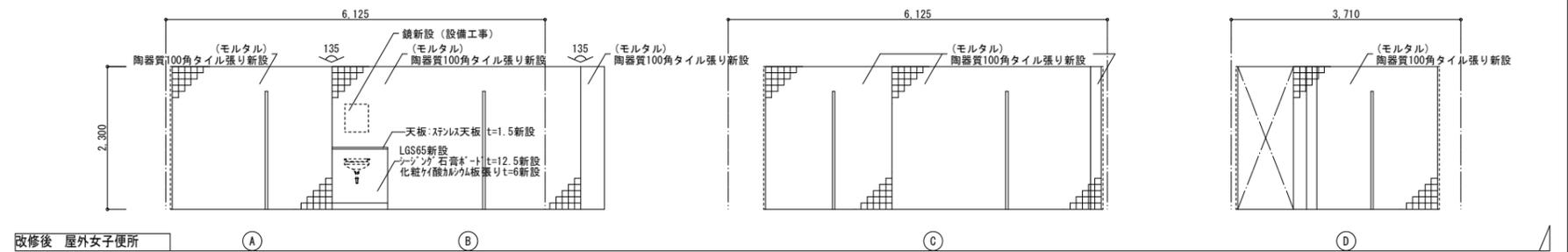
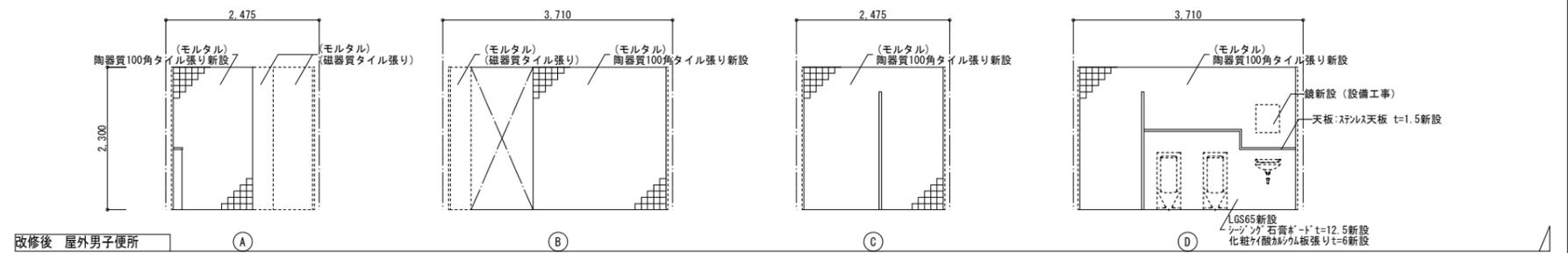
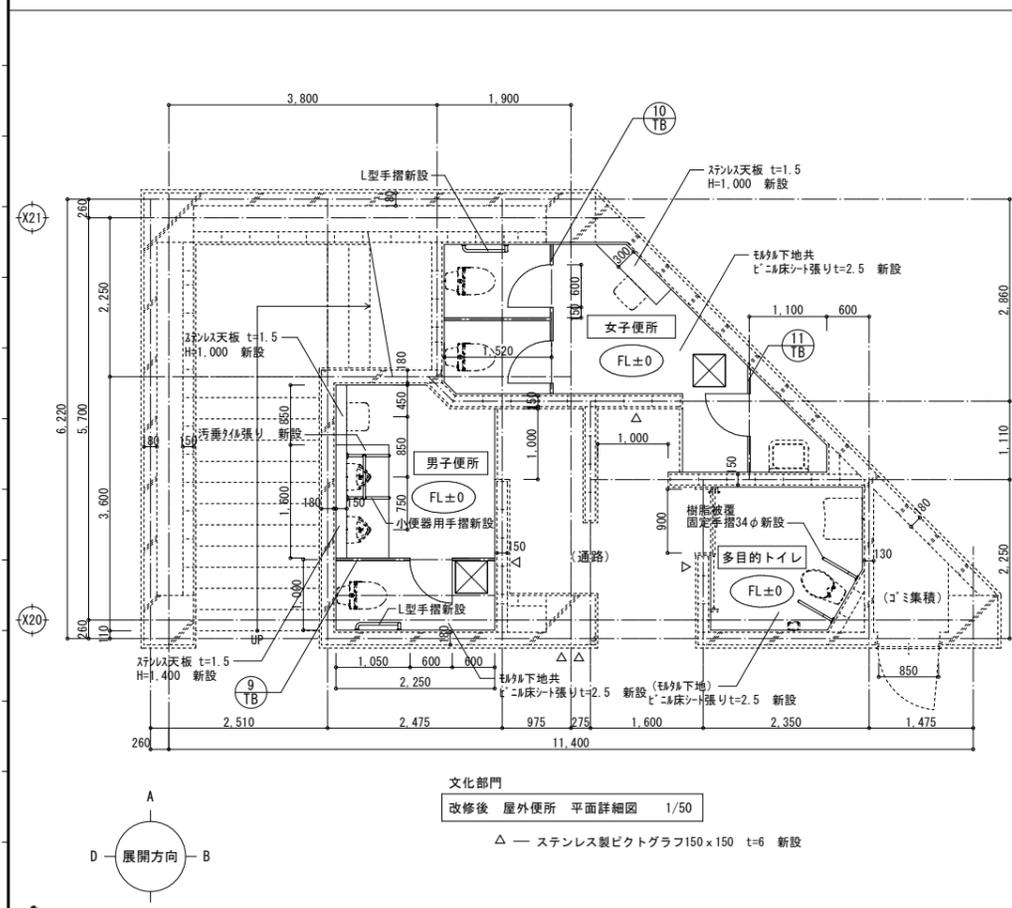
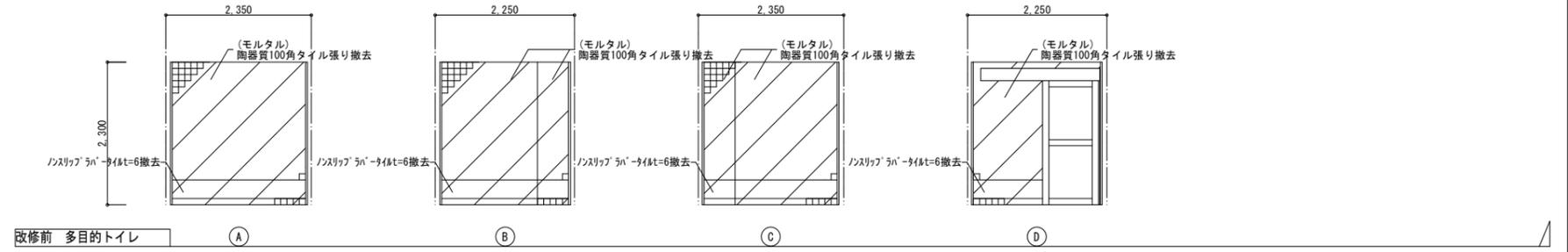
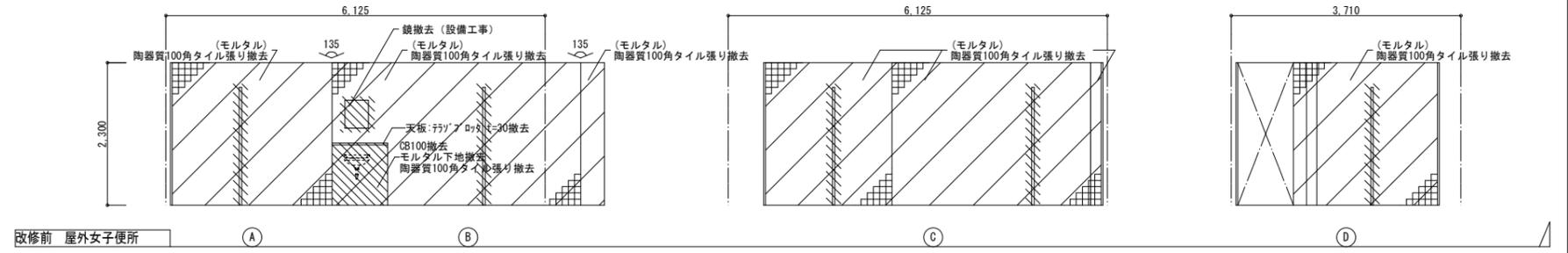
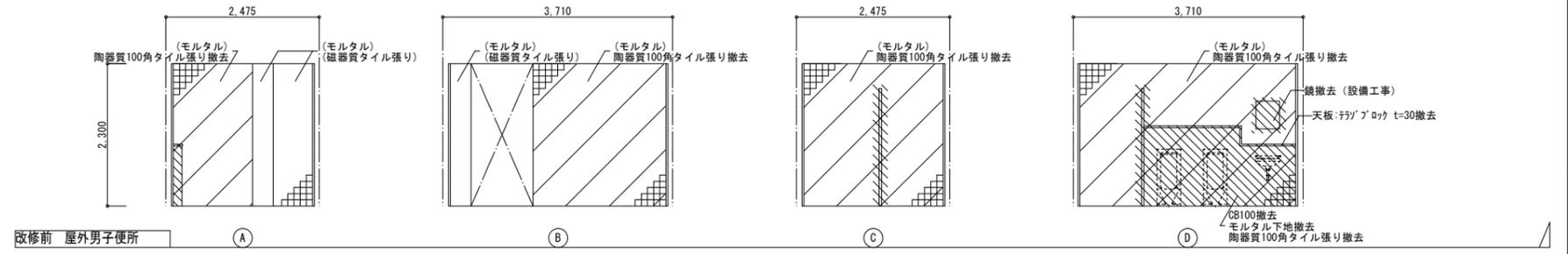
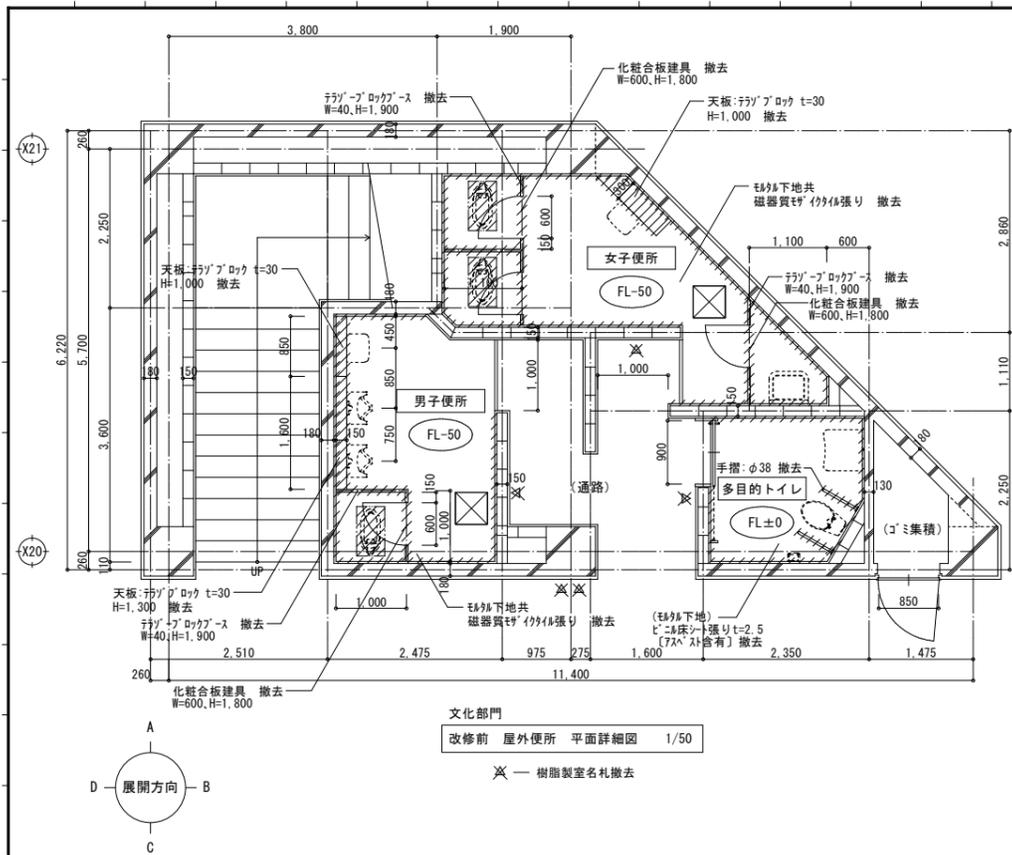
スポーツ部門
改修後 3階 便所 平面詳細図 1/50

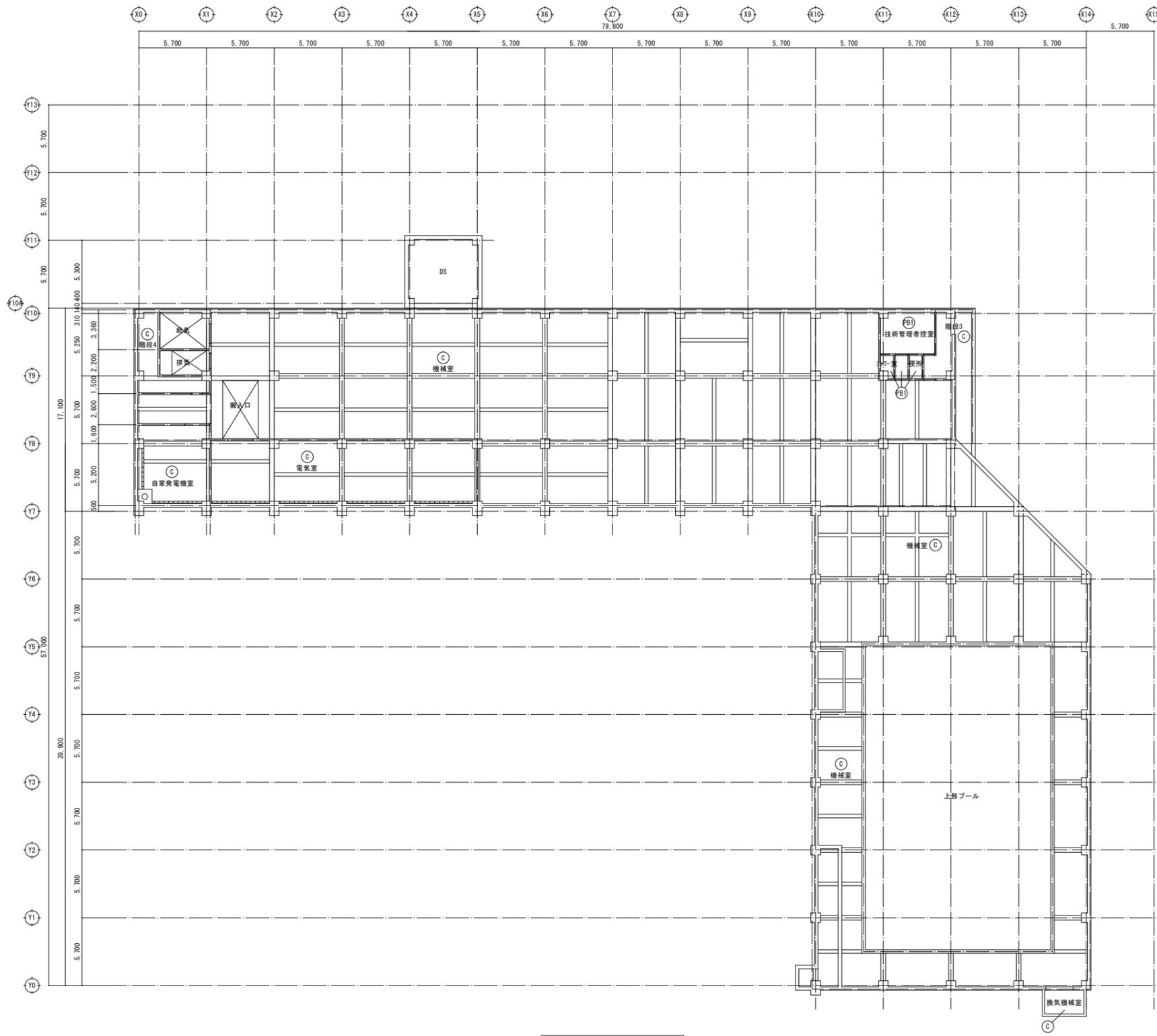


スポーツ部門
改修後 3階 便所 断面詳細図 1/30



改修後 3階便所 (A) (B) (C) (D)

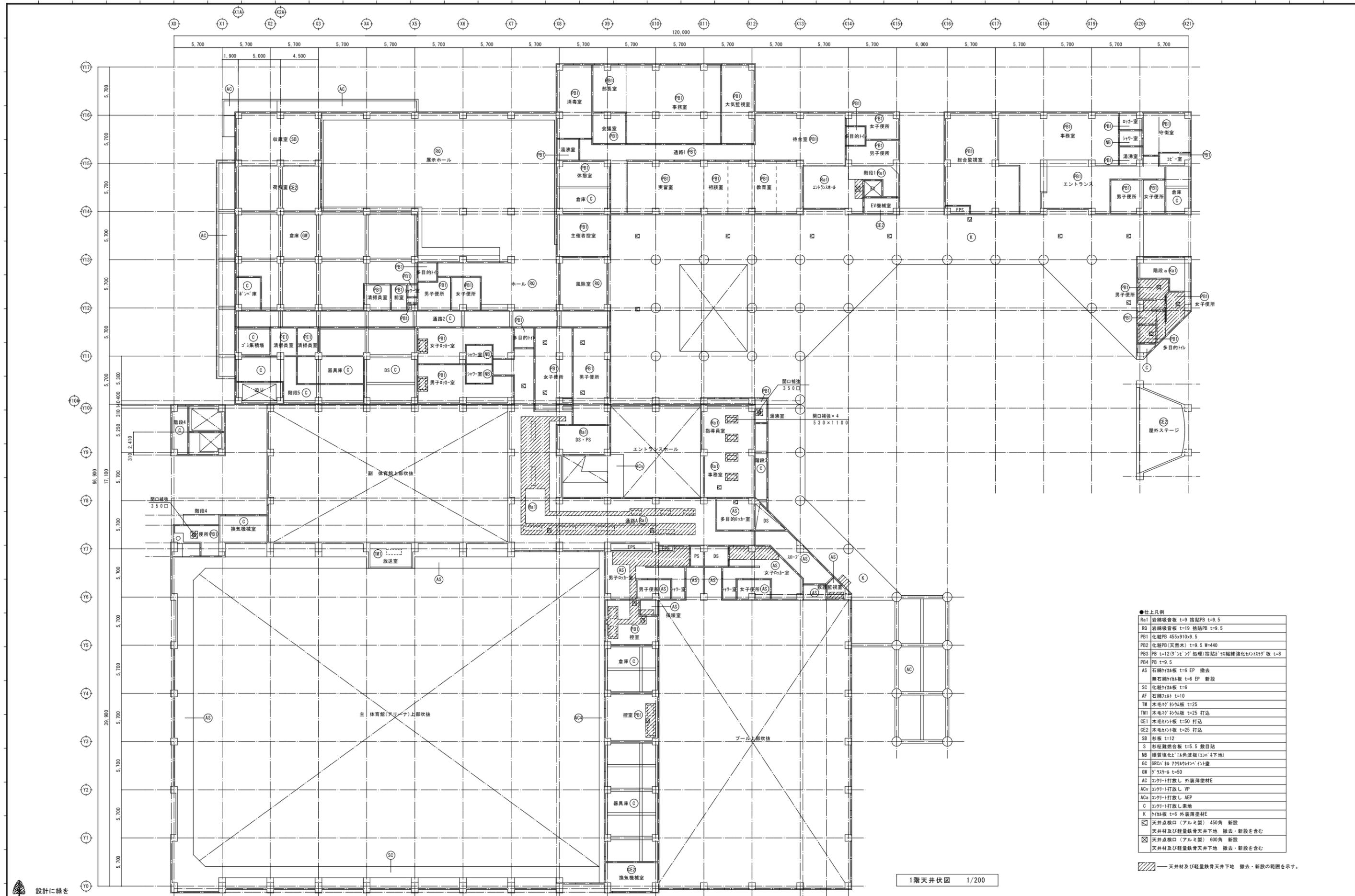




地下1階天井伏図 1/200

●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板 t=9 指貼PB t=9
R0	岩綿吸音板 t=19 指貼PB t=9
PB1	化粧PB 455x910x9
PB2	化粧PB (天然木) t=9 W=440
PB3	PB t=12 (9"×12") 処理指貼強化繊維強化ポリスチレン板 t=8
PB4	PB t=9
AS	石綿付珪藻土 t=6 AEP
SC	化粧珪藻土 t=6
AF	石綿付珪藻土 t=10
TM	木毛珪藻土板 t=25
TW1	木毛珪藻土板 t=25 打込
CE1	木毛珪藻土板 t=50 打込
CE2	木毛珪藻土板 t=25 打込
SB	杉板 t=12
S	杉板難燃合板 t=5.5 敷目貼
NB	緑質塩化ビニル角波板 (20mm 下地)
GC	GRC 珪藻土繊維強化ポリスチレン板
GW	石膏ボード t=50
AC	石膏ボード打放し 外装薄塗材E
ACV	石膏ボード打放し VP
ACa	石膏ボード打放し AEP
C	石膏ボード打放し素地
K	珪藻土板 t=6 外装薄塗材E
□	天井点検口 450角
□	天井点検口 600角

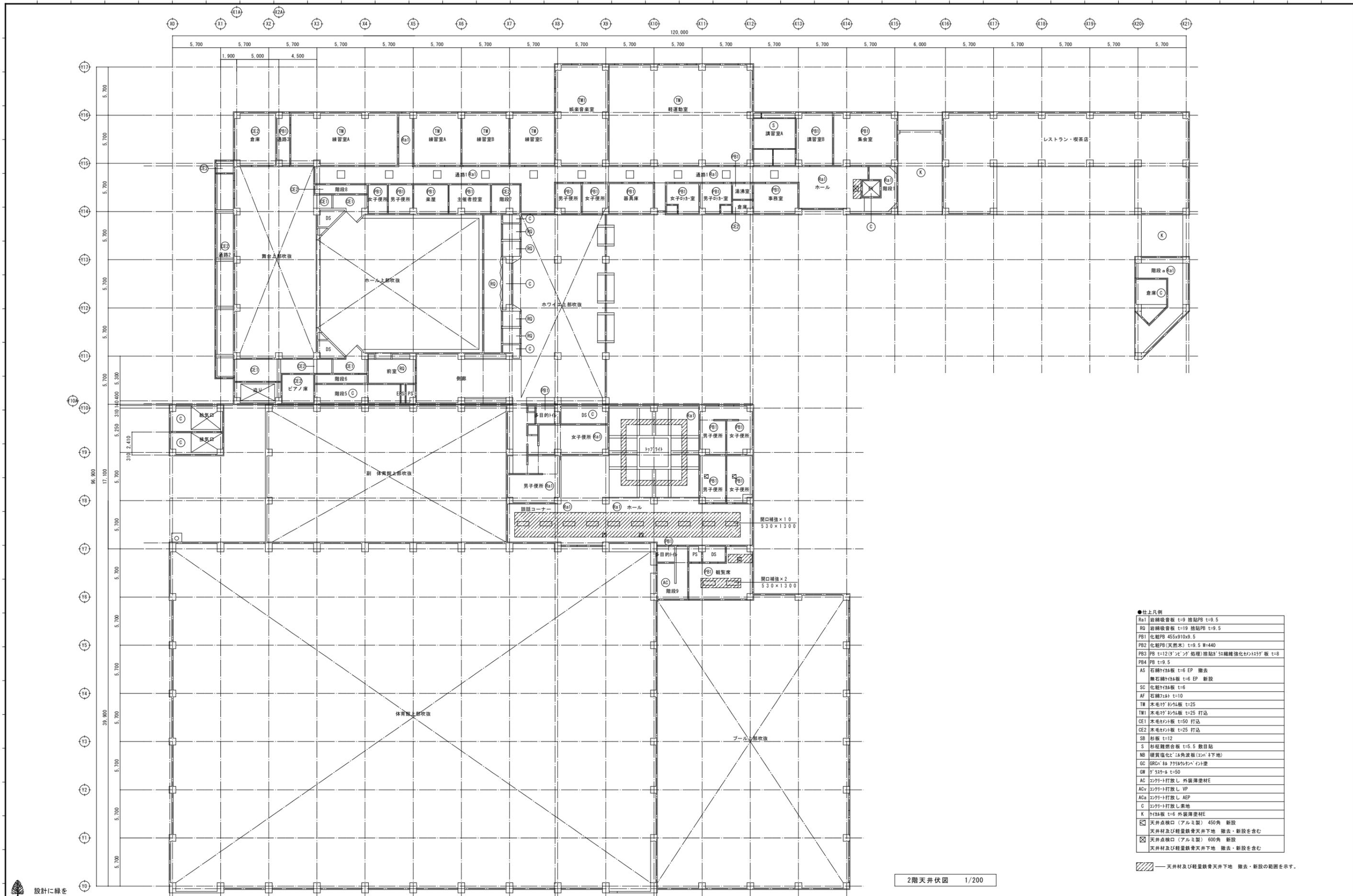


●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板 t=9 拵貼PB t=9.5
R0	岩綿吸音板 t=19 拵貼PB t=9.5
P01	化粧PB 455x910x9.5
P02	化粧PB(天然木) t=9.5 W=440
P03	PB t=12(ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾌﾟﾗｽﾄ)拵貼ﾌﾞﾗｯｸ繊維強化ﾍﾟｯﾄﾞｽﾄﾗｸﾞ板 t=8
P04	PB t=9.5
AS	石綿ﾌﾞﾗｯｸ t=6 EP 撤去
	無石棉ﾌﾞﾗｯｸ t=6 EP 新設
SC	化粧ﾌﾞﾗｯｸ t=6
AF	石綿ﾌﾞﾗｯｸ t=10
TM1	木毛ﾌﾞﾗｯｸ t=25
TM2	木毛ﾌﾞﾗｯｸ t=25 打込
CE1	木毛ﾌﾞﾗｯｸ t=50 打込
CE2	木毛ﾌﾞﾗｯｸ t=25 打込
SB	杉板 t=12
S	杉繊維強化板 t=5.5 敷目貼
NB	硬質塩化ビニル波板(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地)
GC	GRON 44ﾌﾞﾗｯｸｲﾝﾄﾞｰ
GW	ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾌﾟﾗｽﾄ t=50
AC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 外装薄塗材E
ACv	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し VP
ACa	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し AEP
C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し素地
K	ﾌﾞﾗｯｸ t=6 外装薄塗材E
☒	天井点検口(アルミ製) 450角 新設
☒	天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設を含む
☒	天井点検口(アルミ製) 600角 新設
☒	天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設を含む

☒ — 天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設の範囲を示す。

1階天井伏図 1/200



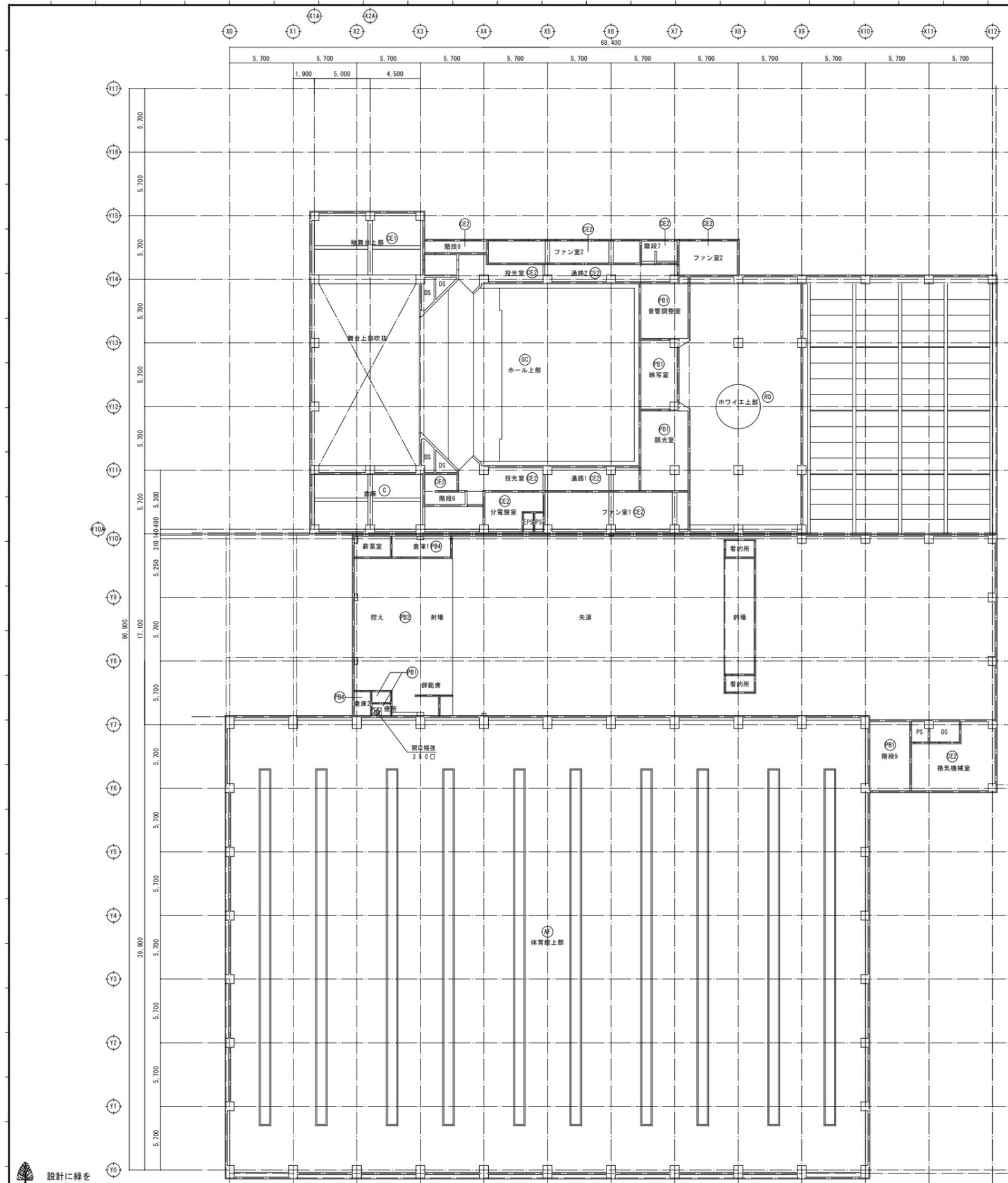
●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板 t=9 捨貼PB t=9.5
RO	岩綿吸音板 t=19 捨貼PB t=9.5
PB1	化粧PB 455x910x9.5
PB2	化粧PB (天然木) t=9.5 W=440
PB3	PB t=12 (グランド) 処理) 捨貼"5x繊維強化セメント3x" 板 t=8
PB4	PB t=9.5
AS	石縞化粧板 t=6 EP 撤去
AS	無石縞化粧板 t=6 EP 新設
SC	化粧化粧板 t=6
AF	石縞化粧板 t=10
TM	木毛化粧板 t=25
TM1	木毛化粧板 t=25 打込
CE1	木毛化粧板 t=50 打込
CE2	木毛化粧板 t=25 打込
SB	杉板 t=12
S	杉板複合板 t=5.5 敷目貼
NB	硬質塩化ビニル角波板 (2mm 下地)
GC	GRON 4x 7x化粧板 (イン) 漆
GW	グランド t=50
AC	コケシ打放し 外装薄塗材E
ACv	コケシ打放し VP
ACa	コケシ打放し AEP
C	コケシ打放し素地
K	化粧板 t=6 外装薄塗材E

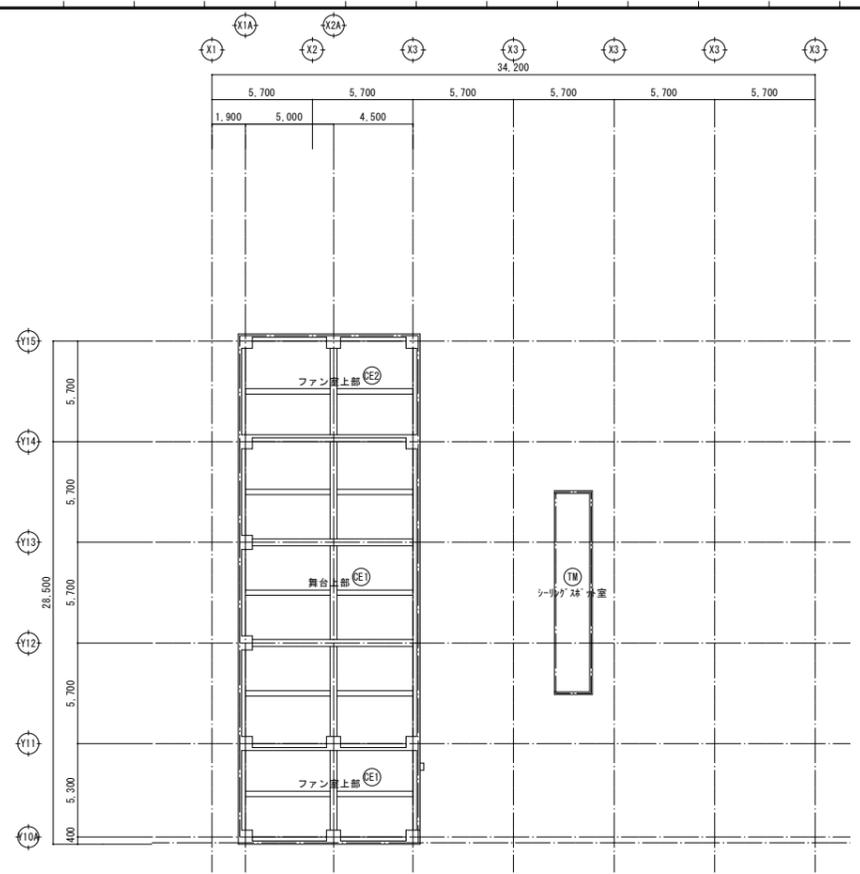
☑ 天井点検口 (アルミ製) 450角 新設
 ☑ 天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設を含む
 ☒ 天井点検口 (アルミ製) 600角 新設
 ☒ 天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設を含む

▨ — 天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設の範囲を示す。

2階天井伏図 1/200



3階天井伏図 1/200



R階天井伏図 1/200

●仕上凡例

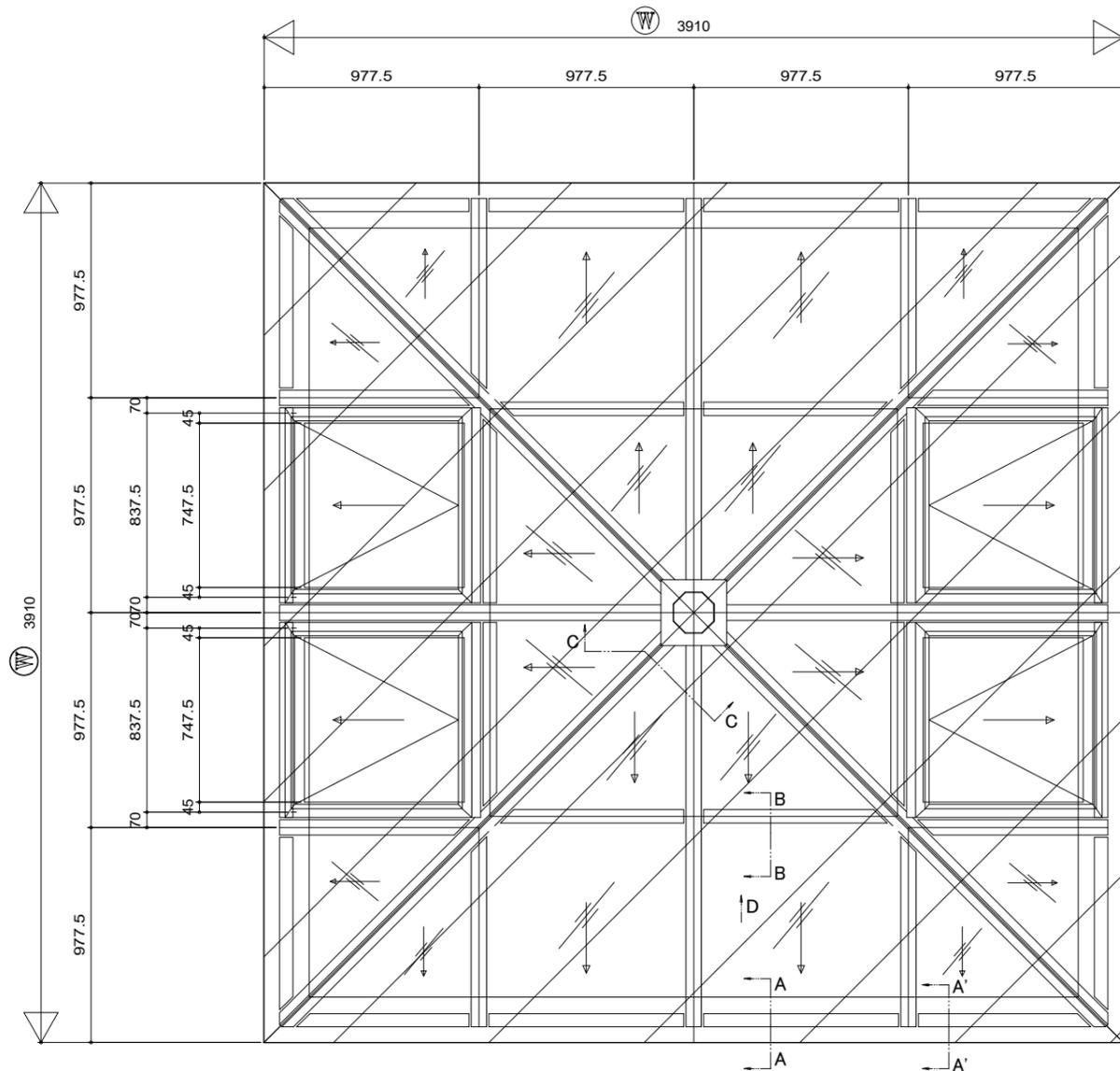
Ra1	岩綿吸音板 t=9 捨貼PB t=9.5
R0	岩綿吸音板 t=19 捨貼PB t=9.5
PB1	化粧PB 455x910x9.5
PB2	化粧PB (天然木) t=9.5 W=440
PB3	PB t=12 (クマシラ処理) 捨貼PB 5x繊維強化セメント3x9' 板 t=8
PB4	PB t=9.5
AS	石綿付化粧板 t=6 EP 撤去
AF	無石綿付化粧板 t=6 EP 新設
SC	化粧PB板 t=6
AF	石綿付化粧板 t=10
TM	木毛付化粧板 t=25 打込
CE1	木毛セメント板 t=50 打込
CE2	木毛セメント板 t=25 打込
SB	杉板 t=12
S	杉板複合板 t=5.5 敷目貼
NB	硬質塩化ビニル角波板 (20mm 下地)
GC	GRON 4x 7x910x9.5 (下地)
GW	石膏ボード t=50
AC	コウチン打放し 外装薄塗材E
ACv	コウチン打放し VP
ACa	コウチン打放し AEP
C	コウチン打放し素地
K	化粧板 t=6 外装薄塗材E

☑ 天井点検口 (アルミ製) 450角 新設
☑ 天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設を含む
☒ 天井点検口 (アルミ製) 600角 新設
☑ 天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設を含む

▨ — 天井材及び軽量鉄骨天井下地 撤去・新設の範囲を示す。

記号	種別	① トイレブース	② トイレブース	③ トイレブース	④ トイレブース	⑤ トイレブース	⑥ トイレブース
		1階女子便所	1階女子便所	1階男子便所	1階男子便所	1階男子便所	2階男子便所
位置	箇所	1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
※図	※図						
塗装	枠巾	表面材・小口メラミン化粧板(木目)	表面材・小口メラミン化粧板(木目)	表面材・小口メラミン化粧板(木目)	表面材・小口メラミン化粧板(木目)	表面材・小口珪藻土化粧板(木目)	表面材・小口メラミン化粧板(木目)
金物		ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式
硝子							
備考		スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス巾木	スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス巾木	スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス巾木	スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス巾木	7&8窓木(ロ字形窓木)、スチルス巾木	スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス巾木
記号	種別	⑦ トイレブース	⑨ トイレブース	⑩ トイレブース	⑪ トイレブース	⑧ トイレブース	① AD
位置	箇所	2階女子便所	屋外男子便所	屋外女子便所	屋外女子便所	2階男子便所	1階採暖室
※図	※図						
塗装	枠巾	表面材・小口メラミン化粧板(木目)	高圧メラミン化粧板(木目)	高圧メラミン化粧板(木目)	高圧メラミン化粧板(木目)	表面材・小口珪藻土化粧板(木目)	BB-2種
金物		ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	丁番、ドアチェック その他標準金物一式
硝子							強化ガラスt=5.0
備考		スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス巾木	スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス支柱	スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス支柱	スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス支柱	7&8窓木(ロ字形窓木)、スチルス巾木	
記号	種別	⑫ トイレブース	⑬ トイレブース				
位置	箇所	1階男子便所(7-8階廊下)	1階女子便所(7-8階廊下)				
※図	※図						
塗装	枠巾	高圧メラミン化粧板(木目)	高圧メラミン化粧板(木目)				
金物		ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式	ダビレボルト、3541ダビ、帽子掛つかけ(内部)、表示錠(内部)、その他標準金物一式				
硝子							
備考		スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス支柱	スチルス窓木(ロ字形窓木)、スチルス支柱				

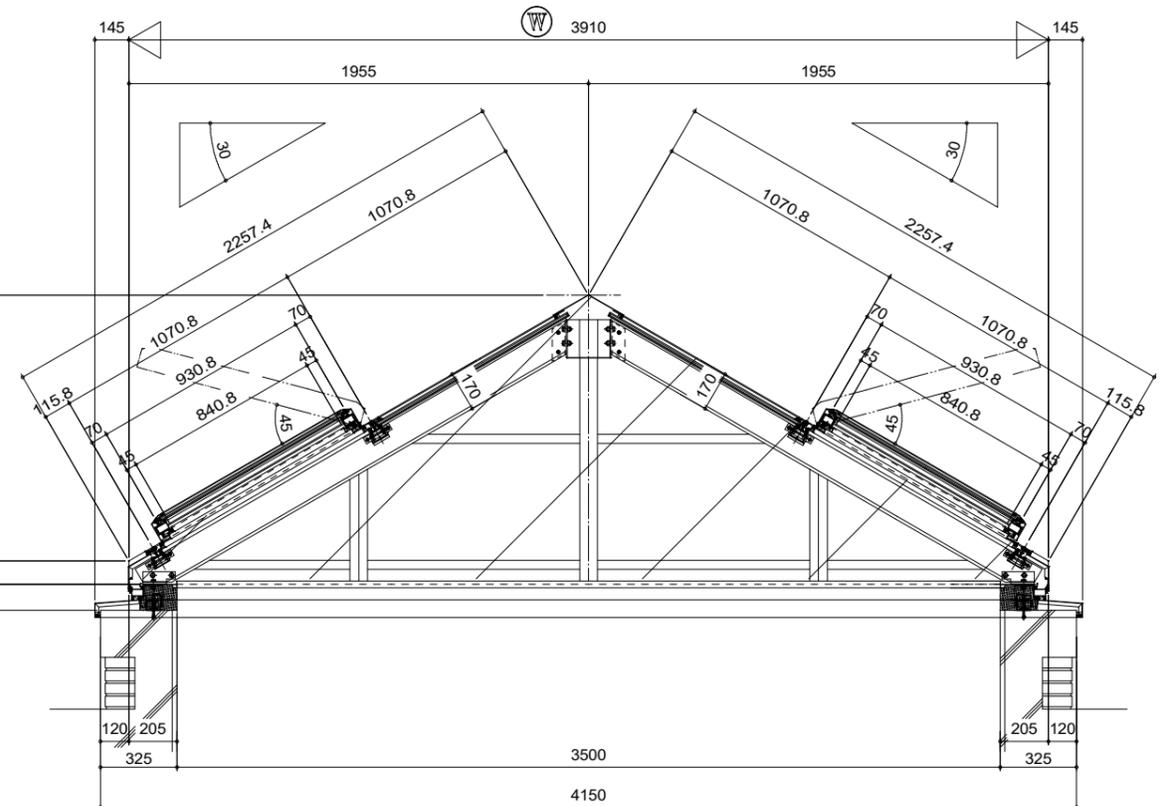
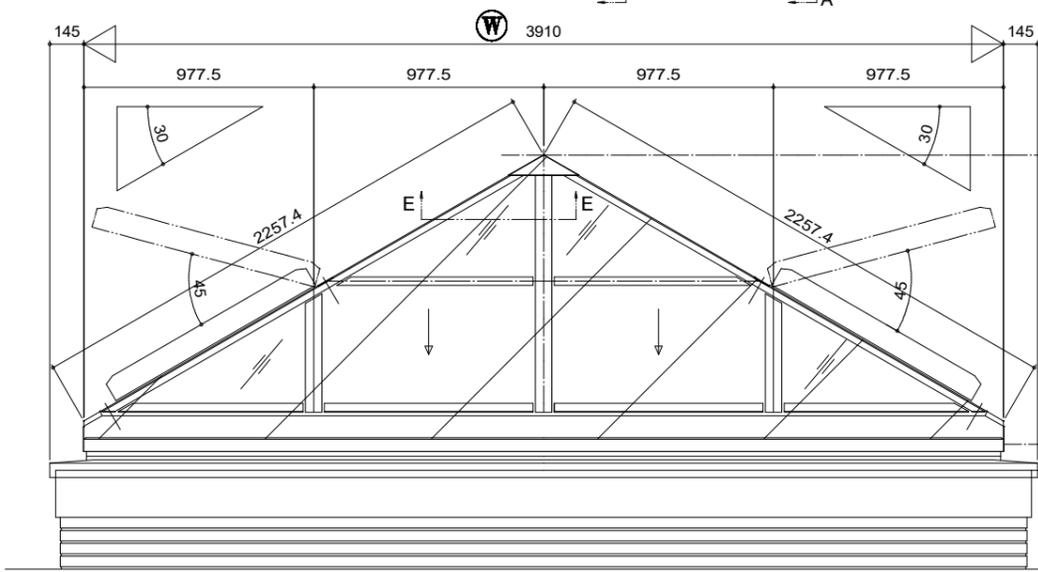
改修前トップライト撤去詳細図



凡例



—— トップライト及び納入磨きガラスt=6.8の撤去



設計に緑を

記事

株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号



管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

意匠設計者
1級建築士 登録 第305905号 高塚 真仁

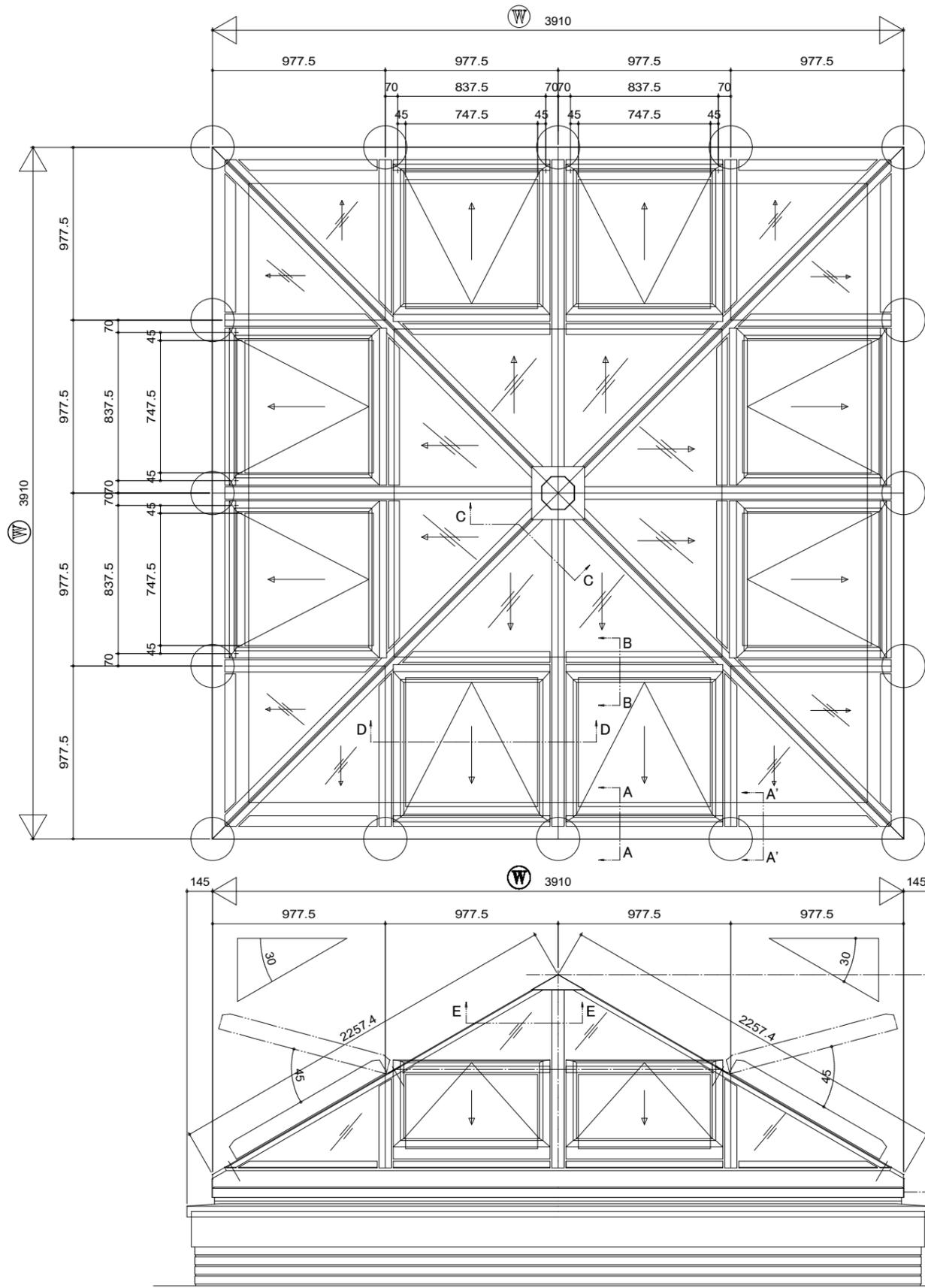
設計年月日
2025. 3.

工事名
三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(2期工事)(建築主体工事)

図面名
部分詳細図-1

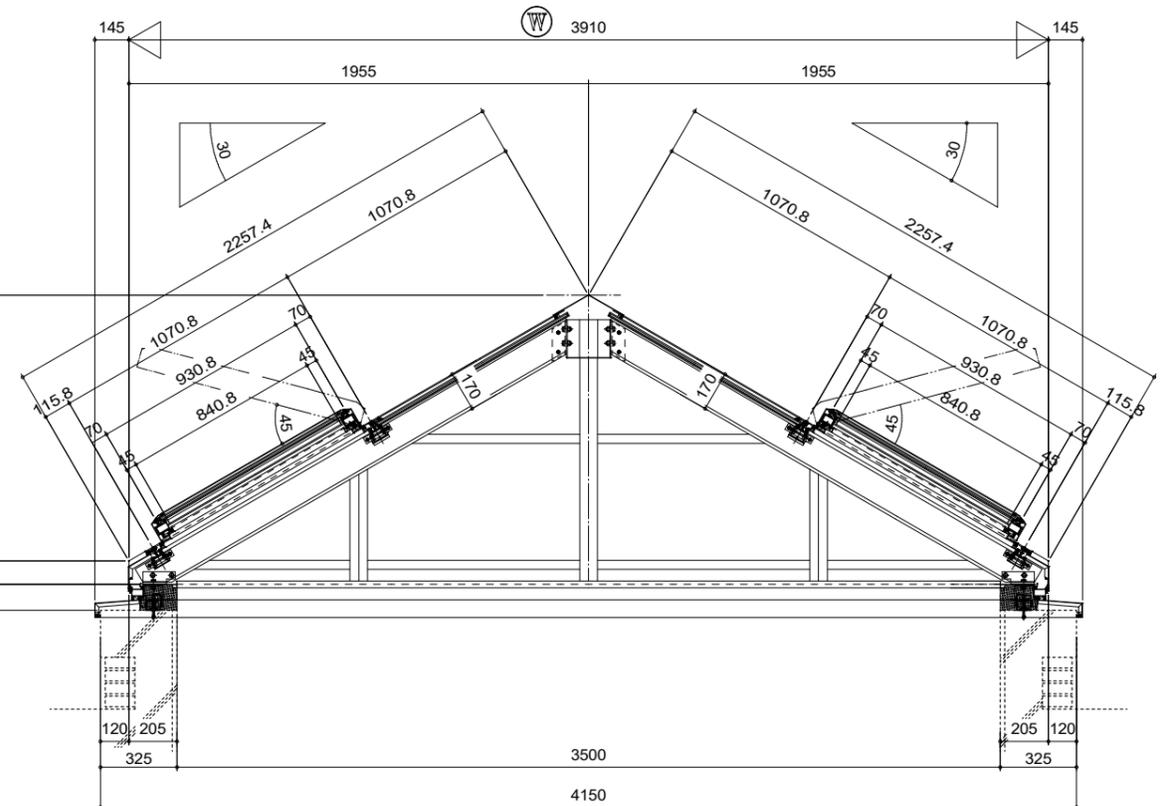
縮尺
1/15

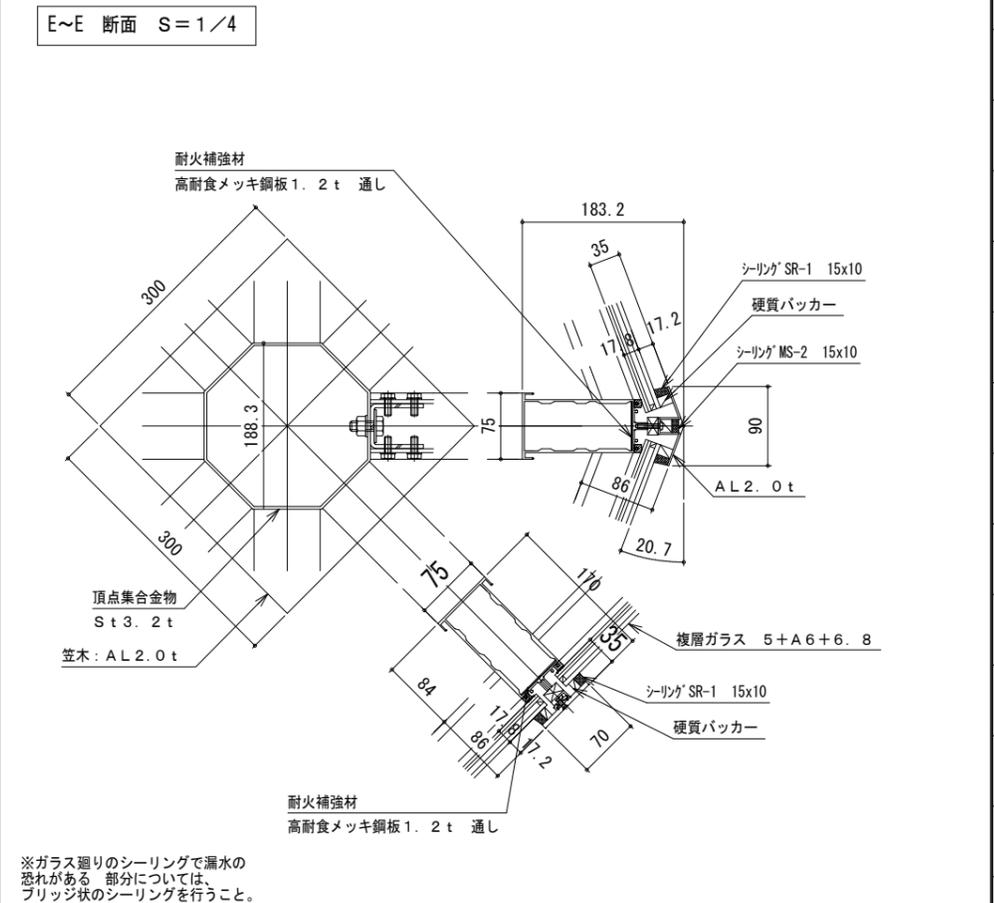
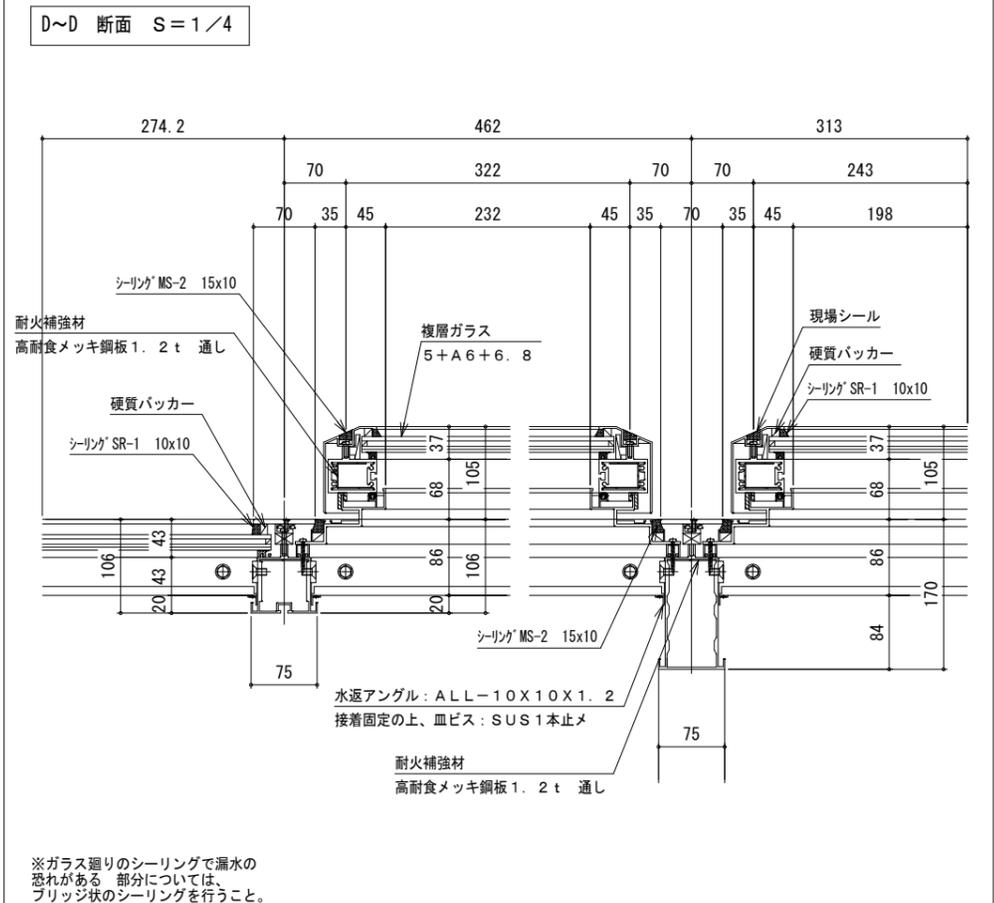
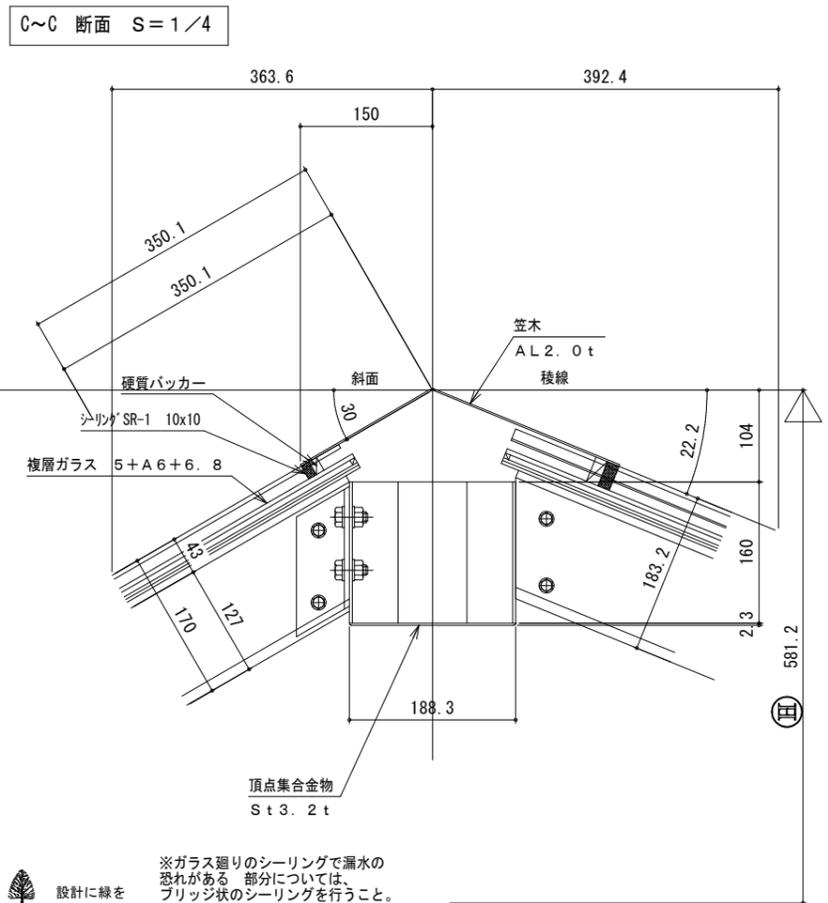
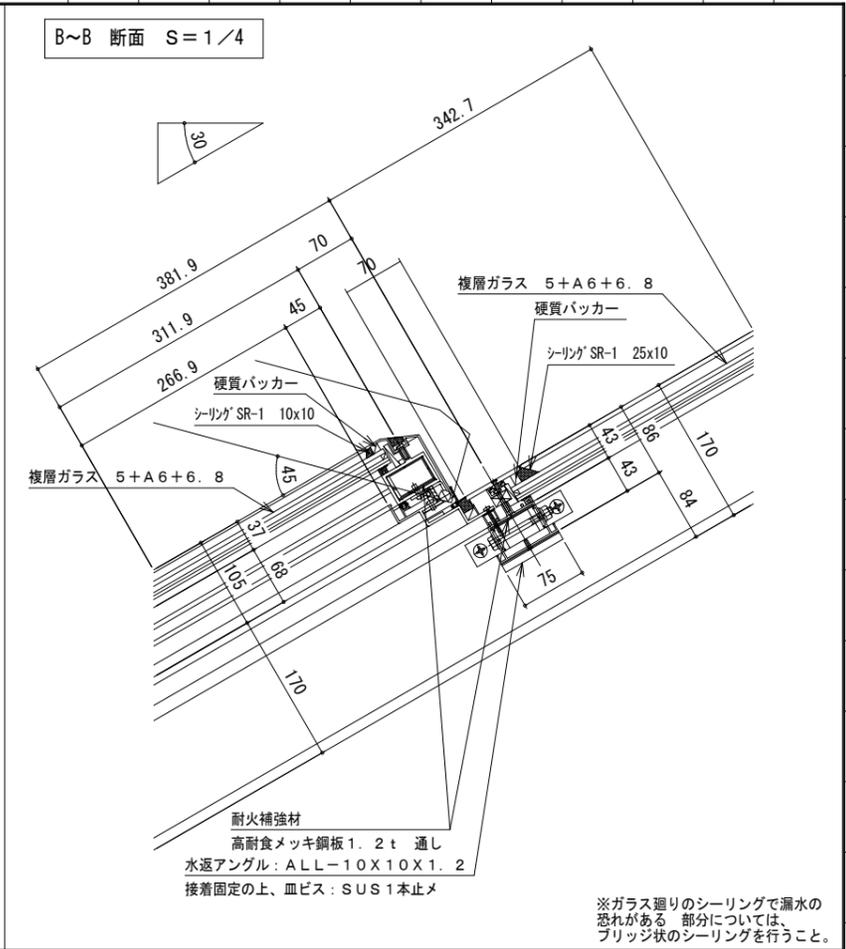
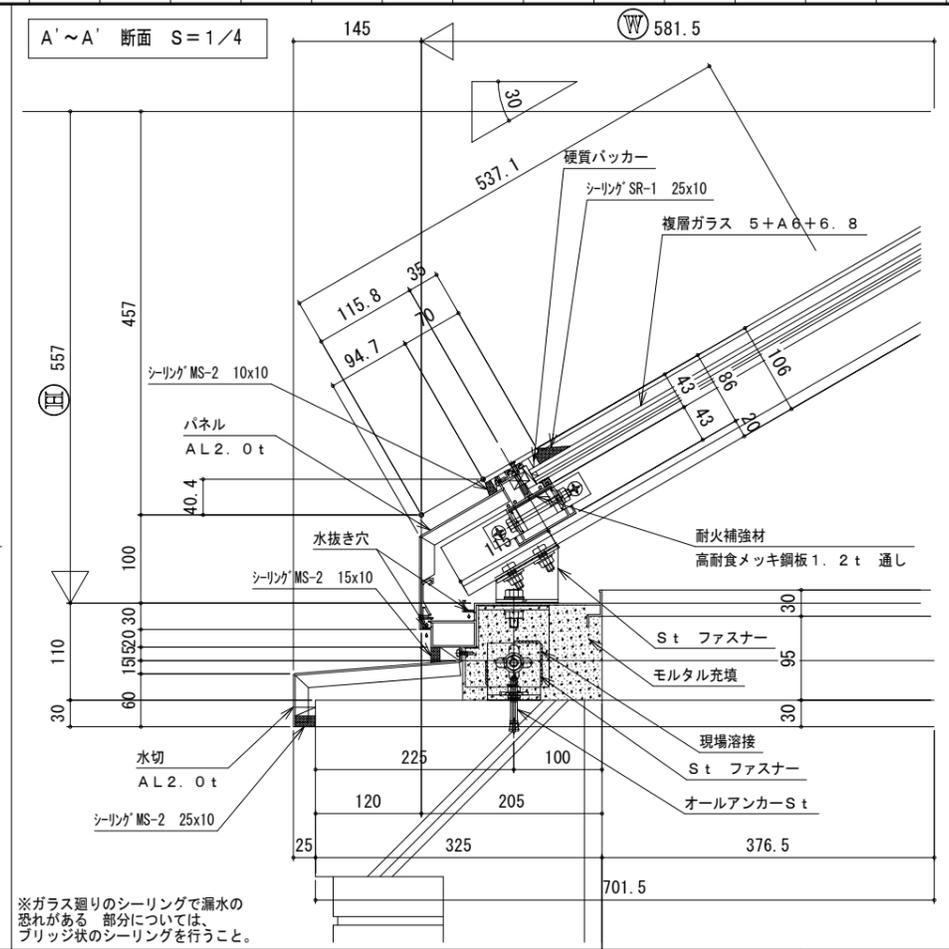
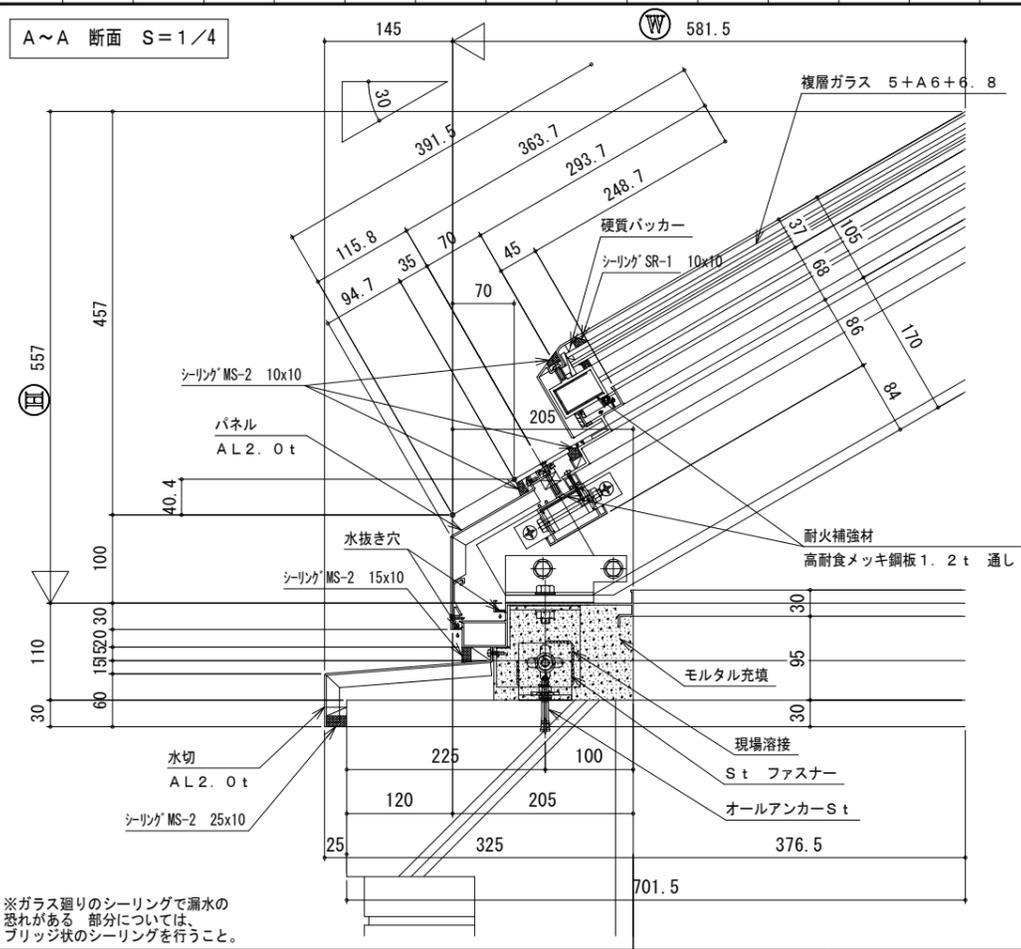
図面No.
A-034

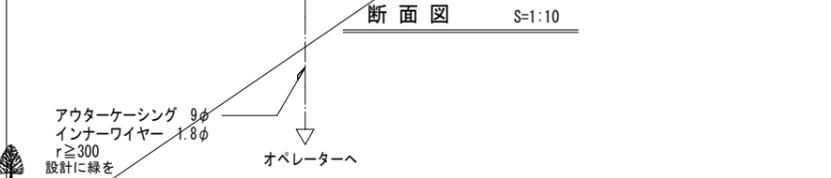
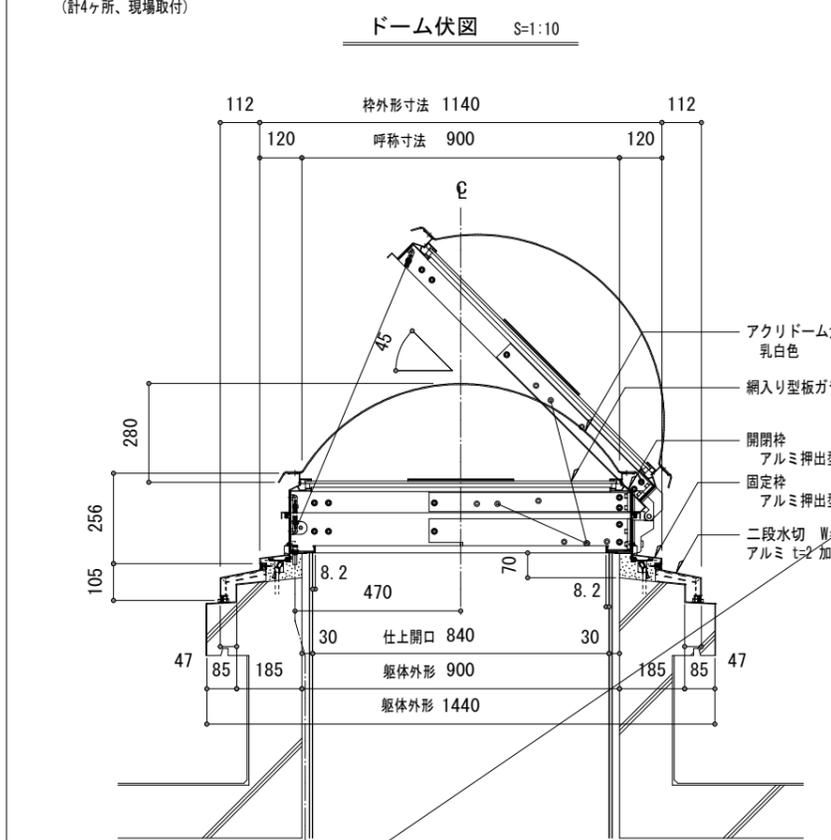
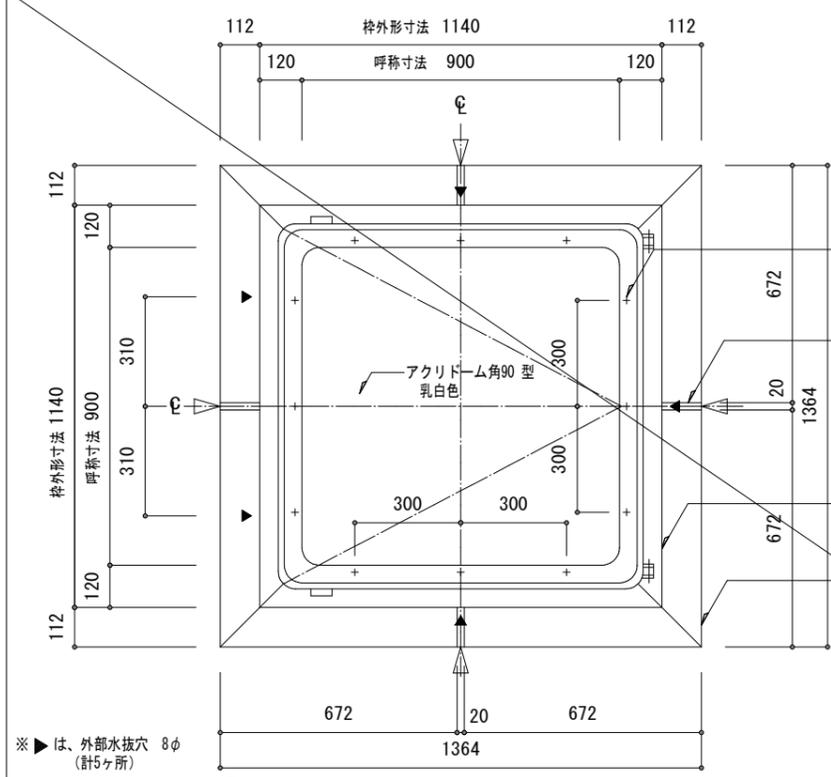


排煙面積: $0.84 \times 0.74 = 0.62\text{m}^2$ /窓
 $0.62 \times 8 \text{窓} = 4.96\text{m}^2 > 3.8\text{m}^2$ (排煙面積必要)

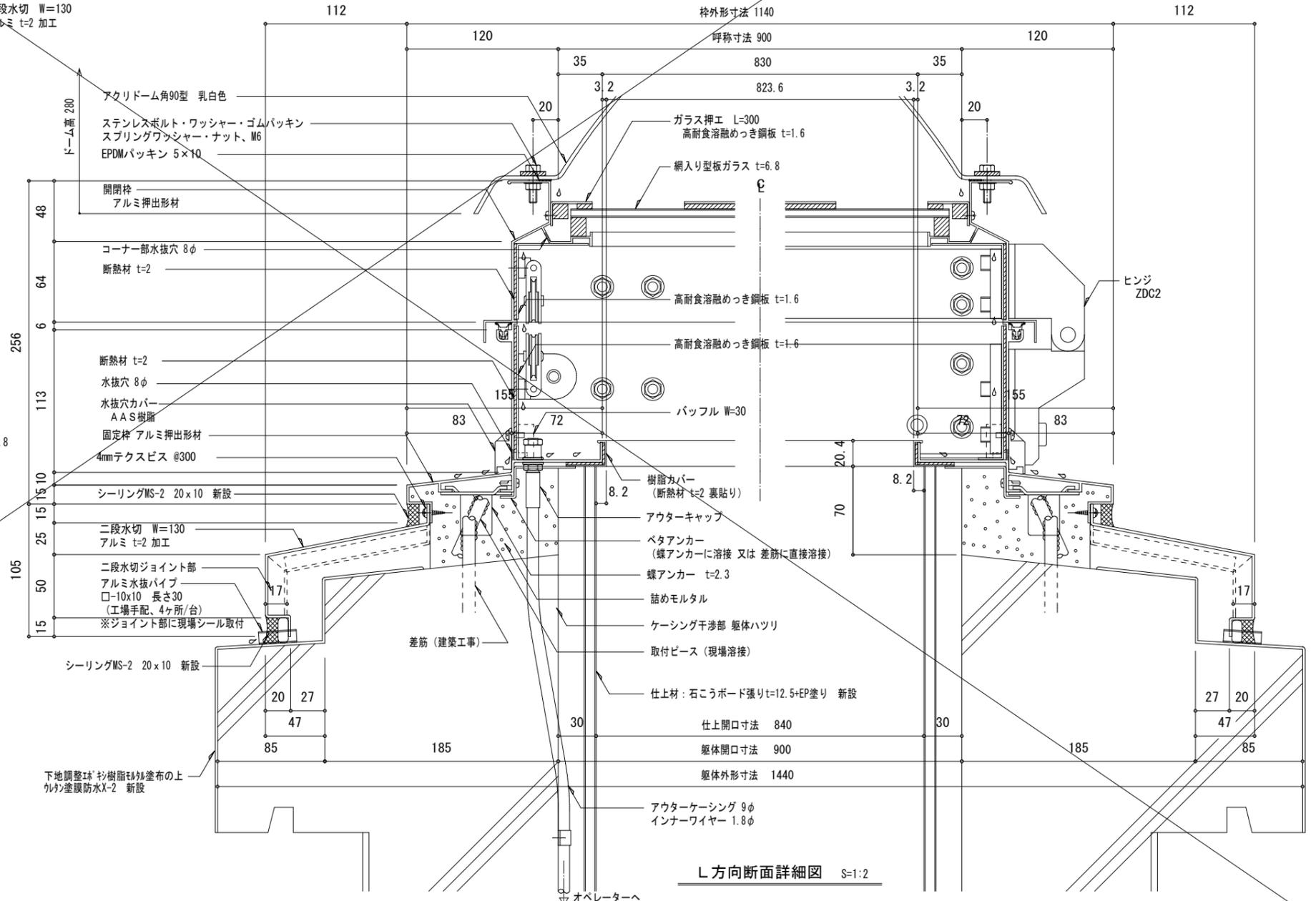
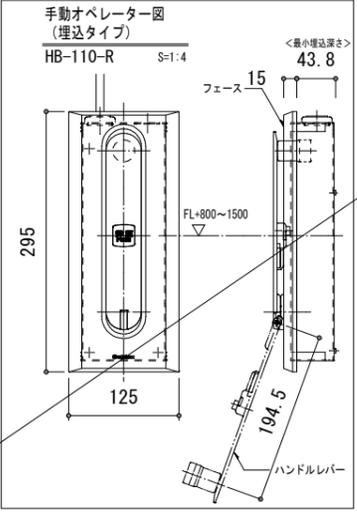
○ ファスナー取付位置

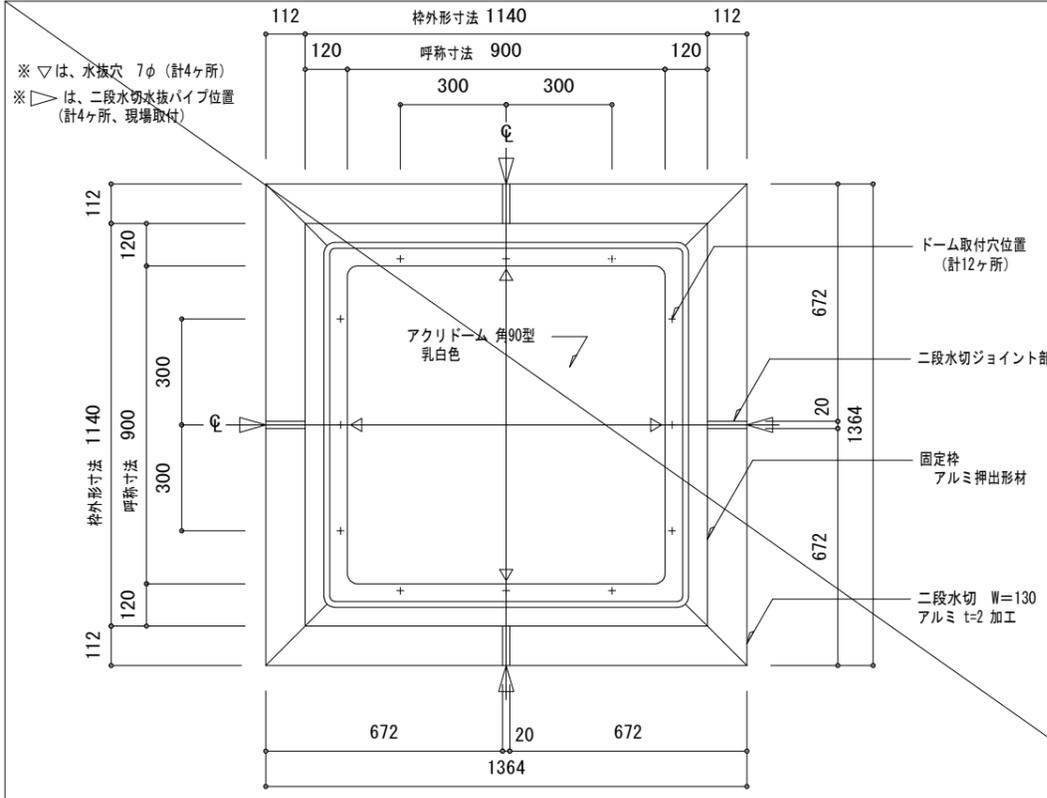




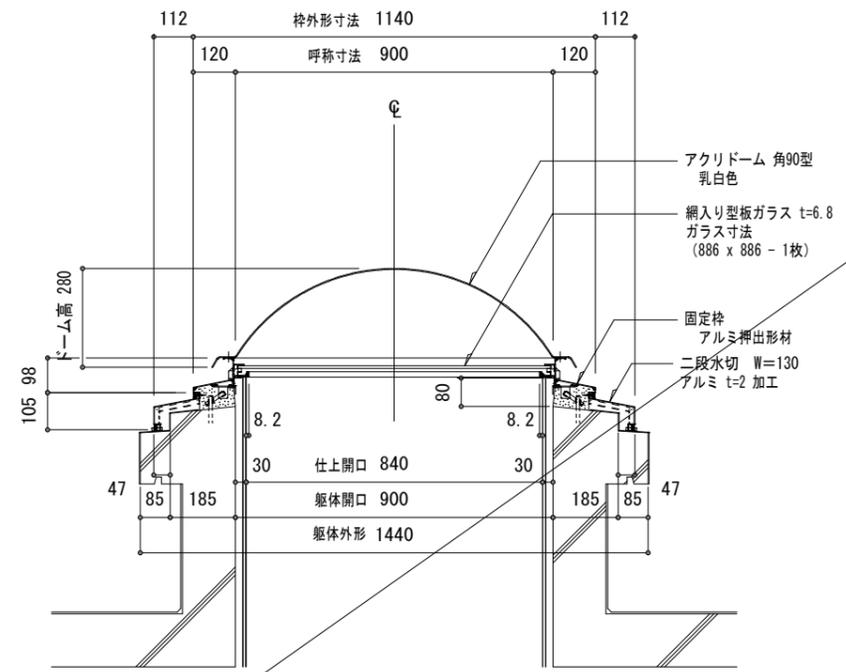


記号	名称	数量
○	片側開閉式 ライトスモークハッチ SHK-90 同等品	4台
取得場所		
ガラス	網入り型板ガラス t=6.8 ガラスサイズ (880 x 880 - 1枚)	
仕上	アルマイトシルバー	
排煙面積	0.67m ² /台	
・耐火仕様 ・AES樹脂カバー付き ・水抜穴部：内部側パッフル付き		





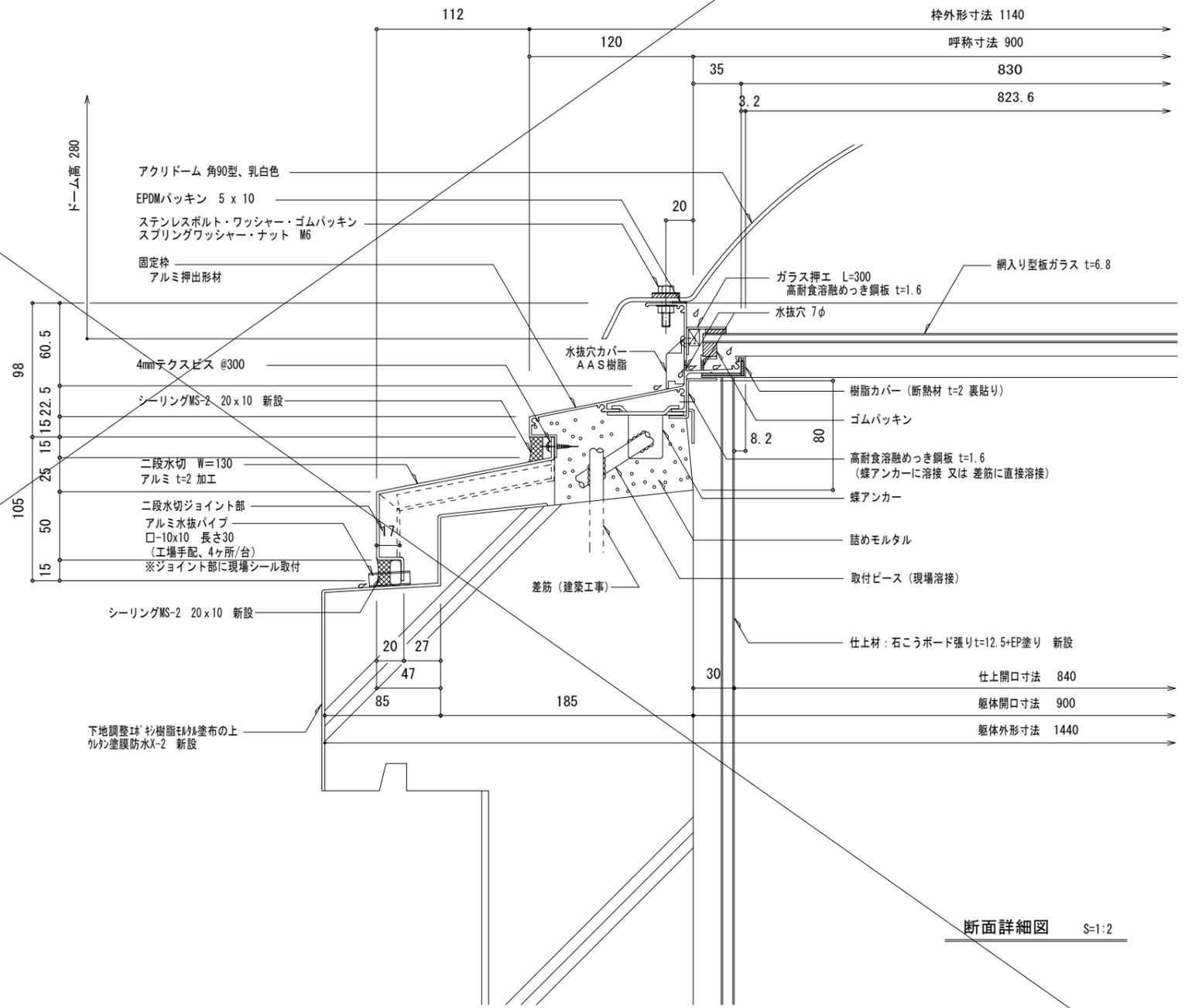
ドーム伏図 S=1:10



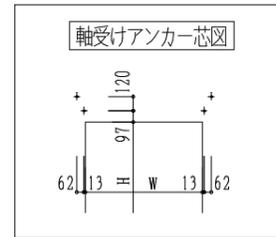
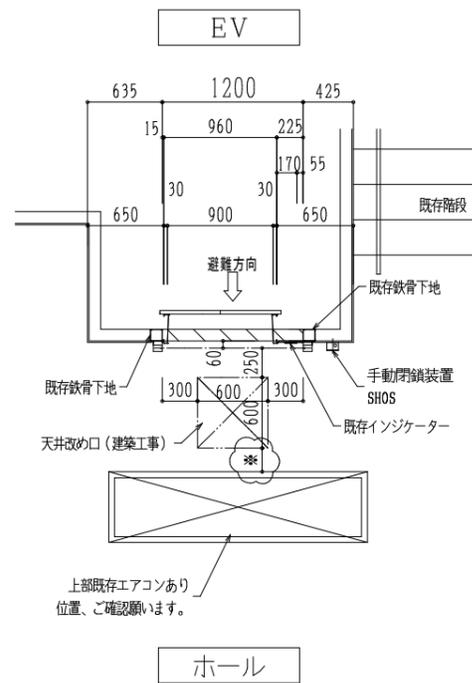
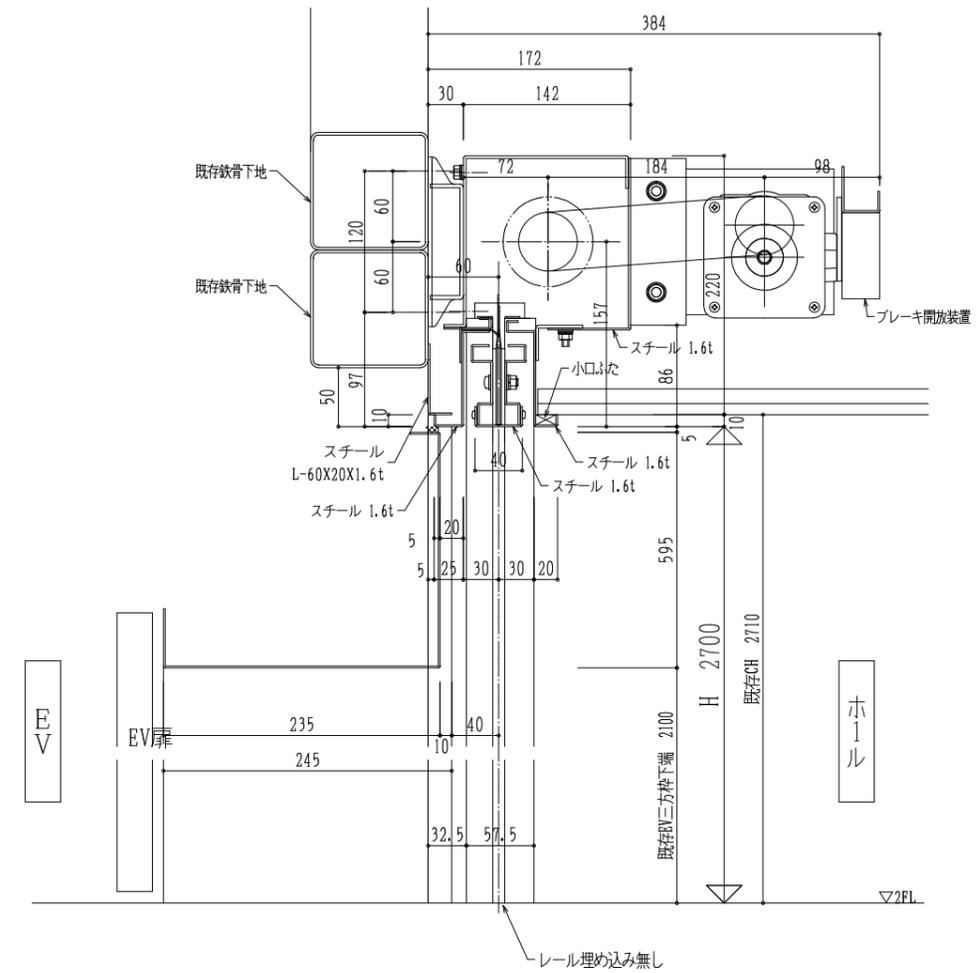
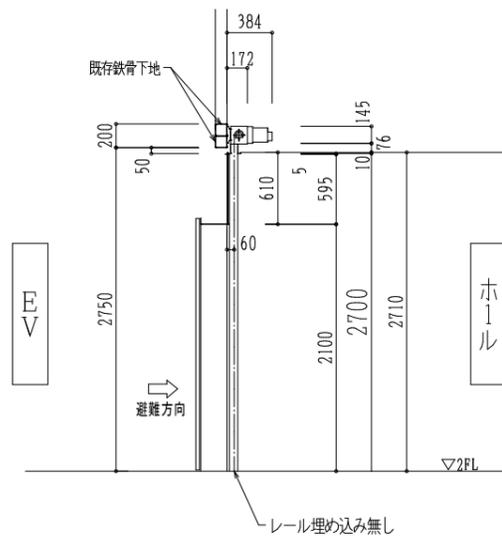
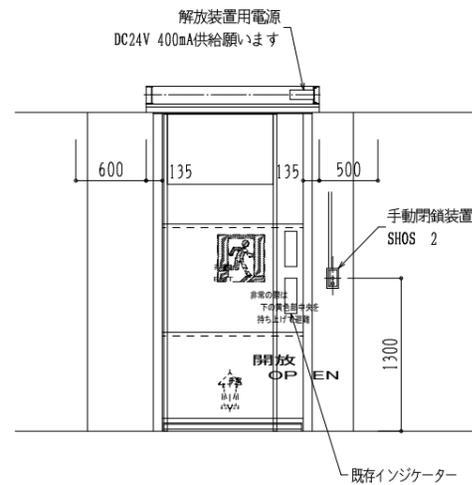
断面図 S=1:10

記号	名称	数量
	固定式トップライト アクリドームK K-90F 同等品	6台
取付場所		
ガラス	網入り型板ガラス t=6.8 ガラスサイズ (886 x 886 - 1枚)	
仕上	アルマイトシルバー	
・耐火仕様 ・AES樹脂カバー付き		

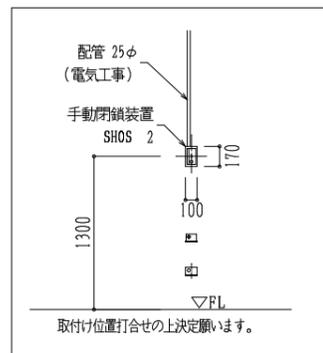
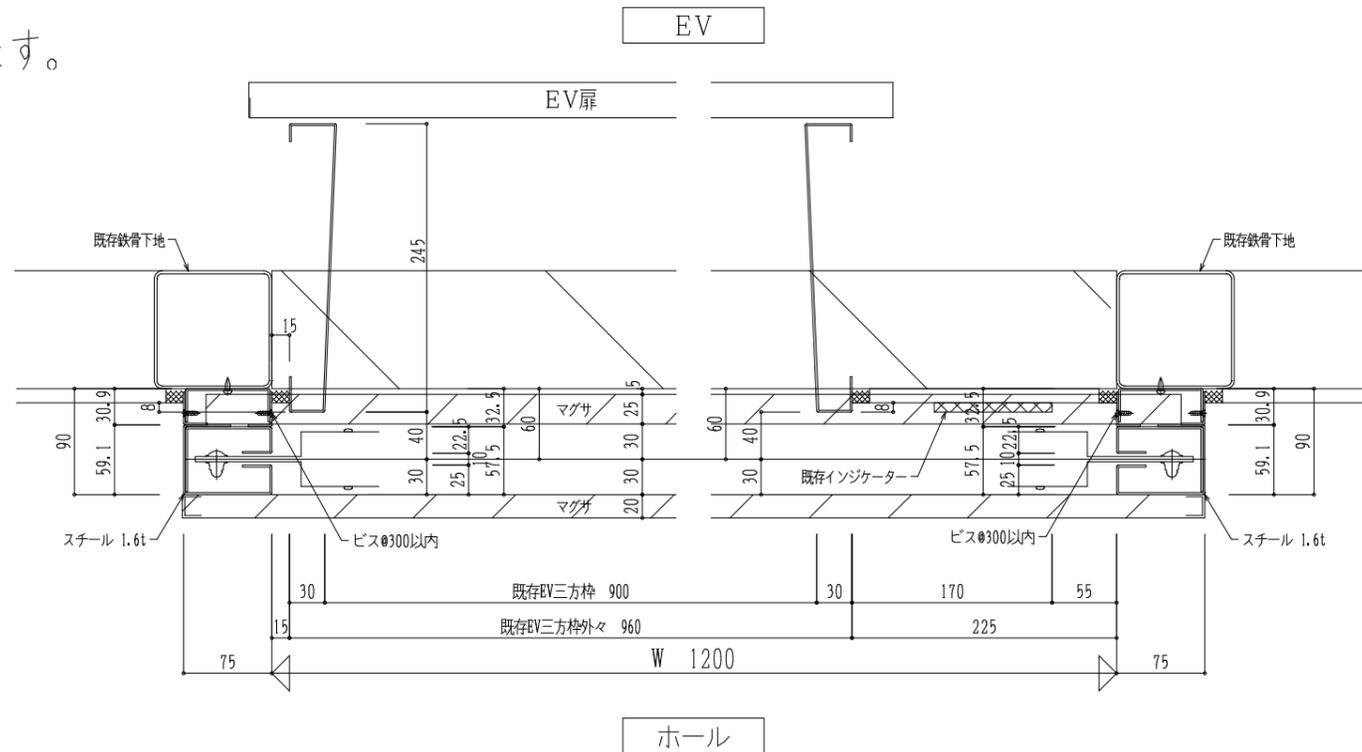
※ 固定式トップライトは、図示の形状を撤去、新設とする。



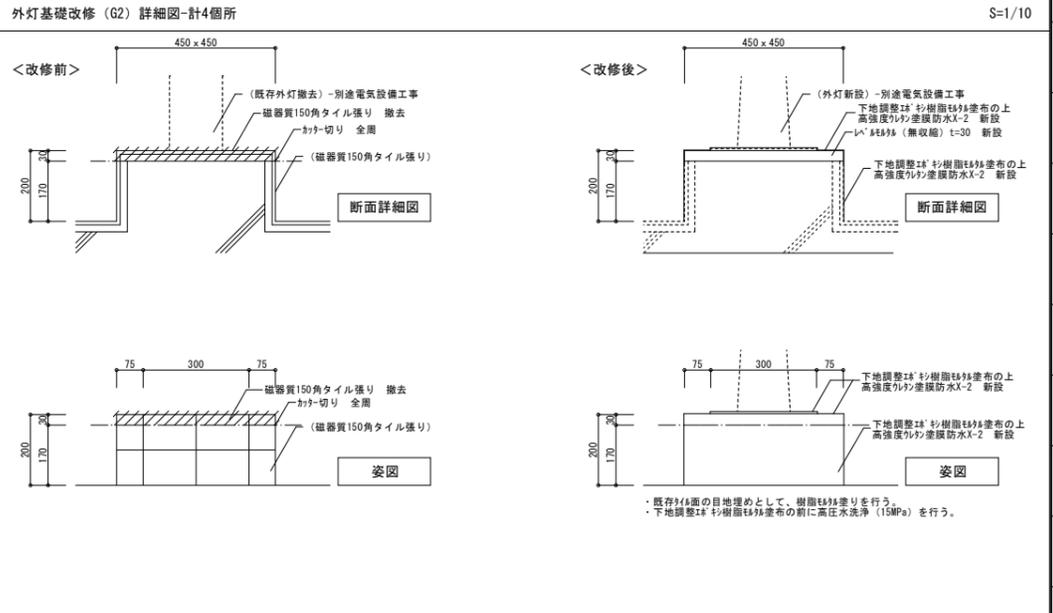
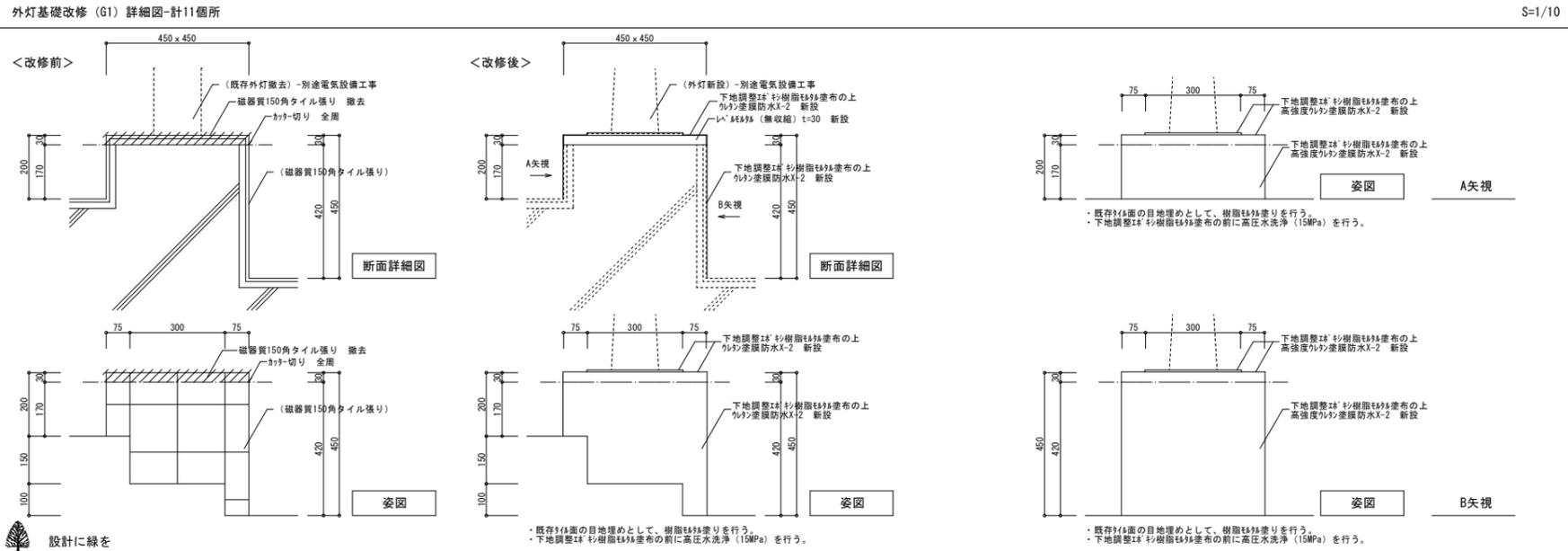
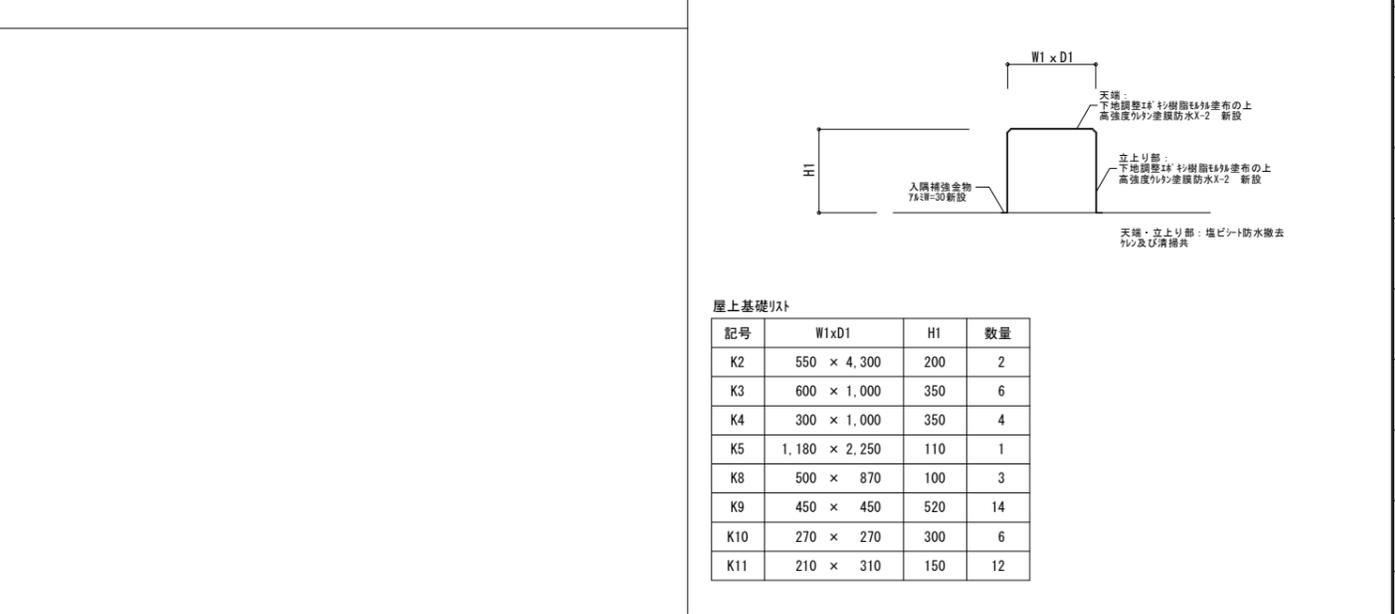
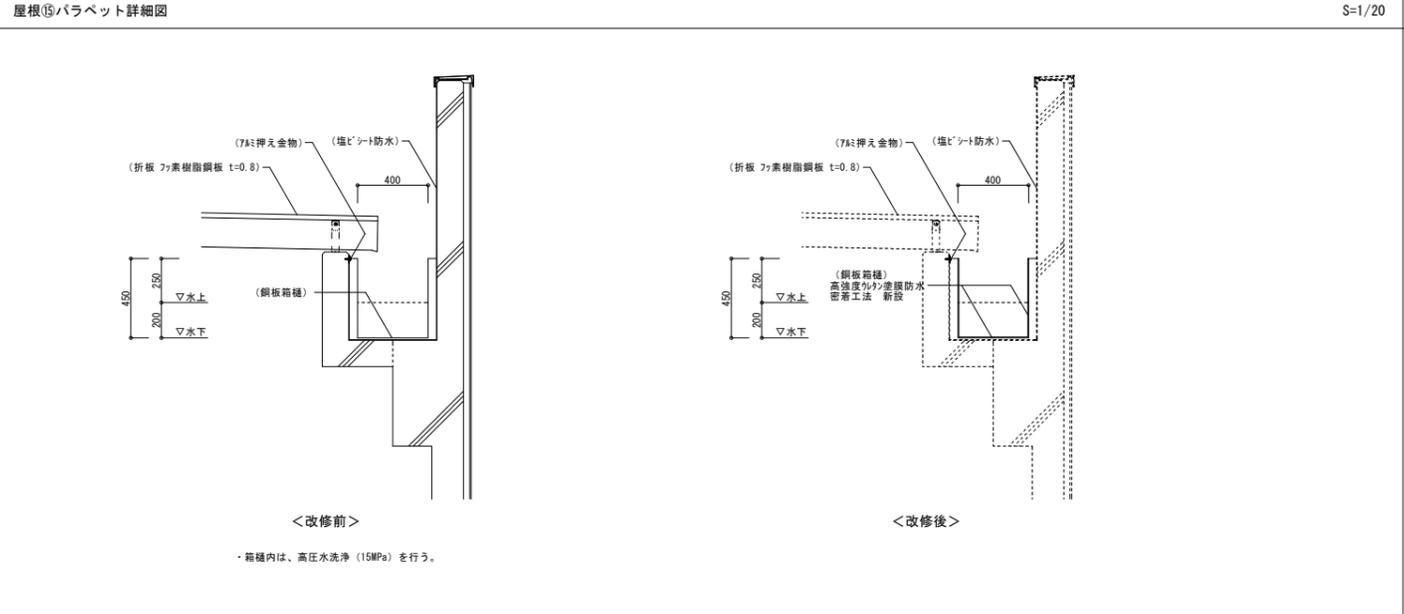
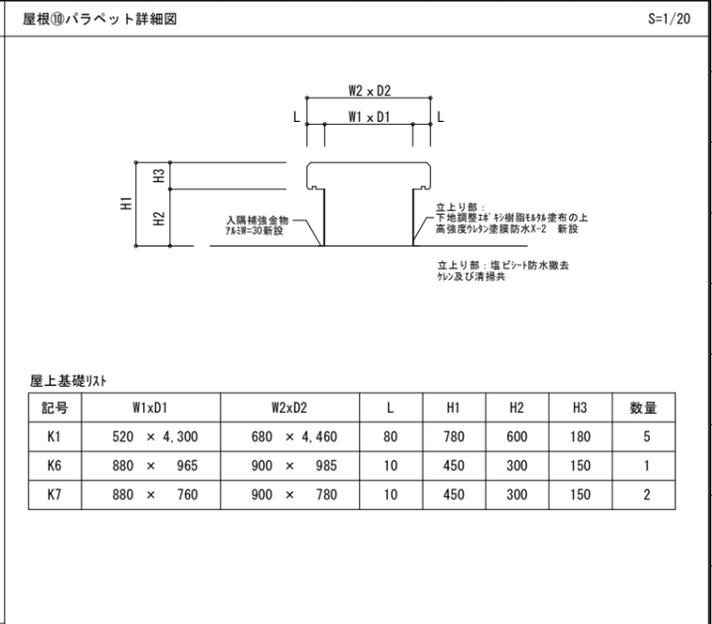
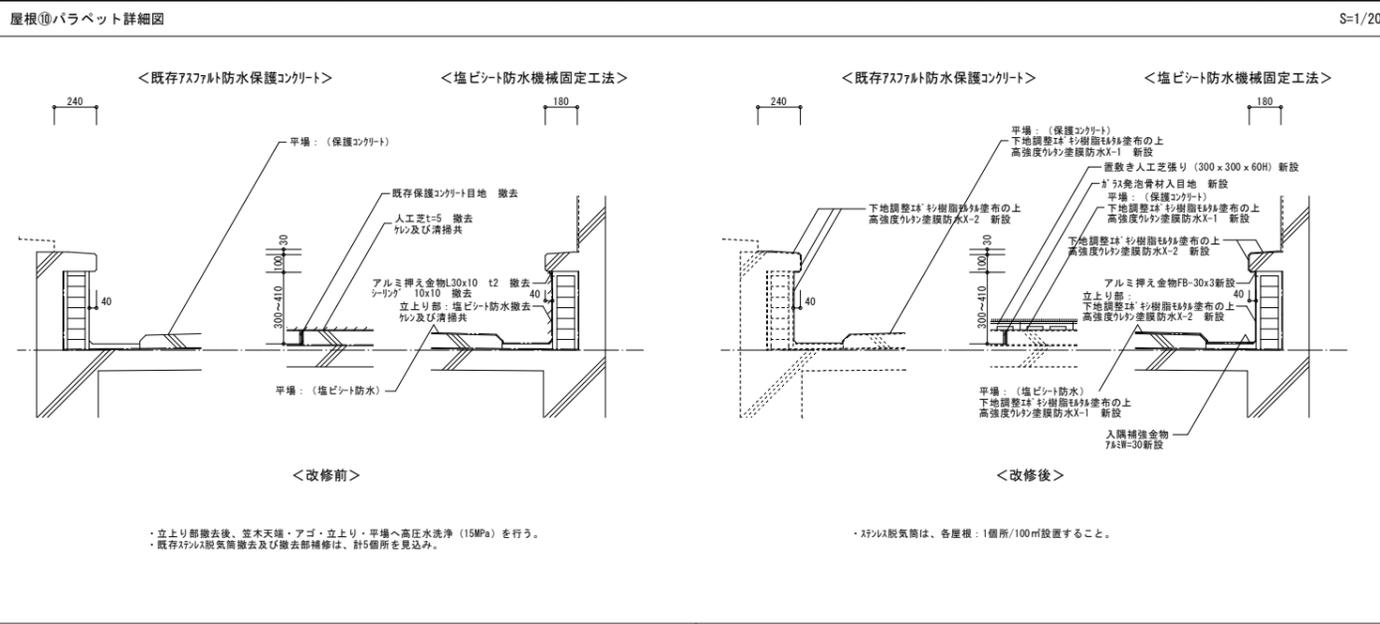
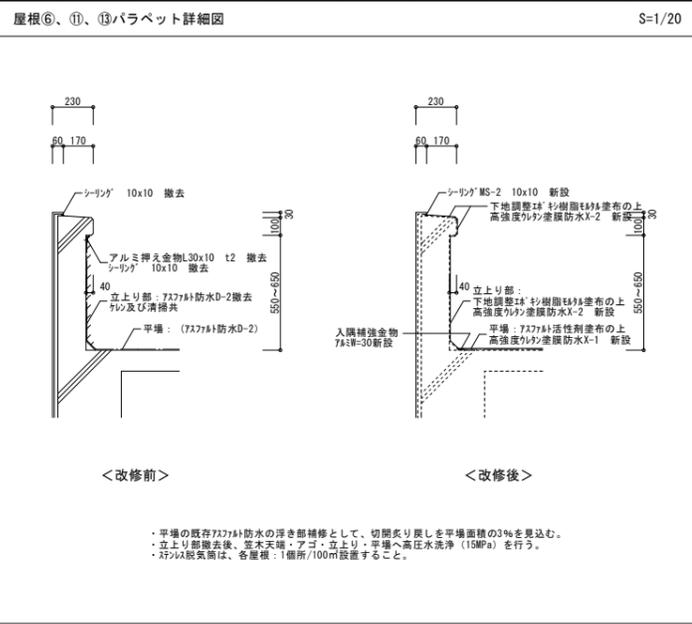
断面詳細図 S=1:2

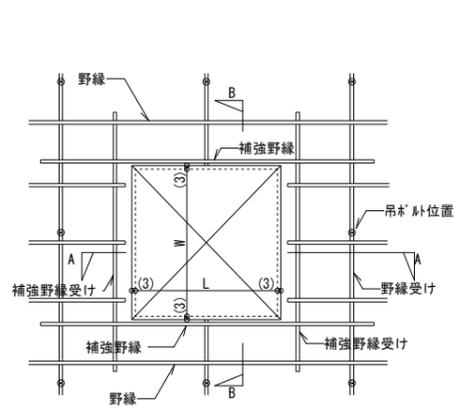


* 既存下地、ご確認願います。

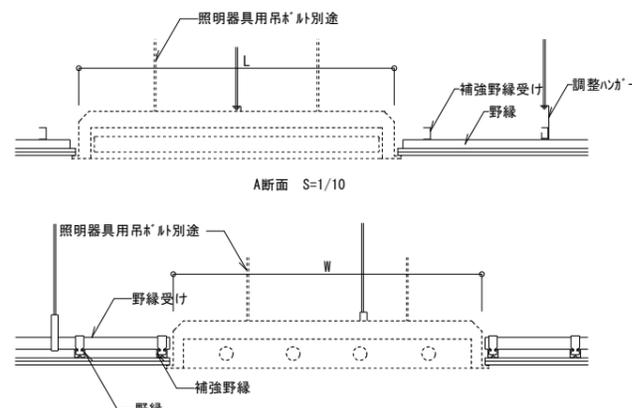


1 F

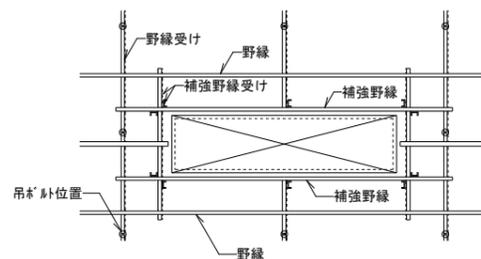




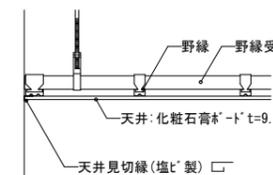
伏図 S=1/20



B断面 S=1/10

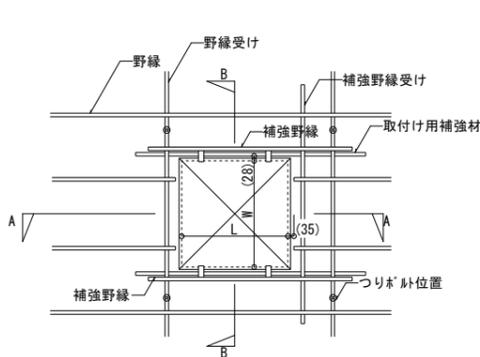


伏図 S=1/20

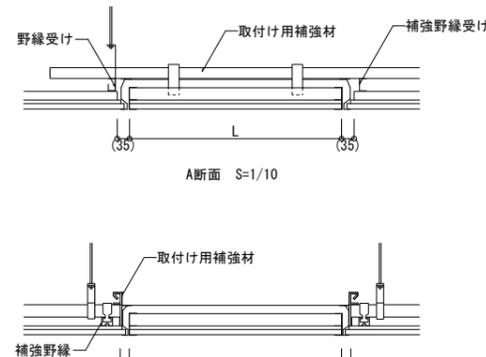


突き付けの場合

- 1) 照明器具等は別途とする。
- 2) 補強野線受材は野線受材と同等とする。
- 3) 野線受けの持出しが300mm以上の場合は増しづりを行う。
- 4) 図は下地張りありの場合を示す。



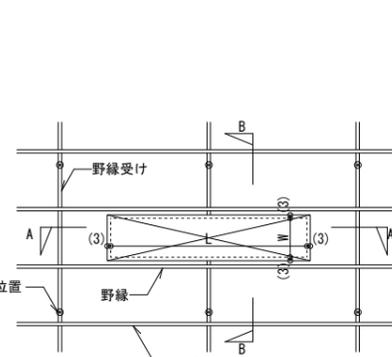
伏図 S=1/20



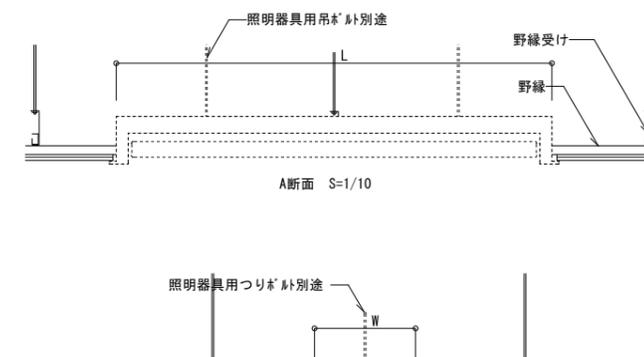
B断面 S=1/10

- 1) 天井点検口は既製品とする。
- 2) 取付け用補強材及び補強野線受け材は野線受材と同材とする。
- 3) 野線受けの持出しが300mm以上の場合は増しづりを行う。

2) 図は下地張りありの場合を示す。

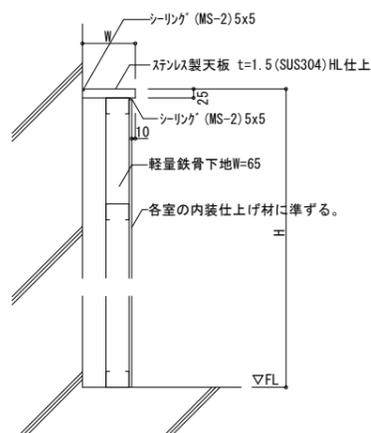


伏図 S=1/20

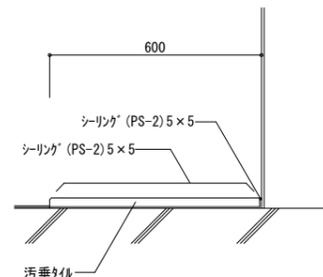


B断面 S=1/10

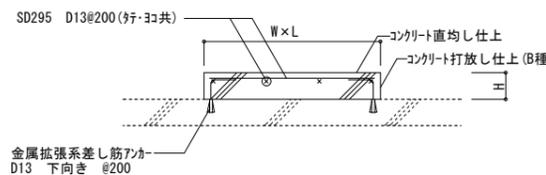
1) 野線を切断しない場合も必要に応じ補強野線を取付ける。



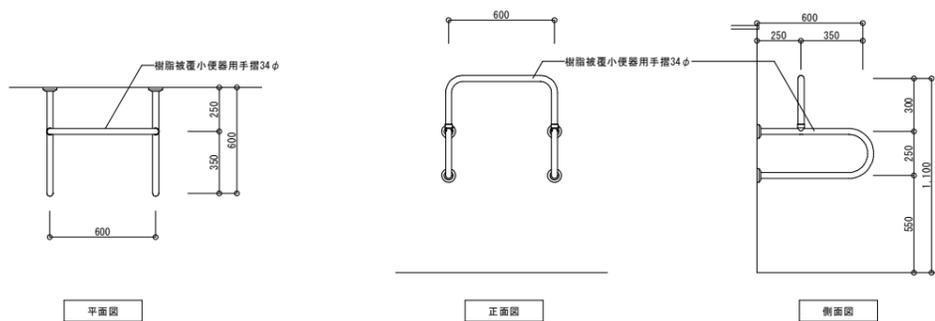
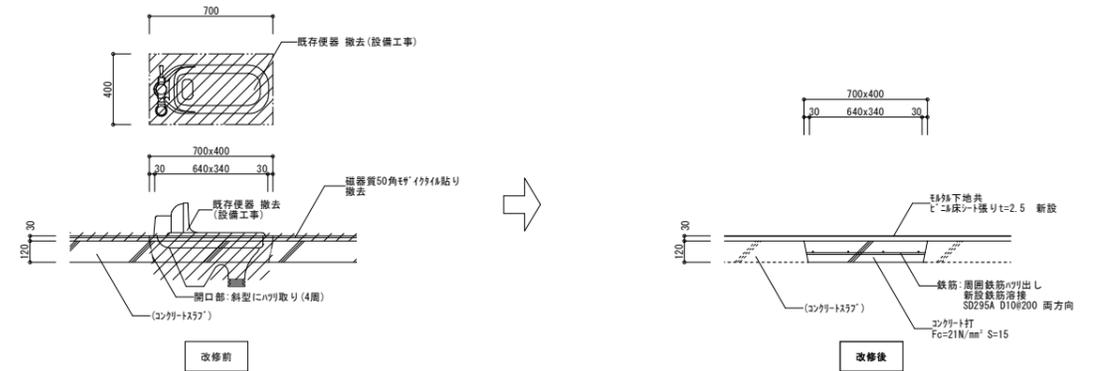
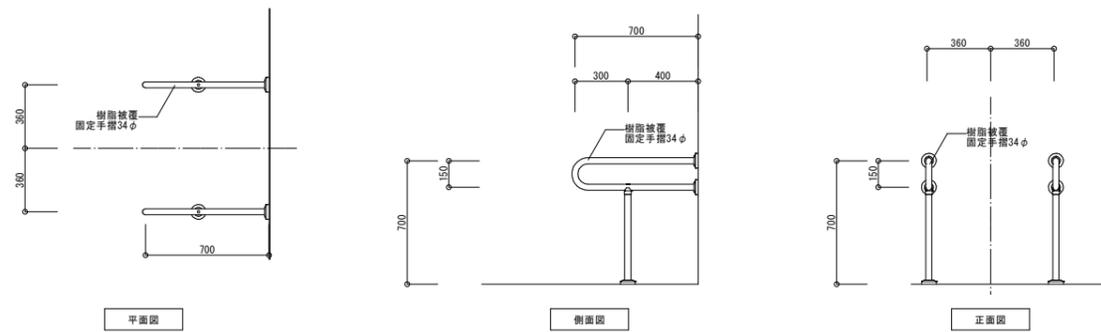
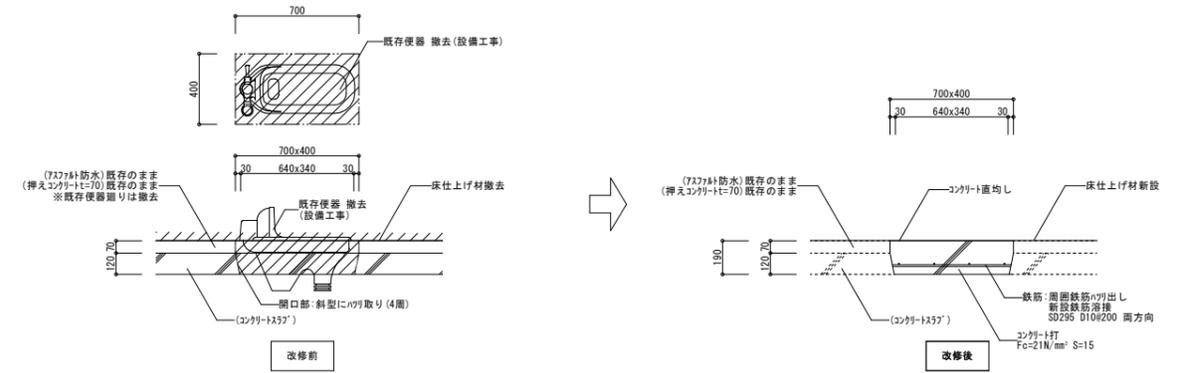
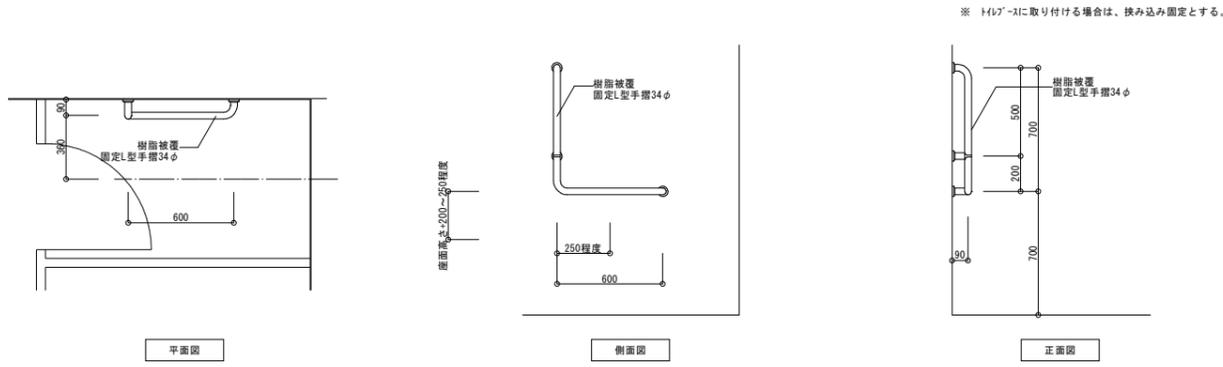
※W寸法、H寸法は平面詳細図による

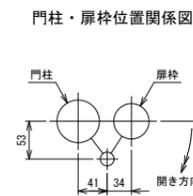
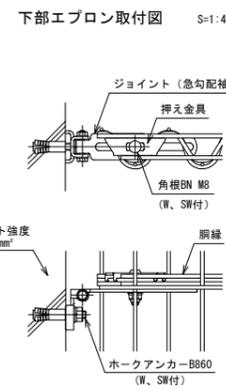
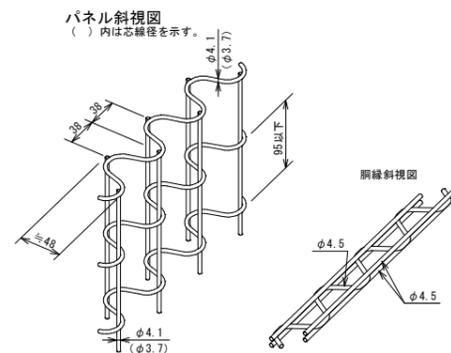
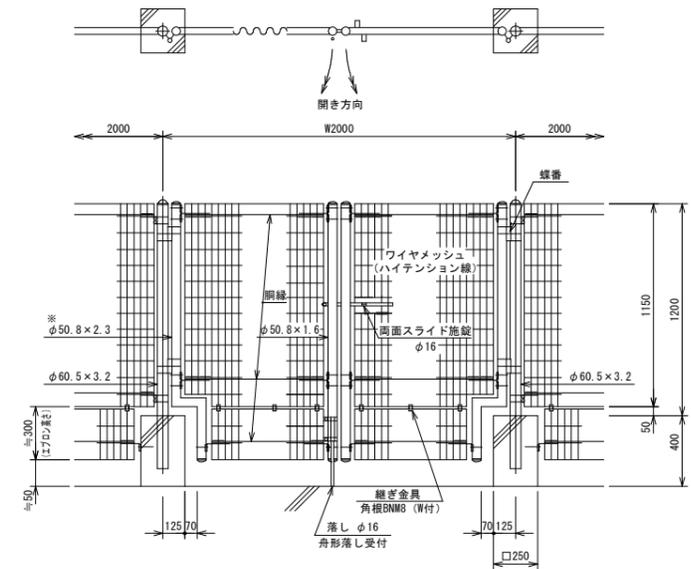
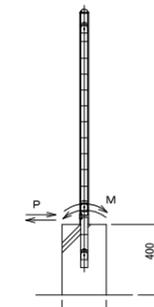
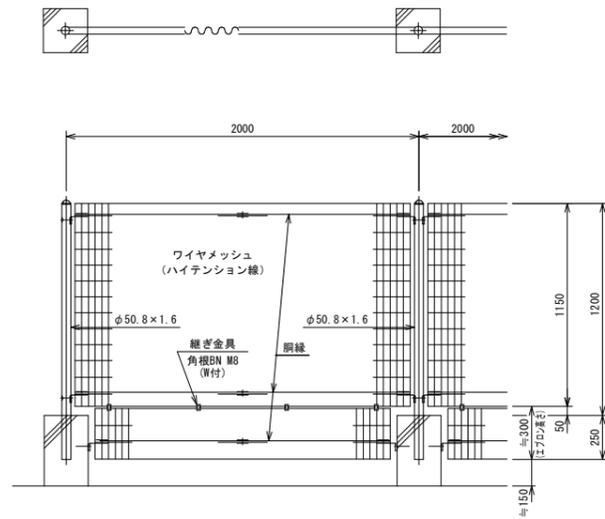
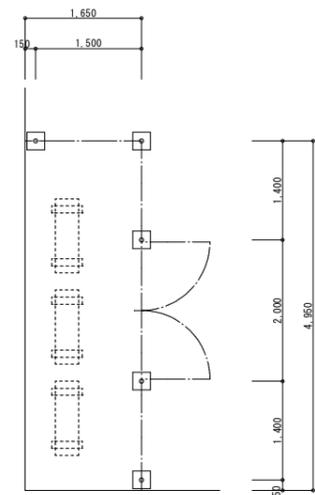


※コンクリートは、 $F_c=18N/mm^2$ 、 $S=15$ とする。



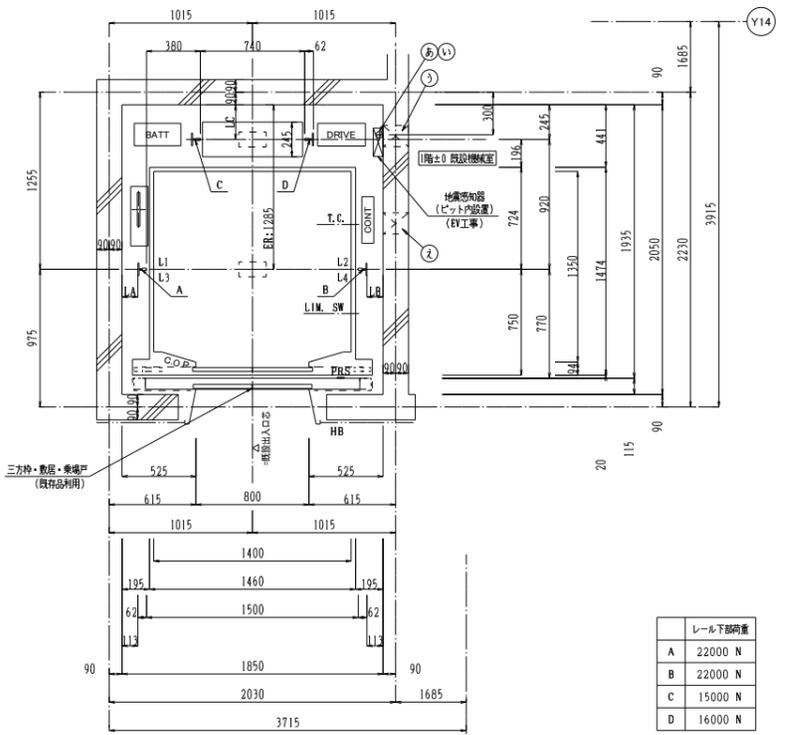
室名	番号	基礎名称	W	L	H	数量
地階機械室	①	機械用コンクリート基礎	1,300	3,500	150	1





設計条件
 設計荷重・・・建築基準法・同施行令 (平成12年6月) に基づく風圧力に依る。
 基本風速・・・3.8 m/s e.o.
 地表面粗度区分・・・Ⅲ

- 備考
1. 外装について
 - ・主柱、門柱、枠体・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上
高耐候性樹脂粉末塗装
 - ・枠体 (※印付)・・・溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - ・ワイヤメッシュ 鋼線・・・亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - ・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、一部のボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみ (SUS品を除く)
 - ・溶融亜鉛めっきのみ
 2. 本図門扉は片側180°開きとする。
 3. エプロン部のワイヤメッシュ、鋼線のスパン方向は現地カット (カット面が危険でなく、見苦しくならないよう) し、補修塗りを施すこと。
 4. 下部構造物は表中の荷重が作用するので、別途検討のこと。



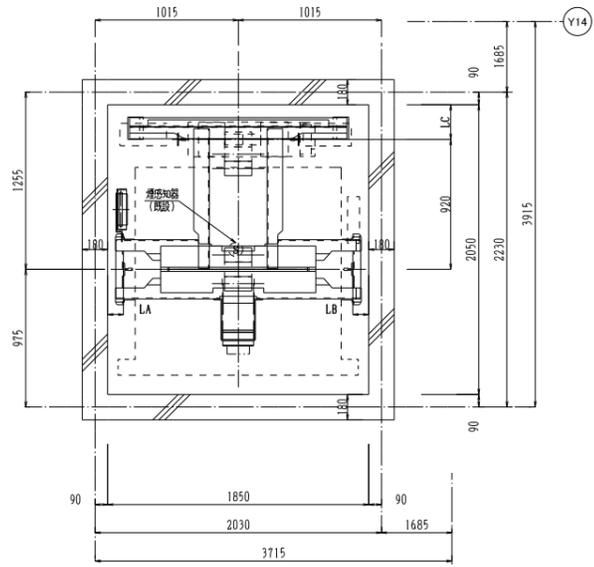
昇降路平面図 S=1:30
(出入口廻りは全階を示す)

レール下部寸法
A 22000 N
B 22000 N
C 15000 N
D 16000 N

- 動力・照明用電源引込位置
(防火区画貫通処理)
あ : 2EVFL-100
電線引出し長さ 2.5m
(既設機械室より電源引き込み)
- 火災時管制運転用配線
(防火区画貫通処理)
い : 2EVFL-100
電線引出し長さ 6.0m
- 既設電配管用開口部 (□150)
う : 電線管 φ50
両端耐火材取付 (大臣認定材)
隙間モルタル充填
- 既設圧力配管用開口部 (□150)
え : *配管撤去後、塞き工事
両面鋼板 t=1.6mm
ロックワール充填

実測値			
	寸法A	寸法B	寸法C
OH	520	540	2067
2階	520	535	2072
2階-1500	530	530	2069
1階上	540	550	2066
1階	535	540	2055
ピット	530	505	2070

ブラケット寸法			
段目	LA	LB	LC
4	108	123	382
3	108	118	379
2	128	138	376
1	118	93	380



頂部昇降路平面図 S=1:30

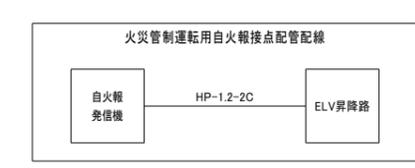
エレベーター用電源設備容量(1台1回線)

1. 動力用電源 3φ3W 210V 60Hz (トランス容量 3.8 kVA)
電線 3φ 38 mm² × 3 アース線 (ELCB用D種) 14 mm²
最大電線長さ 389 m以内とする ELCB 容量 3P ** A

2. 照明用電源 1φ 100V 1 kVA

* 電源電圧の変動率は昇降路受電端に於て±5%以内とする。
* 漏電ブレーカー (ELCB) は、インバーター適用品を使用する。
(ELCB仕様: 感度電流 100 mA、動作時間 0.5秒以内)

昇降路内の機器平均発熱量は、900 W (1台分)

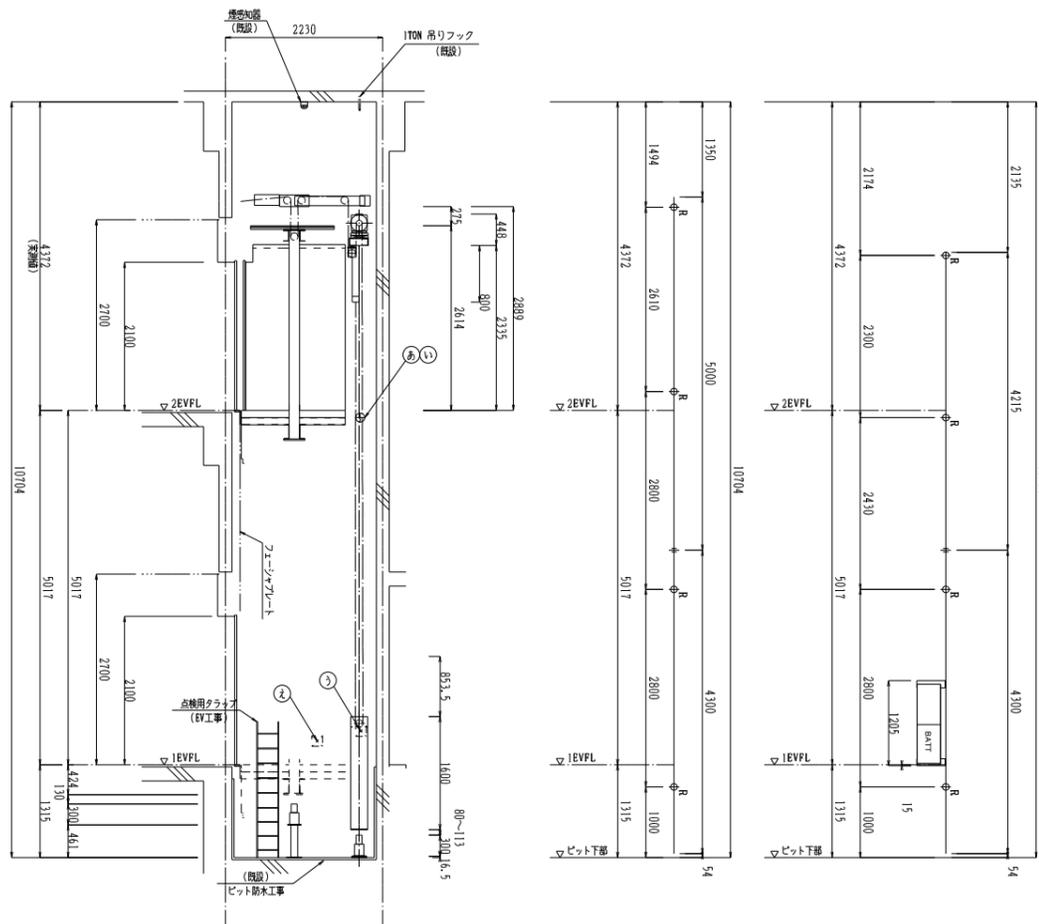


エレベーター仕様	
用途	乗用 (車いす用)
制御方式 (回路種別)	可変電圧可変周波数制御方式 (回生ドライブ付) ※PWMコンバーター (自動三相ブリッジ)
操作方式	方向性乗合全自動方式
積載量	750 kg (11名)
速度	45 m/min
電動機	AC 3.5 kW
戸の形式	2枚両引き戸
主索	t3.3 x W30 x 3本 (2:1)
停止箇所	2箇所 (1、2階)
昇降行程	5017 mm
かご内法	間口 1400 x 奥行 1350 mm
出入口幅	幅 800 x 高さ 2100 mm
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・常時主索検査装置 (バルブシステム) ・国交省新安全基準対応 (戸開走行保護装置付) ・昇降機耐震設計・施工指針2016年版対応 (耐震設計: A14) ・長周期地震対策付 ・地震時管制運転 (PHS波センサー) 3段設定 [リストスタート運転機能付] ・地震時自動診断・復旧システム (保守契約対応可能) ・停電時自動復帰装置 (バッテリー運転) ・聴覚障がい者仕様 ・視覚障がい者仕様 (点字、点字案内板、音声合成アナウンス装置 (エレボア)) ・かごドア引き込まれ防止装置 (ハンドタッチセンサー) ・火災時管制運転 (避難階: 1階) ・車いす仕様 (手すり) (2方向)、多光軸ドアセンサー (NBDS) 専用操作盤 (主・副)、専用乗場ボタン、ステンレス鏡面鏡) ・eView (かご内液晶ディスプレイシステム) (保守契約およびeView契約対応可能) ・インターホン呼びボタン誤動作防止ガイド付 ・かご上到着チャイム ・かご両端 (ステンレスヘアライン仕上 H=300) ・nanoeX (ナノイーX) 発生装置付 ・保護幕 (マグネット式)、床マット付 ・パーキングスイッチ付 1箇所 (1階: 乗場ボタン組込み) ・EV制御用ELCB対応 ・煙感知器連動管制運転: 第1避難階 (1接点/1台) ・点検時給油不要エレベーター ・既存インターホン: C機総合監視室中
Gen3 MOD Green TYPE3 P07M	MP-11-CO45

地震時による レール反力 (KH=0.6) (耐震設計: A14)			
R2 ↓		R1	R2
R1 ⇨	カー側	4200 N	2100 N
	カウンター側	6400 N	3200 N

既設コンクリート強度: 21 N/mm² (コンクリート種類: 普通)
(建物竣工: 1984年 5月)

改修工事概要
既設エレベーターを撤去し新設する工事とする。
(但し、三方枠・敷居・乗場戸等は既存品を使用する)



昇降路断面図 S=1:60

(注) 出入口床は水勾配を設けること。

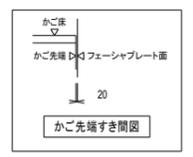
頂上空間については 平成12年 建設省告示 第1423号 第1 Dによる
ピット深さについては 平成12年 建設省告示 第1423号 第1 イただし書による

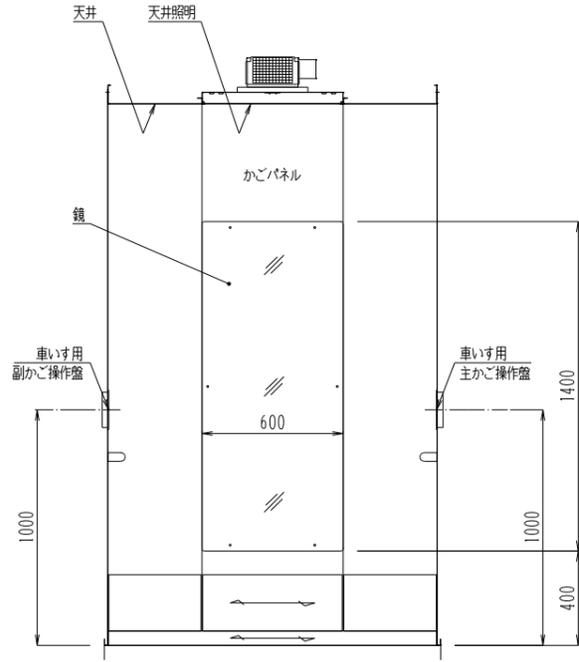
基本カーレール取付間隔 3000
基本カウンターレール取付間隔 3600
(中間ストップ付)

ピット駆動装置	
カー側(短期)	61000 N
カウンター側(短期)	48000 N

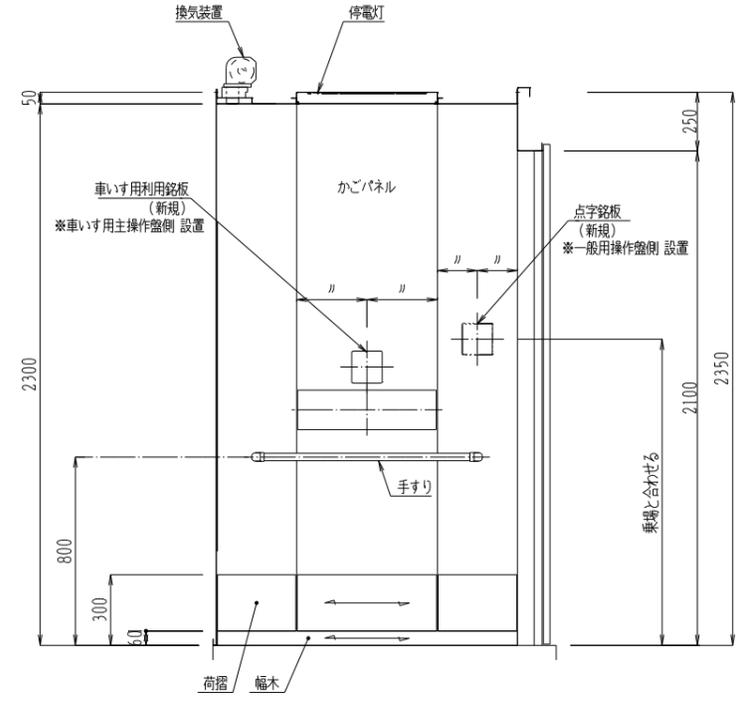
レール種目 Φレールブラケット取付位置
カーレール立て図 S=1:40
カウンターレール立て図 S=1:40

- 動力・照明用電源引込位置
(防火区画貫通処理)
②: 2EVFL-100
電線引出し長さ 2.5m
(既設機室より電線引き込み)
- 火災時警報用電源引込位置
(防火区画貫通処理)
①: 2EVFL-100
電線引出し長さ 6.0m
- 用途電気配管用開口部 (□150)
③: 電線管 φ80
両端耐火付付 (大径認定材)
隙間セパレーター付
- 用途圧力配管用開口部 (□150)
④: *設置前後、養生工事
両面鋼板 t=1.6mm
ロックワール付

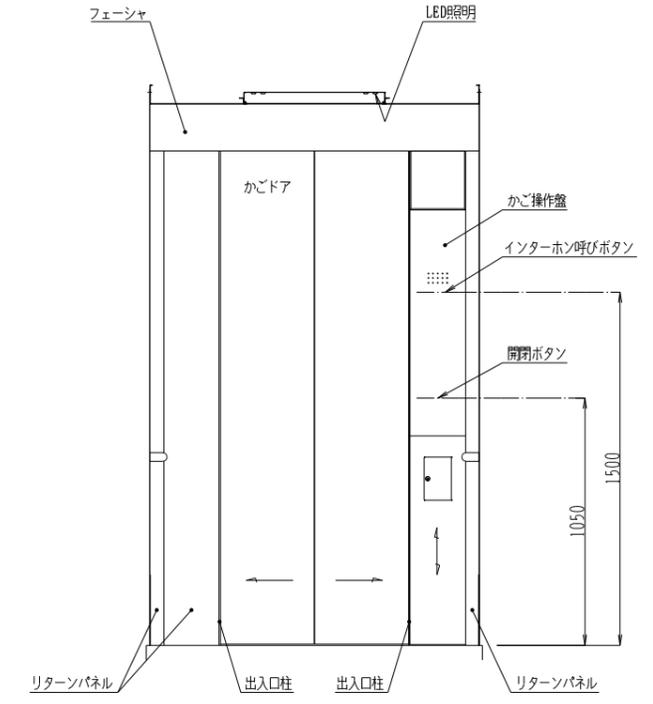




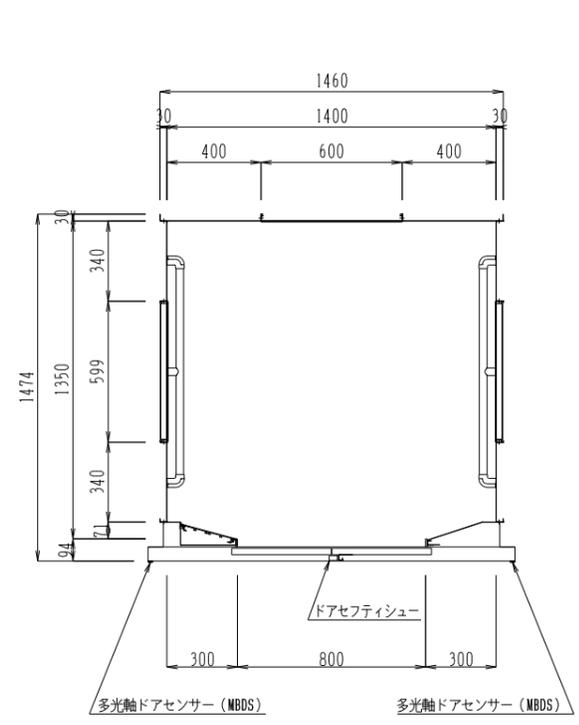
背面図



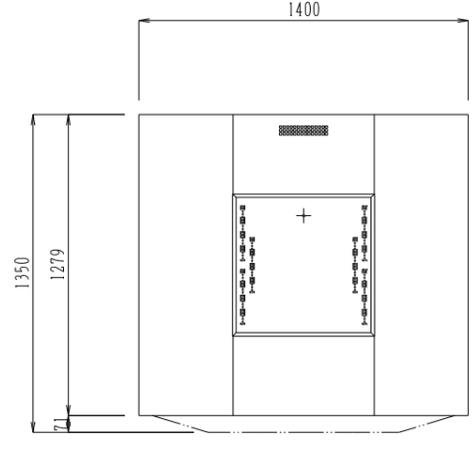
側面図



出入口側



平面図

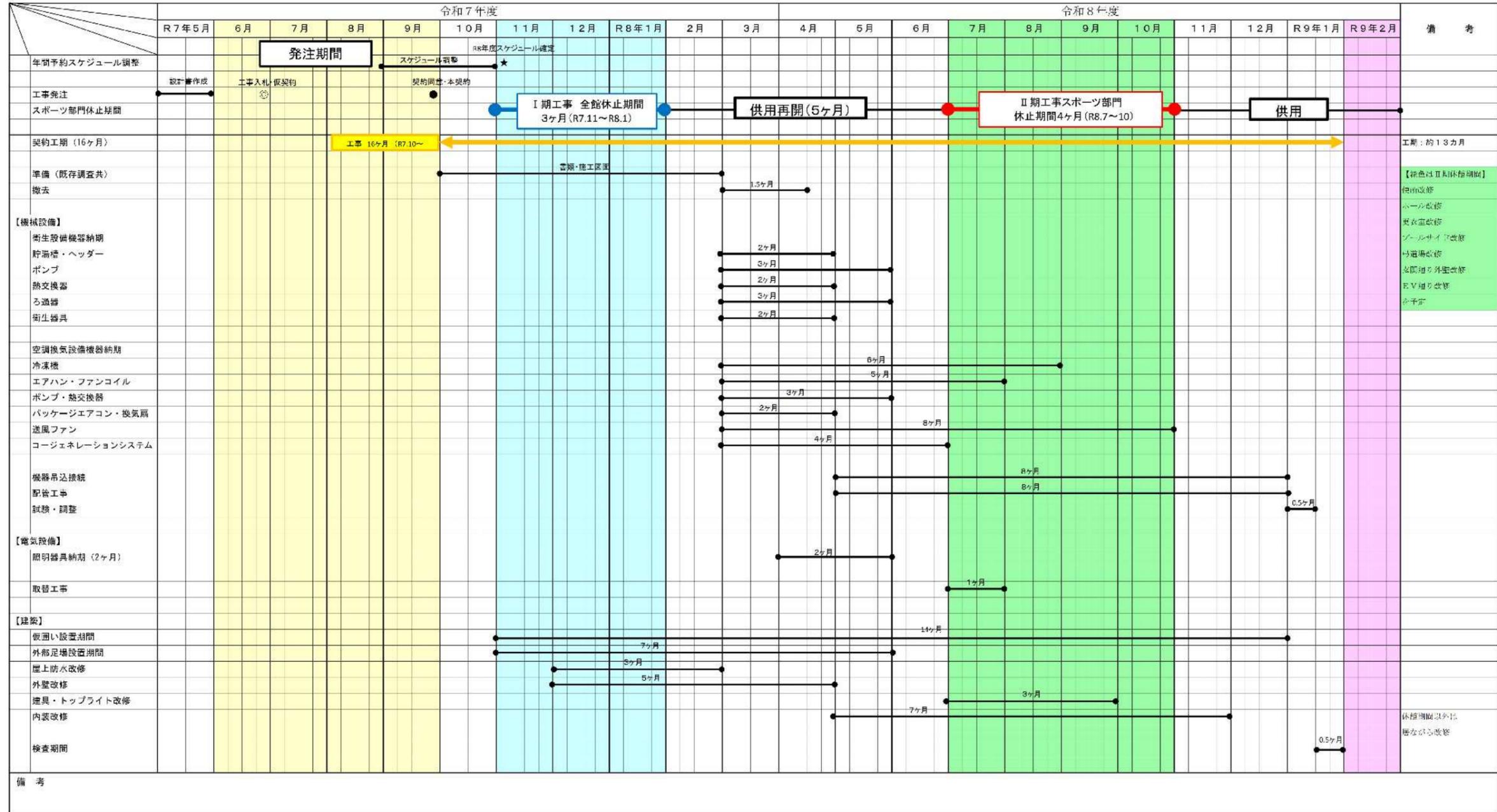


天井伏図

仕様要項			
名称	材質	仕上	
かごパネル	合成樹脂化粧鋼板		
かごドア			
フェーシャ			
リターンパネル			
出入口柱	アルミニウム	ヘアライン&ステンレス調アルマイト	
天井	合成樹脂化粧鋼板		
天井照明	乳白色アクリルカバー (フラットタイプ) 照明器具: ライン形LED (昼白色) x2ユニット 非常灯: LED DC12V-4.2Wx1灯		
幅木	ステンレス	ヘアライン	
敷居	硬質アルミニウム		
床仕上	樹脂タイル (軟質ビニル)		
手すり	中央部	φ32 ステンレスパイプ	ヘアライン
	両端部	亜鉛ダイキャスト	銀色塗装
鏡	ステンレス	鏡面	
荷摺	ステンレス	ヘアライン	
保護幕	付 (マグネット式)		
床マット	付		
備考	<ul style="list-style-type: none"> かごドア引き込まれ防止装置 (ハンドタッチセンサー) 付 nanoeX (ナノイーX) 発生装置付 (かご上設置) 		

工事工程表

令和6年 月 日 工事名 三原リージョンプラザ長寿命化改修設計業務委託(その2)



工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

建築工事 中科目別内訳

スポンツ部門改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修		1	式		
計					
外壁改修		1	式		
計					
建具改修		1	式		
計					
内装改修		1	式		
計					
塗装改修		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

スポーツ部門改修		防水改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(撤去)						
カッター切り	タイル面	27	m			
アルミ押え金物撤去	集積共	258	m			
アルミ製建具撤去	集積共	5.1	m ²			
既存人工芝撤去	t=5 集積共	258	m ²			
既存防水層撤去	屋上防水層 アスファルト防水層 集積共	30	m ²			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	134	m ²			
既存ストレート撤去	75φ用 集積共	1	か所			
既存ストレート撤去	100φ用 集積共	4	か所			
既存SUS脱気筒撤去	集積共	12	か所			
シーリング撤去	集積共	310	m			
既存保護コンクリート目地撤去	集積共	138	m			
ガラス撤去	集積共	13.9	m ²			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	3	m ²			
(改修)						

スポンツ部門改修		防水改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ケレン・清掃		219	m ²			
高圧水洗浄		1,331	m ²			
防水下地調整	エポキシ樹脂モルタル塗	438	m ²			
防水下地調整	エポキシ樹脂モルタル塗布	272	m ²			
ガラス発泡骨材入目地	20×20	138	m			
高強度ウレタン系塗膜防水	X-1 平場	933	m ²			
高強度ウレタン系塗膜防水	X-2 立上	272	m ²			
アスファルト活性化剤塗布		79.2	m ²			
高強度ウレタン系塗膜防水	t=2.0 密着工法	126	m ²			
入隅補強金物	W=30	417	m			
ステンレス製脱気筒		12	か所			
改修用ルーフトレイン	樹脂製 75φ	1	か所			
改修用ルーフトレイン	樹脂製 100φ	2	か所			
改修用横引トレイン	樹脂製 100φ	2	か所			
改修用ルーフトレイン一時取外し再取付	樹脂製 100φ	6	か所			

スポーツ部門改修		防水改修					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	116	m				
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	32.5	m				
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 25×10	16.6	m				
シーリング	一般部 シリコン系 (SR-1) 10×10	29.4	m				
シーリング	一般部 シリコン系 (SR-1) 15×10	26.6	m				
シーリング	一般部 シリコン系 (SR-1) 25×10	21.3	m				
無収縮モルタル充填		0.1	m ³				
置敷き人工芝張り	300x300x60H	258	m ²				
人工芝シート		258	m ²				
排煙用トップライト	3910x3910x1229H 四角錐30°タイプ 排煙ホドレータ4カ所共	1	カ所				
計							

スポーツ部門改修		外壁改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(撤去)						
アルミ製EXP. Jカバー撤去	集積共	106	m			
ステンレス製EXP. Jカバー撤去	集積共	51.4	m			
(改修)						
EXP. J(床-床)平型	ステンレス製 耐火帯付 クリアランス100用	20.9	m			
EXP. J(床-外壁)L型	ステンレス製 耐火帯付 クリアランス100用	30.5	m			
EXP. J(外壁-屋根)L型	アルミ製 耐火帯付 クリアランス100用	40.7	m			
EXP. J(外壁-外壁)L型	アルミ製 耐火帯付 クリアランス100用	33.8	m			
EXP. J(外壁-天井)L型	アルミ製 クリアランス100用	9	m			
EXP. J(外壁-外壁)平型	アルミ製 耐火帯付 クリアランス100用	3.7	m			
EXP. J(外壁-外壁)平型	アルミ製 クリアランス100用	3.2	m			
EXP. J(天井-天井)平型	アルミ製 クリアランス100用	15.2	m			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修	4,131	m ²			
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	301	m ²			
水洗い清掃	タイル面	4,131	m ²			

スポーツ部門改修		建具改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(アルミ製建具)						
AD-1	アルミ製片開戸FIX袖付 W2915xH2000x70	1	か所			
取付調整費		1	式			
運搬費		1	式			
(トイレマス)						
TB-1	メラミン化粧板(木目) 1階女子便所用 H1900	1	か所			
TB-2	メラミン化粧板(木目) 1階女子便所用 H1900	1	か所			
TB-3	メラミン化粧板(木目) 1階男子便所用 H1900	1	か所			
TB-4	メラミン化粧板(木目) 1階男子便所用 H1900	1	か所			
TB-5	メラミン化粧板(木目) 1階男子便所用 H1900+600	1	か所			
TB-6	メラミン化粧板(木目) 2階男子便所用 H1900	1	か所			
TB-7	メラミン化粧板(木目) 2階女子便所用 H1900	1	か所			
TB-8	メラミン化粧板(木目) 2階男子便所用 H1900+600	1	か所			
TB-12	高圧メラミン化粧板(木目) 1階男子便所パネル用 H1900	1	か所			
TB-13	高圧メラミン化粧板(木目) 1階女子便所パネル用 H1900	1	か所			

スポーツ部門改修		内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(撤去)						
カッター切り	タイル面	3.1	m			
CB撤去	コンクリートブレイカ 集積共	2.6	m ³			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	0.1	m ³			
天井下地撤去	集積共	225	m ²			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	17.2	m ²			
壁モルタル・プラスター撤去	集積共	5.4	m ²			
塗床撤去	集積共	16.3	m ²			
ビニル床シート撤去	アスベスト含有 集積共	125	m ²			
トイレブース撤去	集積共	91.4	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	14.9	m ²			
天井合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	180	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 石綿含有 集積共	29.6	m ²			
ステンレス手すり撤去	大便器用 床固定 集積共	4	か所			
(改修)						

スポーツ部門改修		内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 5×5	28.5	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×15	19.7	m			
内装壁タイル張り	ユニットタイル 有機系接着張り (タイプ I) Ⅲ類 施ゆう 100mm角 ボート面	0.6	m ²			
汚垂れタイル	t=5 幅600mm	11	m			
床ラワン合板張り	厚15 1類	0.7	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	19.1	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	28.5	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	30.7	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	170	m ²			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 350× 350mm程度 ボート等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 450× 450mm程度 ボート等切込み共	16	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 530×1100mm程度 ボート等切込み共	4	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 530×1300mm程度 ボート等切込み共	12	か所			
EXP. J(内壁-内壁)平型	アルミ製 耐火帯付 クリアランス100用	2.3	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	15	か所			

スポーツ部門改修		内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ステンレス天板	t=1.5 250*25 HL仕上	7.5	m			
ステンレス天板	t=1.5 150*25 HL仕上	6.8	m			
天井廻縁	塩化ビニル製	43	m			
壁モルタル塗り	木ごと 内壁ユニット下地 厚15	0.6	m ²			
建具周囲 モルタル充填	内部建具	9.8	m			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法 -	115	m ²			
エポキシ樹脂塗床		16.3	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	19.1	m ²			
化粧ケイ酸カルシウム板	厚6	19.1	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	28.5	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	170	m ²			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ 2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	30.7	m ²			
機械用コンクリート基礎	1300x3500x150H	1	か所			
乾式二重床	H285 パーティクルボード共	0.7	m ²			
L型手すり	樹脂製34φ 固定600x700	5	か所			

スポンツ部門改修		発生材処理					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
発生材積込み	コンクリート類 人力	2.8	m3				
発生材積込み	ボード・木材類 人力	10.2	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	5	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 24.0km以下	2.7	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.7	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.3	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 24.0km以下	0.2	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 24.0km以下	1.9	m3				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 24.0km以下	1.6	m3				
撤去材処分	コンクリート類	0.1	m3				
撤去材処分	アスファルト防水	0.1	m3				

スポーツ部門改修		発生材処理					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
撤去材処分	トイレフゝス類・人工芝	5	m3				
撤去材処分	モルタル・コンクリートブロック類	2.7	m3				
撤去材処分	ガラス・陶磁器類	0.7	m3				
撤去材処分	廃プラ類	0.5	m3				
撤去材処分	廃プラ類(アスベスト含有)	0.3	m3				
撤去材処分	成形板類(アスベスト含有)	0.2	m3				
撤去材処分	ケイカル板類	0.1	m3				
撤去材処分	石こうボード	1.9	m3				
撤去材処分	岩綿吸音板類	1.6	m3				
スクラップ 運搬(kg)		2,228	Kg				
スクラップ 処分(kg)	鑄鉄	▲25	Kg				
スクラップ 処分(kg)	H4	▲900	Kg				
スクラップ 処分(kg)	ステンレス	▲614	Kg				
スクラップ 処分(kg)	アルミ屑	▲689	Kg				
計							

文化部門改修		内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(撤去)						
天井下地撤去	集積共	5.9	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	1.8	m ²			
天井合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	4.1	m ²			
(改修)						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	1.8	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	4.1	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボード等切込み共	9	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 600×600mm程度 ボード等切込み共	2	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	9	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 600角	2	か所			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 6 目透かし	1.8	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	4.1	m ²			
EV前スクリーン新設	防火・防煙仕様 W1200xH2680	2	か所			
EVかご取替工事	11人乗 常用(車いす用) かご間口1400x奥行1350	1	式			

文化部門改修		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み	ボード・木材類 人力	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3			
撤去材処分	ガラス	0.1	m3			
撤去材処分	廃プラ	0.1	m3			
撤去材処分	ケイカル板類	0.1	m3			
撤去材処分	石膏ボード類	0.1	m3			
撤去材処分	岩綿吸音板類	0.1	m3			
スクラップ 運搬(kg)		23.8	Kg			
スクラップ 処分(kg)	H4	▲23.8	Kg			
計						

屋外便所改修		内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(撤去)						
CB撤去	コンクリートブレイカ 集積共	0.3	m ³			
天井下地撤去	集積共	28.8	m ²			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	17.3	m ²			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	3.5	m ²			
ビニル床シート撤去	アスベスト含有 集積共	4.2	m ²			
室名札撤去	集積共	5	か所			
トイレブース撤去	集積共	9.9	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	28.8	m ²			
ステンレス手すり撤去	大便器用床固定 集積共	2	か所			
(改修)						
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 5×5	8.1	m			
内装壁タイル張り	エニツタイル 有機系接着張り (タイプ I) Ⅲ類 施ゆう 100mm角 ボード面	15.2	m ²			
汚垂れタイル	t=5 幅600mm	1.6	m			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	4.3	m ²			

屋外便所改修		内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	28.8	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボード等切込み共	3	か所			
キッププレート	SUS304 t=1.5 H300 HL仕上	7.5	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	3	か所			
ステンレス天板	t=1.5 150*25 HL仕上	2.9	m			
ステンレス天板	t=1.5 300*25 HL仕上	1.2	m			
床モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	6.4	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法 -	20.2	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	4.3	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	28.8	m ²			
化粧ケイ酸カルシウム板	厚6	4.3	m ²			
L型手すり	樹脂製34φ 固定600x700	2	か所			
小便器用手すり	樹脂製34φ	1	か所			
大便器用手すり	樹脂製34φ 固定700x700	4	か所			
和便器撤去跡開口 閉塞	400x700 屋外便所	3	か所			

屋外便所改修		発生材処理					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.3	m ³				
発生材積込み	ボート・木材類 人力	1.3	m ³				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m ³ 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.4	m ³				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m ³ 無筋コンクリート類 DID区間有り 24.0km以下	0.3	m ³				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m ³ 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.6	m ³				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m ³ 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.3	m ³				
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m ³ 石こうボート類 DID区間有り 24.0km以下	0.3	m ³				
撤去材処分	トイレフラス類	0.4	m ³				
撤去材処分	コンクリートブロック類	0.3	m ³				
撤去材処分	タイル	0.6	m ³				
撤去材処分	廃プラ類(アスベスト含有)	0.1	m ³				
撤去材処分	石こうボート	0.3	m ³				
スクラップ 運搬(kg)		135	Kg				
スクラップ 処分(kg)	H4	▲115	Kg				
スクラップ 処分(kg)	ステンレス層	▲20	Kg				

スポーツ部門改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(内部改修)	個別改修	228	m ²			
墨出し(内部改修)	複合改修	5.8	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	982	m ²			
養生(外壁改修)		827	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	237	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	131	m ²			
計						

スポンツ部門改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	982	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		827	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	237	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	131	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 5階建	2,006	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 22m未満 5階建	2,292	m ²			
外部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	301	m ²			
安全手摺 (手すり先行方式)		413	m			
梁枠	W4877 亜鉛メッキ	2	か所			
計						

文化部門改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し		1	式			別紙 00-0008
墨出し(内部改修)	個別改修	1.8	m ²			
墨出し(内部改修)	複合改修	4.1	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0009
養生(内部改修)	個別改修	1.8	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	4.1	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0010
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	1.8	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	4.1	m ²			
計						

屋外便所改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し		1	式			別紙 00-0013
墨出し(内部改修)	個別改修	7.4	m ²			
墨出し(内部改修)	複合改修	21.4	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0014
養生(内部改修)	個別改修	7.4	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	21.4	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0015
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	7.4	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	21.4	m ²			
計						

